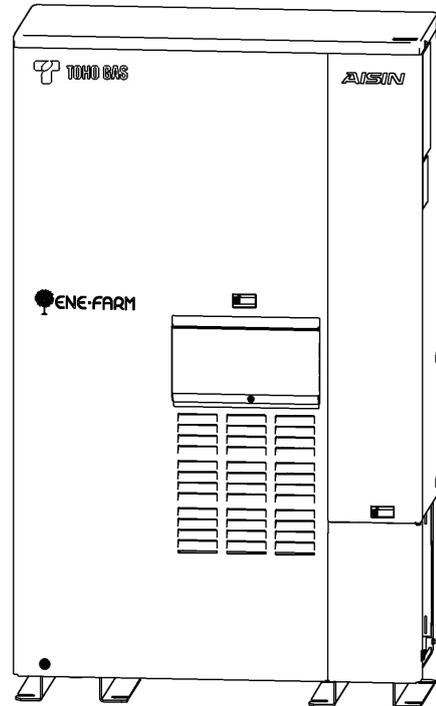


燃料電池ユニット

東邦ガス型式	メーカー型式	ガスの種類
NT-0718ARS-KBC (停電時発電継続仕様)	FCCS07B2NJ	都市ガス13A
NT-0718ARS-KC (標準仕様)	FCCS07B2N	都市ガス13A



このたびは東邦ガスのエネファーム燃料電池ユニットをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございました。
 製品保証書とともに、この「取扱説明書」を大切に保管してください。
 ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

- この取扱説明書での機器の呼びかた
 - 燃料電池ユニットを発電ユニット、燃料電池ユニットと給湯機器を合わせたシステムをエネファームと呼びます。
 - このエネファームのシステムには、セット構成、後付構成と呼ばれる二種類の構成があります。
- ※ セット構成 : ・ 発電ユニットと専用の熱源機を組み合わせた構成です。
 - ・ 本書ではセット構成用台所リモコンを台所リモコン、セット構成用浴室リモコンを浴室リモコンとよびます。
 - ・ 台所リモコン・浴室リモコンで発電ユニット・熱源機両方を操作できます。
- ※ 後付構成 : ・ 発電ユニットと、専用ではない熱源機を組み合わせた構成です。
 - ・ 発電ユニットを操作するための専用リモコンを発電リモコンとよびます。
 - ・ 発電ユニットの操作は発電リモコンで、熱源機の操作は熱源機用のリモコンで行います。
- 「運転について」は、リモコンの種類ごとに記載していますので、お客さまがご使用のリモコン記載ページをご覧ください。(イラストは13ページ(リモコンA(ノーリツ))、34ページ(リモコンC(リンナイ))、54ページ(発電リモコン)を参照してください。)
- 安全についての注意事項を記載しておりますので、必ずお守りください。
- お読みになった後、いつでも見られるところに必ず保管してください。
 必ずこの取扱説明書をお渡しください。
 製品保証書は、お買い上げの販売店よりお受け取りになり、大切に保管してください。
- 別冊の熱源機およびリモコンの取扱説明書とあわせてご覧ください。
- 取扱説明書を紛失された場合は、東邦ガスにご連絡ください。
- 製品改良により、本体・仕様などが説明書の内容と異なる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

目次

1 使用の前	特長	1
	安全に正しくお使いいただくために必ず守ってください	3
	ラベルの貼付け位置と記載内容	10
	各部のなまえとはたらき	11
	ご使用前の確認	12
リモコンの 運転について	リモコンの操作説明	13
	基本操作の説明	15
	運転・停止について	25
	停電時に電気とお湯を使う	27
リモコンの 運転について	リモコンの操作説明	34
	基本操作の説明	36
	運転・停止について	45
	停電時に電気とお湯を使う	47
発電リモコン の運転について	リモコンの操作説明	54
	基本操作の説明	56
	運転・停止について	66
	停電時に電気とお湯を使う	68
困ったとき	故障・異常かな?と思ったら	74
	エラー表示について	76
	エラー発生時の処置方法について	78
知っておく ためのこと	災害時にお湯を使う（災害時などに貯湯タンクからお湯を取り出す）	81
	お手入れと周囲の確認	82
	点検に関して	82
	仕様について	83
	外形図	84
	アフターサービスと保証について	85

特長

この機器は熱源機と組み合わせて使用することで、電気および熱を供給します。

- 発電ユニットから発生する熱は、約30℃以下の水として熱源機に供給され、熱源機にて設定温度に調整されて、給湯栓に供給されます。
- 発電ユニットで作られた電気は、家庭内（照明、テレビなど）で使用できます。
発電ユニットで作られた電気を優先的に使用し、不足分は電力会社から供給される電気を使用します。
- 貯湯タンクがお湯でいっぱいになると、貯湯タンク内のお湯をラジエーターで冷ましながら発電を継続します。
- 異常がある場合、リモコンにエラーを表示し、お知らせします。
- 発電ユニットの操作は、「セット構成」の場合は、熱源機の台所リモコンおよび浴室リモコンで行います。「後付構成」の場合は、専用の発電リモコンで行います。
- 断水時には、貯湯タンクのお湯（水）を雑用水として利用できます。ただし、ガスが供給されていて、かつ発電中であれば、停電時発電継続仕様機は、断水時でも発電を続けます。貯湯タンク内のお湯（水）をご使用になる前に、発電ユニットが停止していることを確認してください。（リモコンの発電状況表示で、発電モードマークが消えている状態（14ページ（リモコンA（ノーリツ））、35ページ（リモコンC（リンナイ））、55ページ（発電リモコン）参照）発電中の場合は、「発電禁止」により発電ユニットを停止させてください。（16ページ（リモコンA（ノーリツ））、37ページ（リモコンC（リンナイ））、57ページ（発電リモコン）参照）
※ 貯湯タンクのお湯は高温の場合がありますので、やけどに注意してください。

停電時発電継続仕様をお使いのお客さまへ

- 停電した場合でも発電中であれば、発電を続けますので、発電した電気と熱源機からのお湯を使うことができます。＜停電時発電継続機能＞
※ 発電ユニットが発電を停止しているときに停電した場合は、発電することができません。また、地震等の災害などでガスの供給が停止している場合にも、発電することができません。
- 停電時発電継続機能で利用できる電気の量は最大約700Wです。
※ セット構成の場合は、熱源機で使用する電気の量を含みます。実際にご使用できる電気の量は700Wよりも、少なくなります。
- 停電時発電継続運転時は自動的に停電時専用コンセントに電気が供給されます。
※ 停電時専用コンセントには「エネファームtype S 停電時自立発電専用」と表示されています。
※ 停電時専用コンセントは停電しているときだけ、お使いください。なお、停電が復旧すると自動的に停電時専用コンセントへの電気の供給は止まりますので、ご注意ください。
- 停電時発電継続機能の詳細は27～33ページ（リモコンA（ノーリツ））、47～53ページ（リモコンC（リンナイ））、68～73ページ（発電リモコン）をご覧ください。

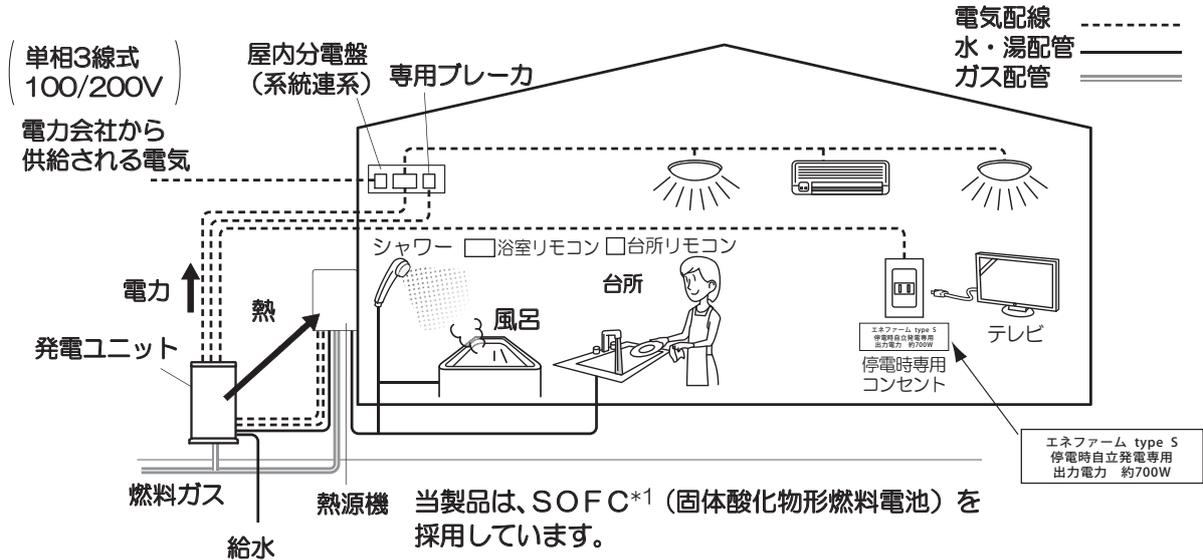
逆潮流ありの設定を選択されたお客さまへ

- 逆潮流に関してのご説明
 - ・逆潮流とは、発電ユニットにて発電された電力を電力系統を介して取引等を実施するものです。
 - ・逆潮流を実施する場合、東邦ガスまたは発電ユニットからの電力の買い取りを行う事業者さまへの申込みが必要となります。
- 逆潮流ありの場合、発電ユニットはお客さまの使用電力（消費電力）以上で発電運転（最大700W）を実施し、余剰となった電力は、東邦ガスまたは発電ユニットからの電力の買い取りを実施する事業者さまが買い取ります。
- ご購入時に逆潮流有無をお客さまに選択して頂き、施工業者が設定致します。お客さまご自身で設定変更はできませんのでご了承ください。設定変更をご希望されるお客さまは東邦ガスまでご相談ください。
- 逆潮流のリモコン表示に関してはリモコンの取扱説明書を合わせてご覧ください。

特長

1. セット構成かつ停電時発電継続仕様の場合

※ 発電ユニットは台所リモコンおよび浴室リモコンで操作します。

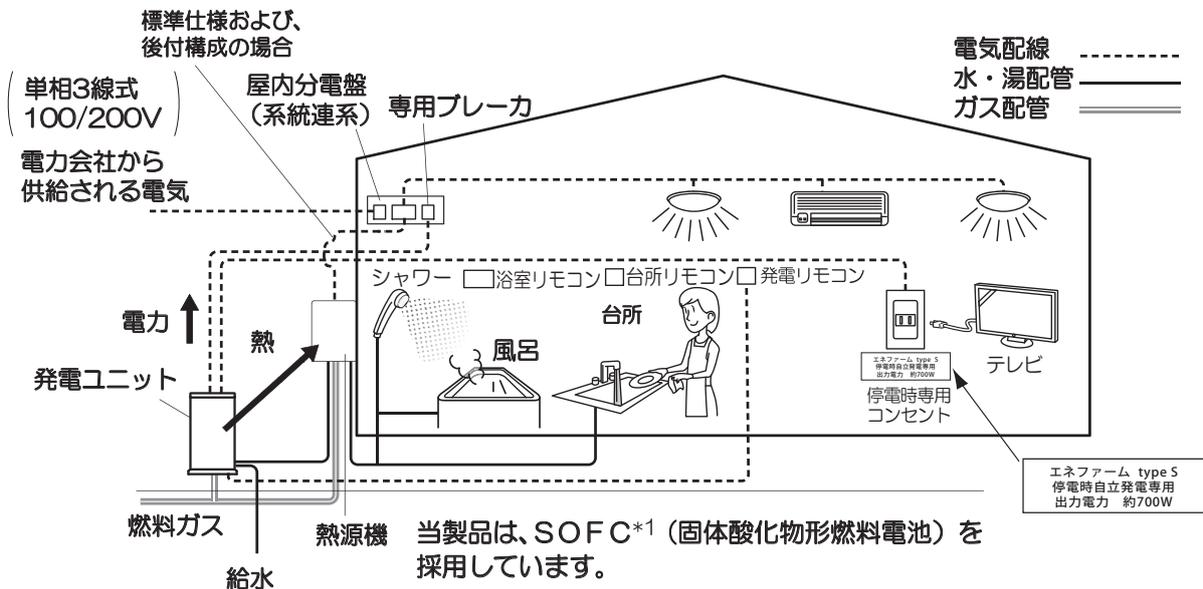


2. 後付構成（停電時発電継続仕様、標準仕様）またはセット構成標準仕様の場合

※ 後付構成の場合は、発電ユニットは発電リモコンより操作します。

※ 標準仕様の場合は停電時専用コンセントおよびその配線はありません。

※ セット構成の場合は発電リモコンはありません。



*1 SOFCとは・・・

燃料電池は、水素と酸素を化学反応させて電気を起こす発電装置です。当機のように、セラミックを電解質に用いる固体酸化物形燃料電池のことを、英語で Solid Oxide Fuel Cellといい、頭文字をとってSOFCと呼んでいます。

安全に正しくお使いいただくために必ず守ってください

ご使用前に、この「安全に正しくお使いいただくために必ず守ってください」をよくお読みいただき、正しくお使いください。
ここに示した注意事項は、危害・損害の程度によって次のように分類されます。

【表示の説明】

 警告	この表示を無視して取り扱いを誤った場合、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
 注意	この表示を無視して取り扱いを誤った場合、人が傷害を負う可能性や物的損害が想定される内容です。
お願い	安全に快適に使用していただくために、理解していただきたい内容です。

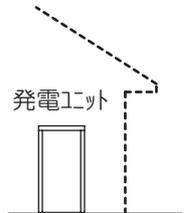
【絵表示の説明】

 必ず行うこと	 接触禁止	 一般的な禁止
 分解禁止	 発火注意	 火気禁止
 アース線を接続すること	 高温注意	

警告

屋内に設置しない

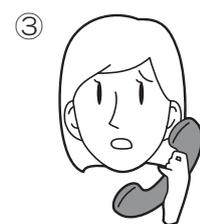
屋外設置据置型ですので、絶対に屋内に設置しないでください。
酸欠・一酸化炭素中毒を起こすおそれがあります。



ガス漏れに気付いたら

- ・ガス漏れ異常（エラーコード[10F00]、[10F01]、[10F10]、[10F11]）は、リモコンでのエラー解除はできません。
- ・屋内でガス臭がする場合は、電気器具（換気扇・電灯など）のスイッチを入/切しないでください。引火し、爆発事故を起こすことがあります。
- ・ガス漏れに気付いたときは、次の処置を行ってください。
 - ①ガス栓を閉める。（ガス栓を閉めると、エラーコード[A0F00]がリモコンに表示されます。）
 - ②屋内でガス臭がするときは窓や扉をあける。
 - ③東邦ガスに連絡する。

そのままにしておくと、火災や爆発の原因になります。
また、絶対に火を近づけたりしないでください。



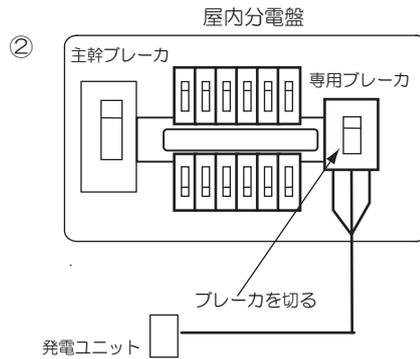
安全に正しくお使いいただくために必ず守ってください

⚠ 警告

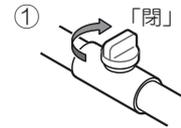
異常時の処置

この機器から異常な臭い（こげ臭い・ガス臭い）・発火・煙・異常に大きい音・振動があるときは、すぐにリモコンで機器を停止し、次の処置を行ってください。

- ① ガス栓を閉める。（ガス栓を閉めるとエラーコード[AOFOO]がリモコンに表示されます。）
 - ② 発電ユニットに接続された屋内分電盤のブレーカを「OFF」にする。
 - ③ 東邦ガスに連絡する。
- 異常のまま運転を続けると感電・火災・故障などの原因となります。
※ ブレーカ部は濡れた手で触れないでください。



確認



地震・水害・火災の発生したときの処置

地震・水害・火災が発生したときは、ガス栓を閉め、屋内分電盤の専用ブレーカをOFFにしてください。おさまりましたら、機器が安全に使用できるかどうかの確認を東邦ガスに依頼してください。



確認

設置・付帯工事は東邦ガスに依頼する

工事に不備があると、感電・水漏れに加え、排気ガスの建物内流入による中毒・火災の原因になりますので東邦ガスに依頼してください。

（設置・付帯工事は工事説明書に従い、有資格者が行います。）



確認

移設時の確認

増改築や引越しなどで移設する場合は、東邦ガスにご相談ください。

工事に不備があると、感電・水漏れに加え、排気ガスの建物内流入による中毒・火災の原因になります。（移設は工事説明書に従い、有資格者が行います。）

移設後は、電力会社への手続きが完了した後でないとは運転することはできません。

（手続きについては、東邦ガスに確認してください。）



確認

ガスの種類・電源の確認

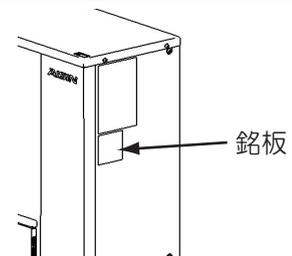
ガスの種類・電源が異なる場合、火災や感電の原因となります。

銘板に表示してある燃料種と使用するガスが一致していることを確認してください。

また、電源が「単相3線式100/200V」であることを確認してください。



確認



熱源機を買い替える場合

・熱源機の組合せによっては、安全・性能が担保できず、やけど等の事故が発生する可能性があります。

・熱源機を買い替える場合は必ず東邦ガスにご相談ください。



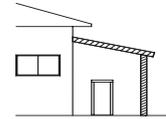
確認

安全に正しくお使いいただくために必ず守ってください

⚠ 警告

囲いをしない

設置後、発電ユニットを波板やビニールなどで囲んで屋内状態にしないでください。火災や酸欠事故の原因となります。



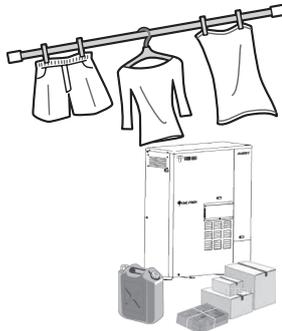
禁止

燃えやすい物を周りに置かない

洗濯物・新聞紙・灯油など燃えやすい物を周りに置かないでください。火災の原因になります。



発火注意

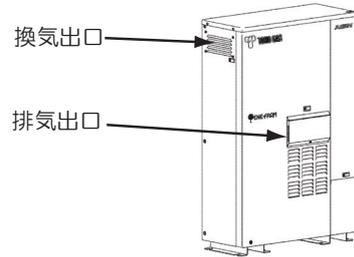


火気を近づけない

換気出口・排気出口に火気を近づけないでください。火災の原因になる場合があります。



火気禁止



引火のおそれがある物を周りで使用しない

灯油・ガソリン・ベンジンなど引火のおそれがある物を機器の周りで使用しないでください。火災の原因になります。



発火注意



スプレー缶を周りに置かない、使用しない

スプレー缶を周りで使用したり、置かないでください。熱でスプレー缶の圧力が上がり、爆発・火災の原因になります。周りでスプレーを使用すると、スプレーに含まれる成分により、機器故障の原因となります。



発火注意



LPガス容器を周りに置かない

所定の離隔距離が必要です。



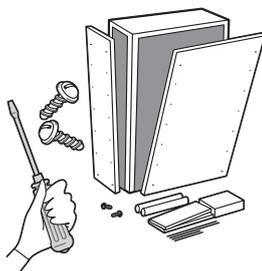
禁止

分解・修理・改造をしない

分解・改造を行わないでください。感電・火災・水漏れの原因となります。移設・付帯工事・修理をする場合は、必ず東邦ガスに依頼してください。



分解禁止



離隔距離とメンテナンススペースの確認

周囲の可燃物に対して、防火上の離隔距離をとってください。

距離が不足すると火災の原因になります。この離隔距離に加えて、メンテナンススペースが必要です。物を置かないでください。

上：防火上の離隔距離

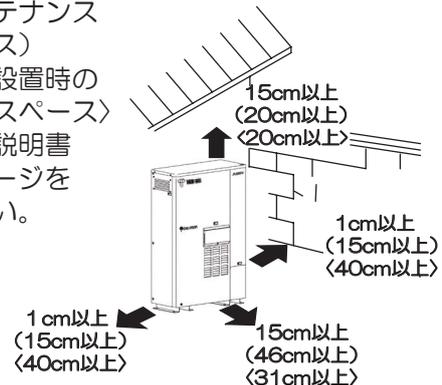
中：（メンテナンススペース）

下：〈狭小設置時のメンテスペース〉

詳細は工事説明書15～18ページをご覧ください。



確認



安全に正しくお使いいただくために必ず守ってください

⚠ 警告

排気ガスを建物内に入れない

この機器の排気ガスが建物（自宅および隣家など）の吸排気口や窓などから建物内に入らないようにしてください。排気ガスが建物内に流入すると、中毒などの原因になります。



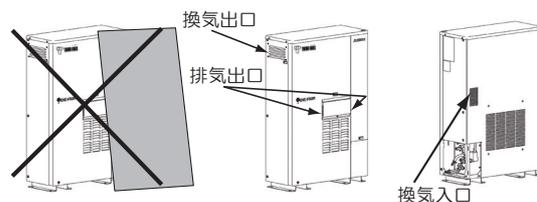
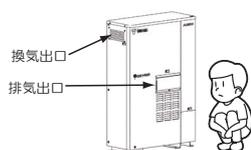
排気出口・換気出口に顔を近づけない

大量の排気ガスを吸い込むと、中毒の原因となる可能性があります。



排気出口・換気入口・換気出口をふさがない

不完全燃焼の原因となります。



外壁の塗装、増改築、屋内の修繕時などに、機器本体が養生シートで覆われた場合は機器を使用しない

不完全燃焼や一酸化炭素中毒の原因になります。



積雪時の点検・除雪

積雪時は、排気出口・換気出口・換気入口がふさがれないように点検・除雪を行ってください。不完全燃焼の原因となります。



機器の換気入口がホコリ・ゴミなどでふさがっていないか確認する

不完全燃焼の原因となります。



必ずアース工事を行う

アース工事が不完全な場合は、感電・火災の原因となります。（D種接地工事）アース線は、ガス管・水道管・避雷針・電話のアース線に接続しないでください。詳しくは工事説明書をご覧ください。



水洗いしない

感電・火災の原因になることがあります。



排気出口付近で子供やペットを遊ばせない

中毒のおそれがあります。



⚠ 注意

機器や配管に長時間たまった水や朝一番のお湯は、雑用水として使用する。

飲用したり調理に使用すると、健康を害するおそれがあります。



飲用する場合は、必ず沸騰させてから使用する。また必ず水道法に定められた飲用水の水質基準に適合した水道水を使用する。

飲用すると、健康を害するおそれがあります。



固形物・変色・濁り・異臭があった場合は飲用しない。

飲用すると、健康を害するおそれがあります。

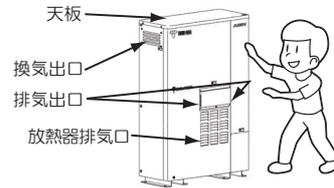
※東邦ガスへ点検を依頼してください。



安全に正しくお使いいただくために必ず守ってください

⚠ 注意

**排気出口、換気出口、放熱器排気口、
天板に触れない**
高温になっており、やけどの原因になることが
あります。



発電ユニットの上に乗らない、物を載せない
落下・転倒などにより、けがの原因になることがあります。



排気ガス・換気ガスを動植物に当てない
動植物に悪影響を及ぼす原因になることがあります。



**発電ユニットと熱源機間の配管の上に
乗らない、物を載せない**
けが・やけど・水漏れのおそれがあります。



熱源機行き配管に触れない
熱源機行き配管は高温になることがあります。
やけどのおそれがあります。



排気出口・換気出口・換気入口に指や棒など異物を入れない
けが・やけどのおそれがあります。



パネルを開けて、発電ユニット内部に触れない
けが・やけど・感電のおそれがあります。



断水時には給湯栓を開けない
発電ユニットより低い位置にある給湯栓は設定温度以上のお湯が出る場合が
あります。



**シャワーなどお湯の使用時は、リモコンに表示の温度
をよく確かめ、手で湯温を確認してから使用する**
60℃の高温で使ったあと、あらためて使用するときは特に注意して
ください。やけど予防のため。



浴槽の湯温を手で確認してから入浴する
やけど防止のため。



ご使用にあたってのお願い

家庭用として使用してください

この機器は家庭用です。業務用に使用しないでください。
業務用に使用して事故や故障が発生した場合、保証の対象外になります。

安全に正しくお使いいただくために必ず守ってください

ご使用にあたってのお願い

純正部品を使用してください

純正部品を使用しないと、故障の原因になります。

低温になる場所への設置について

外気温が-10℃より低温になる場所に設置しないでください。
設置すると、凍結により重大な破損が発生することがあります。

積雪地域での使用について

この機器を積雪地域で使用するとき、排気出口・換気出口・換気入口に雪などが固着する場合があります。固着が進むと、この機器は吸入不足になり正常に運転できません。
雪などの固着物は、排気出口・換気出口・換気入口をふさがないように取り除いてください。

機器の組み合わせについて

組み合わせることのできる熱源機は限定されます。東邦ガスにお問い合わせください。

知っておいてください

- ・雷や無線などのノイズが、この機器に悪影響を与えることがあります。
- ・ご自宅の電気工事などで、分電盤内の電流センサを外す場合は、事前に東邦ガスへ連絡してください。
(電流値の読み込み不良により、発電ができなくなる場合があります。)
- ・発電ユニットの換気入口から自動車の排気ガスが直接吸い込まれると、発電ユニットの故障・性能低下の原因になります。

地下水・井戸水・温泉水の使用禁止

- ・給水は必ず水道水を使用してください。
地下水・井戸水・温泉水を使用すると機器内の配管に異物が付着したり、腐食して水漏れすることがあります。

電源について

- ・緊急の場合以外はブレーカーを「切」にしないでください。
凍結予防運転のために電気を使用しています。
- ・ブレーカーを「切」にする場合は必ず水抜きを行ってください。

長期間使用しない場合の処置

10日間以上連続で使用しない場合は不在停止を行ってください。
長期間（1か月以上）使用しない場合は、必ず水抜きを行ってください。

停電時の注意

停電時に発電ユニットが発電を停止した場合は、発電ユニットの再起動時に時刻の設定を行ってください。

ドレン配管のつまりに注意する（故障の原因）

ドレン配管の排出先は大気開放とし、泥や落ち葉などでつまらせないでください。

配管バルブを閉めない

メンテナンス作業時以外は、配管バルブを閉めないでください。正常な動作が妨げられ、故障の原因になります。

安全に正しくお使いいただくために必ず守ってください

警告（停電時発電継続運転について）

停電時専用コンセントには以下の製品をつながない

停電時専用コンセントには停電時のみ電気が供給され、停電が復旧すると自動的に電気の供給が止まります。途中で電源が切れると生命、財産に被害を受けるおそれがある以下の機器は接続しないでください。

- ・ 全ての医療機器
- ・ 灯油を用いた暖房機器
- ・ バッテリーを搭載していないパソコンなどの情報機器
- ・ 炊飯器、電子レンジなどの調理機器
- ・ 冷蔵庫のような連続的に電力の供給が必要な機器
- ・ その他、電源が切れると生命、財産に損害を受けるおそれのある機器

消費電力が合計で700W以上になる機器は接続しないでください。

【注意】停電時発電継続機能で使用できる電気の量は最大約700Wです。

※ セット構成の場合は、熱源機で使用する電気の量も含まれますので実際にご利用できる電気の量は700Wよりも少なくなります。



禁止

停電時専用コンセントを商用電力線につながない

停電時専用コンセントと家庭内の普通のコンセントを延長ケーブルなどで絶対に接続しないでください。感電、発火などの事故になるおそれがあります。



禁止

停電時専用コンセントは停電時のみ使用する

停電時専用コンセントは停電時のみ使用することができます。停電時以外に停電時専用コンセントに電気製品を接続しないでください。接続した機器に突然電流が流れ、機器を損傷したり、突然の動作による事故の原因になります。



確認

停電していないときに停電時発電継続運転を行わない

思わぬ事故の原因になります。また、本来の機能が損なわれ、故障の原因となります。



禁止

注意（停電時発電継続運転について）

停電時発電継続運転時は浴槽の排水栓を抜く

停電時発電継続運転中は運転を継続するために排湯機能により自動でお風呂にお湯を出すことがあります。浴槽の排水栓を抜かないと思わぬ事故や浴槽のお湯があふれるなどの原因となります。



確認

ガスファンヒータの使用について

- ・ ガスファンヒータのご使用中は、部屋の換気にご注意ください。
必ず1時間に1～2回（各1～2分）、窓を開けるなどして換気を行ってください。
- ・ 停電時専用コンセントで使用できる電力が少なく、ガスファンヒータを使用すると過負荷が発生するおそれがある場合は使用しないでください。
- ・ ガスファンヒータ運転中に停電が発生すると、ガスファンヒータの冷却が正常に行われず、温風の吹き出し口や機器背面（エアフィルタ部や取っ手部分）が高温になり、手で触れるとやけどのおそれがあります。
- ・ 停電時専用コンセントでガスファンヒータを使用しているときに異常を感じた場合は、ただちにガス栓を閉じてガスファンヒータの使用を中止し、東邦ガスに連絡してください。



確認



禁止



確認



確認

ラベルの貼付け位置と記載内容

この機器を安全に使用していただくために、機器には安全ラベルが貼ってあります。

安全ラベルを全て読んでからご使用ください。

ラベルは、はっきり見えるようにきれいにしておいてください。

この機器に貼ってあるラベルが汚れ、破れ、紛失などで読めなくなってしまったときは、東邦ガスに連絡して新しいラベルに貼り替えてください。

安全ラベル

安全ラベル

安全ラベル

安全ラベル

安全ラベル

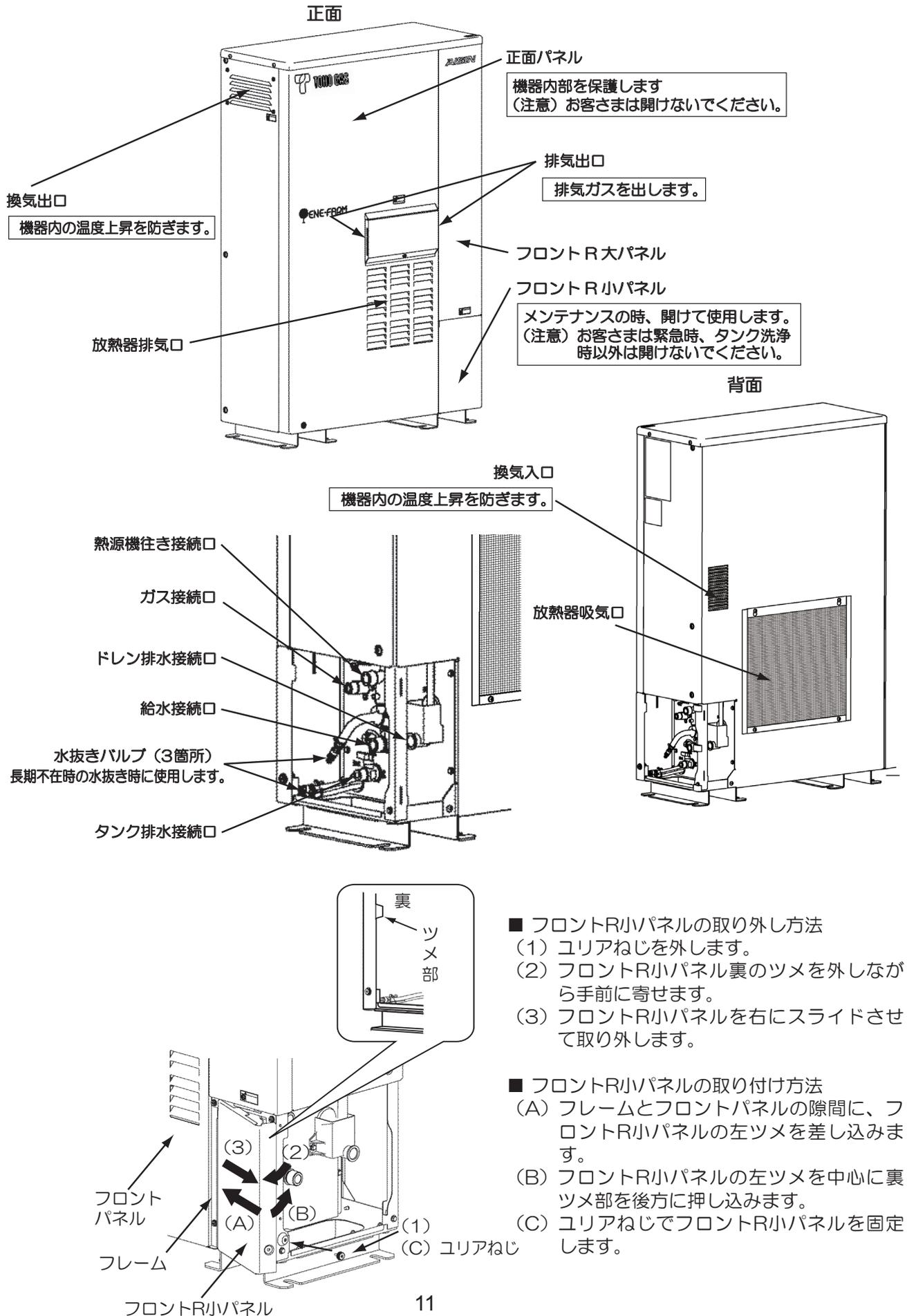
安全ラベル

安全ラベル

装置銘板 (例)

NT-0718ARS-KBC	
東邦ガス株式会社	
燃料電池ユニット	
・種類	固体酸化物形
・型式	FCCS07B2NH
・原燃料種	都市ガス
・原燃料供給圧力	1.0~2.5kPa
・定格原燃料消費量	1.38kW (1.49kW-HHV)
・定格出力	0.7kW
・定格電圧	100/200V
・相数	単相3線式
・周波数	50/60Hz
・設置条件	屋外式 -10~43℃
・質量	106kg
・使用圧力/伝熱面積	0.48MPa以下/0.24m ²
・機種	FCCS07B2NHJ
・製造番号	180430040001
・製造年月	2018-4
・製造者	アイシン精機株式会社

各部のなまえとはたらき



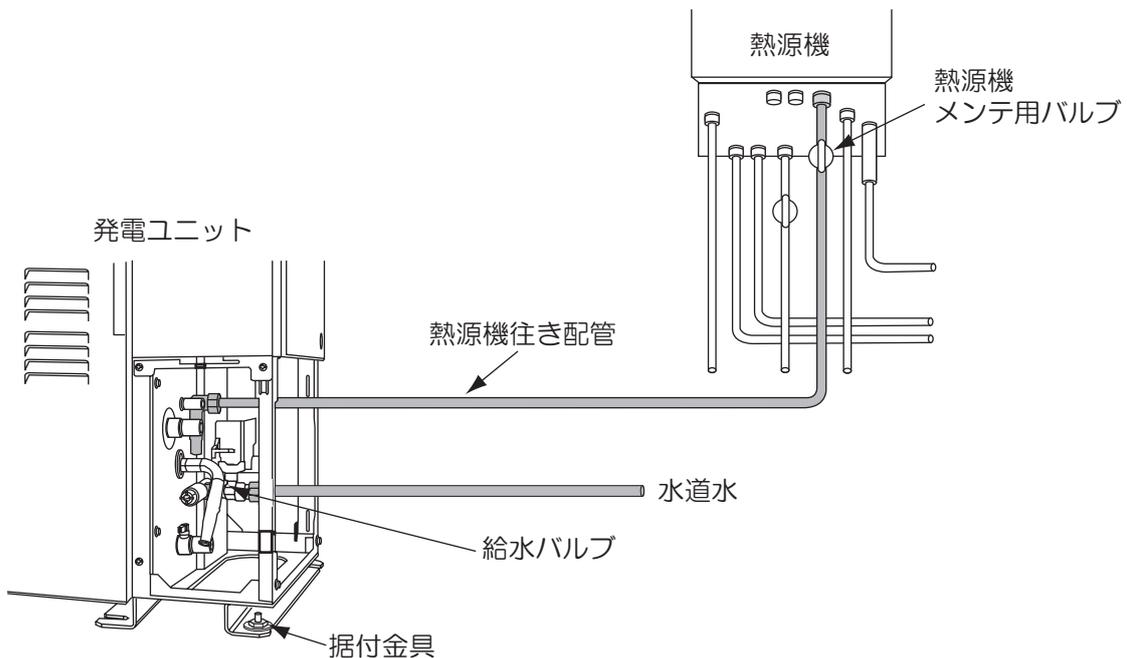
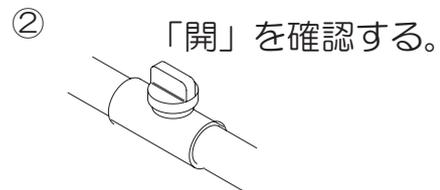
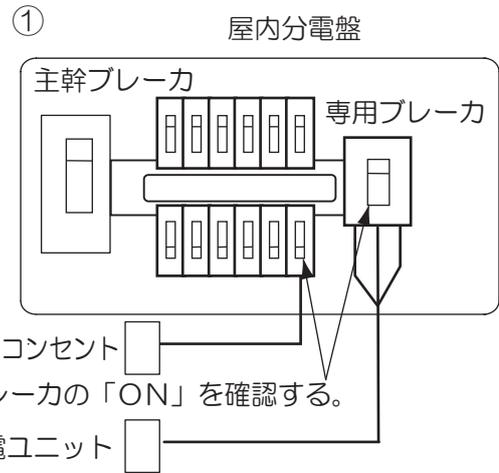
ご使用前の確認

ご使用前に次の確認を行ってください。

■確認

発電ユニット、熱源機周辺に異常がないことを確認します。

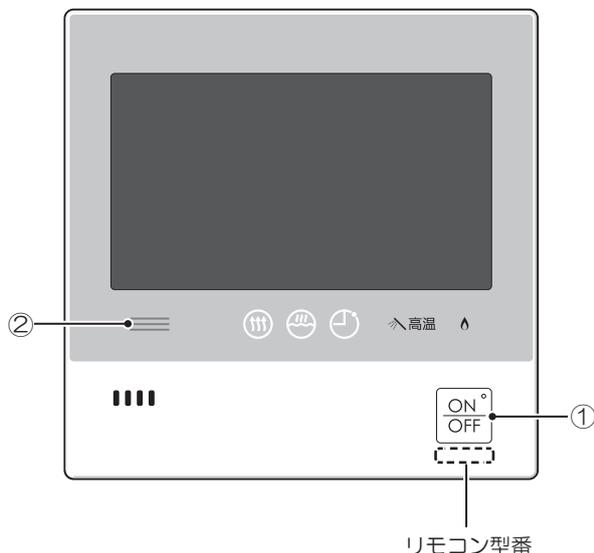
- 機器の周囲に可燃物および、障害物がないことを確認します。
- 機器の排気出口、換気入口・換気出口がふさがれていないことを確認します。
- 据付金具が緩んでいないことを確認します。
- 発電ユニットに接続された屋内分電盤の専用ブレーカと防水コンセントに接続された屋内分電盤のブレーカが「ON」になっていることを確認します。①参照
- ガス栓、給水バルブ、熱源機メンテ用バルブが開いていることを確認します。②参照



リモコンの操作説明

ここでは発電ユニットを運転・停止するためのリモコン操作について説明いたします。
 リモコンのその他の詳細機能については、リモコンの取扱説明書（リモコン操作編）を参照してください。

1. 各部のなまえとはたらき（台所リモコン）



- ①「ON/OFF」スイッチ・ランプ
- ・給湯器の運転「入」「切」の操作に使用します。
 - 「入」でランプが点灯します。（台所リモコンの場合）
 - ・画面を表示させたり消したりするときに使用します。

- ②発電ランプ
- ・発電ユニットで発電中に点灯します。
 - ・現在の使用電力の状態を、色で表します。

使用電力が多い

↑	オレンジ色 (節電お知らせ)	購入電力が増えています 節電してください。
1.2kW	青色	購入電力が少し増えて います。
0.7kW	緑色	購入電力を少なくできて います。
↓		少ない

・逆潮流の場合は、買電中か売電中かを表示します。

オレンジ色 (節電お知らせ)	使用電力が発電電力より多いので 買電しています。
青色	使用電力が発電電力より少ないので 売電しています。

2. 表示画面（タッチパネル）の操作の基本

- このリモコンの表示画面は、指でタッチするとスイッチ操作ができます。
- 圧力を感知するタイプのタッチパネルです。ある程度力で確実にタッチしてください。
- 「ON/OFF」スイッチを押したり画面をタッチしたりしないまま約10分（初期設定時間）たつと、表示が消えます。

表示がグレーになっている部分は、タッチしてもスイッチ操作できません。



※ 説明中のリモコン表示画面は一例です。

実際の表示画面は、設置状態や使用状況によって異なります。

リモコンの操作説明



3. 発電状況表示の見かた

そのときの発電状態や、発電の設定を表示します。

⚡ 発電中	
⚡ (点灯)	発電しています。
⚡ (点滅)	起動中(発電準備中)です。
⚡ ↔ ⚡ (交互表示)	発電停止の動作中です。
(表示なし)	発電ユニットは停止しています。

表示	状態	
発電中	発電しています。	
起動中	起動中(発電準備中)です。	
停止中	発電停止の動作中です。	
(表示なし)	発電ユニットは停止しています。	
発電禁止	発電を強制的に禁止しています。	
発電×	発電ユニットが使用できない場合に表示します。	
逆潮流の場合	電圧抑制 ^{*1}	発電ユニットの出力を一時的に抑えています。
	売電中	発電した電力を売電しています。
運転時様子の電圧抑制継続	⚡ 自立 ↔ 自立 (交互表示)	停電時発電継続運転しています。
	⚡ 自立・高 ↔ 自立・高 (交互表示)	高出力モード(30ページ)で停電時発電継続運転しています。

^{*1} 自宅につながれている送電線の系統の電圧が高くなりすぎたとき、発電ユニット側の電圧が上限を超えないよう、発電ユニットの出力を抑えます。電圧が正常範囲に戻ると、この機能は自動的に解除されます。

4. 発電モードマークの見かた

🔄	タンクリフレッシュ 運転マーク	長時間お湯の使用がなかったときなどに、貯湯タンク内の水質を維持するための運転をしています。	
M	ガスマイコン メーター 確認マーク (Mマーク)	M 発電中	1日に数回約6分間、発電能力を制限しています。
		M 自立	1日に数回約6分間、発電能力を制限しています。
		Mのみ	<ul style="list-style-type: none"> ● お客さま宅のガスマイコンメーターの誤警報防止のため、発電ユニットは26日間連続して発電すると、27日目に約24時間停止します。この機能により停止している間は、この表示がでます。 ● この表示が出たら、全てのガス機器(暖房も含む)を最低70分以上使用しないでください。70分あけずにガス機器を使用すると、ガスマイコンメーターがガス漏れと誤警報します。誤警報を防ぐために、リモコン上に[01900]を表示し、1日以上発電ユニットが停止する場合があります。この場合は、ガス機器を70分以上停止する時間を設けてください。
凍結予防	凍結予防マーク	機器は凍結予防のために自動的に凍結予防運転をします。その動作中に表示されます。	

基本操作の説明

1. 発電ユニットの起動方法

■ 1-1. 発電禁止からの再開（16ページ「■ 2-1」（発電禁止）で停止させた場合）

①メイン画面より[メニュー]を選択してください。



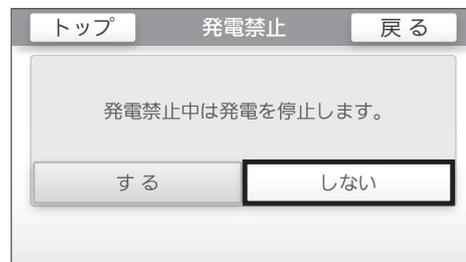
②メニュー画面より[発電メニュー]を選択してください。



③発電メニュー画面より[発電禁止]を選択してください。



④発電禁止画面より[しない]ボタンを押してください。



発電ユニットが起動をはじめます。

■ 1-2. 不在停止からの再開（17ページ「■ 2-2」（不在停止）で停止させた場合）

下記方法で再開します。

<不在停止設定後いつでも>

- ・リモコンの「ON/OFF」スイッチの「ON」操作をする。
- ・発電ユニットと接続された熱源機による給湯・暖房(ガス式床暖房、ガス式浴室暖房等)・追い焚きをする。

<不在停止設定後5時間以上経過している場合>

- ・リモコンの液晶画面をタッチする。

<不在停止設定後5時間未満の場合>

- ・メニュー画面から再開操作をする。

①メイン画面より[メニュー]を選択してください。



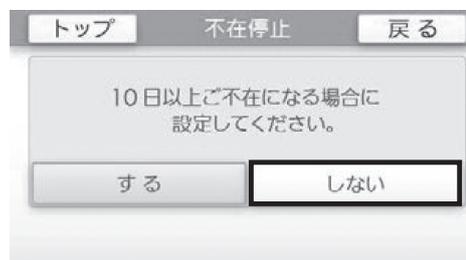
②メニュー画面より[発電メニュー]を選択してください。



③発電メニュー画面より[不在停止]を選択してください。



④不在停止画面より[しない]ボタンを押してください。



発電ユニットが起動をはじめます。

基本操作の説明

2. 発電ユニットの停止方法

※ お客さま操作により、頻繁に起動・停止(不在停止等)を繰り返すと故障の原因になるおそれがあり、保証の対象外になる場合があります。機器の耐久性維持のため、不在停止機能のご使用は10回/年までを目安とし、10日以上不在にされる場合にご使用ください。

■ 2-1 機器の水抜きをするときなど、強制的に発電を停止させたいときの停止方法（発電禁止）

①メイン画面より[メニュー]を選択してください。



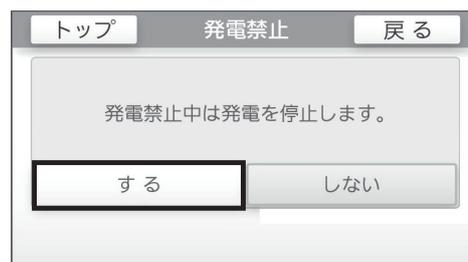
②メニュー画面より[発電メニュー]を選択してください。



③発電メニュー画面より[発電禁止]を選択してください。



④[する]ボタンを押してください。



※ 約10～12時間後に発電停止表示は消灯し、リモコントップ画面の左上に[発電禁止]と表示されます。

基本操作の説明

■ 2-2 10日以上家をあけるなど、全ての運転（発電・給湯・暖房など）をしばらく停止したいときの停止方法（不在停止）

※ 1か月以上の長期不在時には、この方法に加えて水抜きが必要です。21ページを参考に水抜き操作を行ってください。

※ 10日以上リモコン操作・お湯・熱源機による暖房を使用しない状態が続くと、自動的に不在停止が[する]になります。

※ お湯・暖房などの停止方法は、それぞれの取扱説明書を参照ください。

①メイン画面より[メニュー]を選択してください。



②メニュー画面より[発電メニュー]を選択してください。



③発電メニュー画面より[不在停止]を選択してください。



④[する]ボタンを押してください。



⑤液晶画面が消え、「ON/OFF」スイッチのランプが消灯します。

※ 不在停止設定を[する]にした後は、以下の操作を行わないでください。
不在停止が解除されます。

<不在停止設定後いつでも>

- ・リモコンの「ON/OFF」スイッチの「ON」操作をする。
- ・熱源機による暖房を使用する。

<不在停止設定後5時間以上経過している場合>

- ・リモコンの液晶画面をタッチする。

基本操作の説明

3. 発電ユニットの貯湯タンク洗浄のための水抜き方法

- ※ 貯湯タンク洗浄には水抜きが必要となります。
- ※ 1か月以上使用しない場合の水抜き方法は、21ページを参照してください。
- ※ この操作開始後水張り（24ページ参照）完了までは、発電を開始することはできません。また熱源機もご使用になれません。

⚠ 注意

水抜き時タンク排水配管には触れない

場合によってはお湯が排出されることがあり、やけどの原因になることがあります。



水抜き時はエア抜き栓の正面に身体を置かない

場合によってはお湯が飛び出すことがあり、やけどの原因になることがあります。



※ やけど予防のため、リモコン操作によるタンク内水温の冷却（手順①～⑦）を行ってから、バルブ操作による水抜き（手順⑧～⑨）を行ってください。

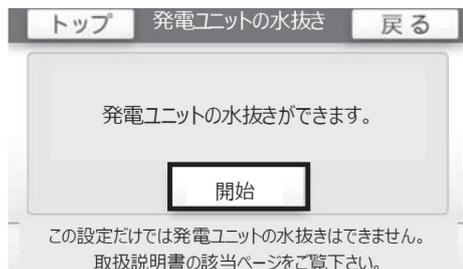
- ① リモコンの「ON/OFF」スイッチを「OFF」にし、（「ON/OFF」スイッチ部のLEDランプを消す。）液晶画面部をタッチする。
- ② メイン画面より[メニュー]を選択してください。
- ③ メニュー画面より[音・その他メニュー]を選択してください。
- ④ 音・その他メニュー画面より[発電ユニットの水抜き]を選択してください。
- ⑤ [開始]ボタンを押してください。



- ④ 音・その他メニュー画面より[発電ユニットの水抜き]を選択してください。



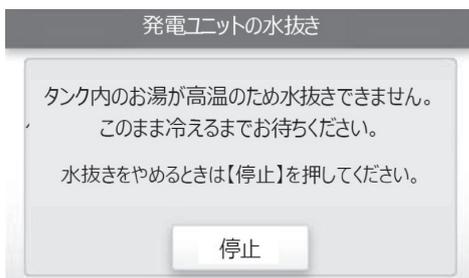
- ⑤ [開始]ボタンを押してください。



※ タンク内水温が下がると⑥に移行します。[停止]ボタンを押すと⑤に移行します。

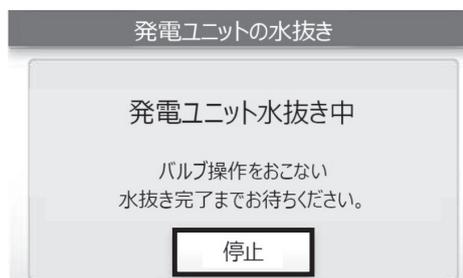
タンク内水温
高温時

- ⑥ タンク内温度が下がりましたのでリモコンによる水抜きを停止してください。



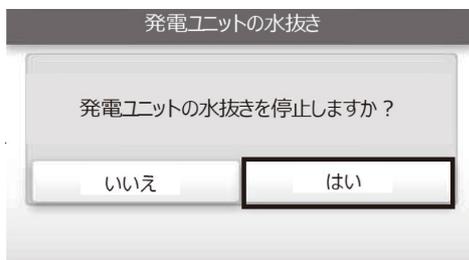
※ タンク内温度が低い場合でも約10分間は冷却します。

タンク内水温
冷却後

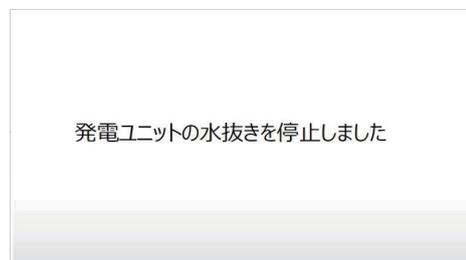


基本操作の説明

⑦[はい]ボタンを押してください。

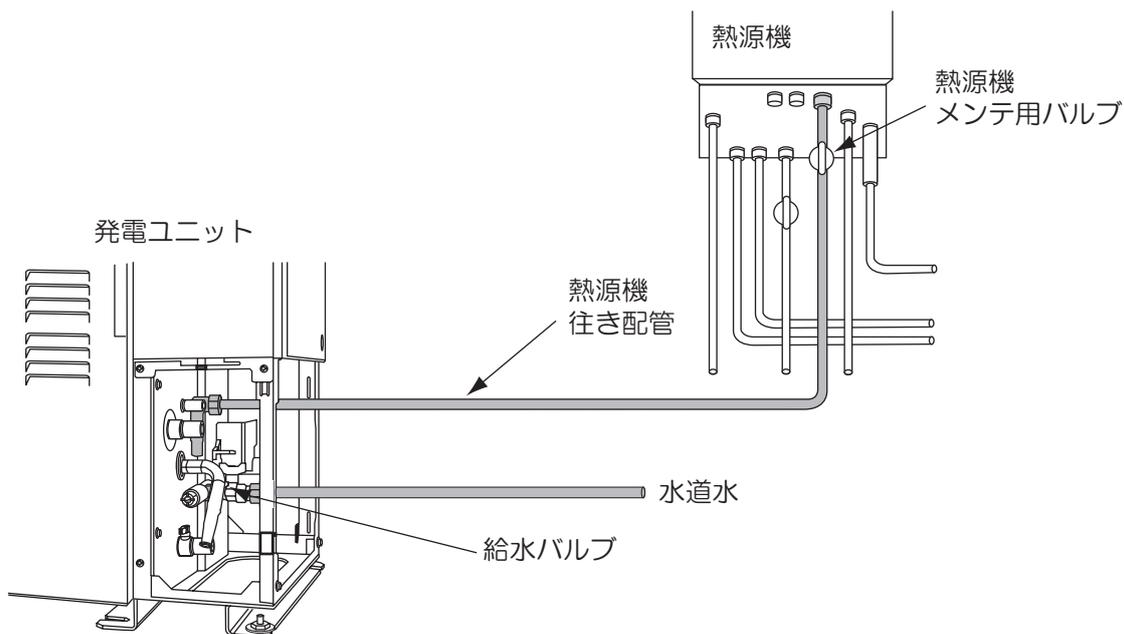


⑧下記画面を表示後自動的にトップ画面に切り替わります。



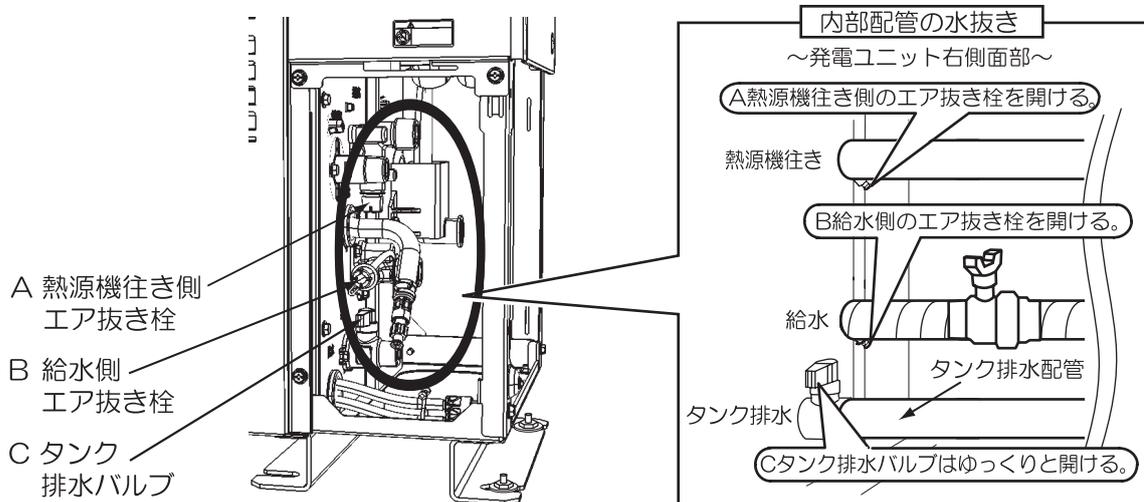
⑨トップ画面移行後次の操作をしてください。

- ・ 11ページの「フロントR小パネルの取り外し方法」を参照し、発電ユニットのフロントR小パネルを外します。
- ・ 給水バルブを閉じます。
※ 給水バルブを閉じずに以降の操作をすると、ユニット内部機器の寿命が著しく短くなりますのでご注意ください。
- ・ 熱源機メンテ用バルブを閉じます。



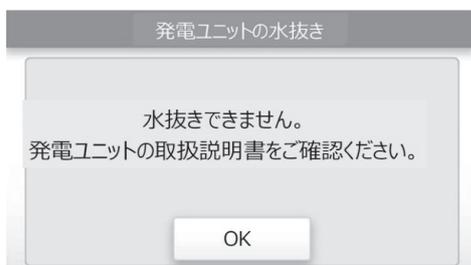
基本操作の説明

- ・ Cタンク排水バルブをゆっくりと開けます。
- ・ A熱源機行き側のエア抜き栓を反時計回りに3回転させます。
- ・ B 給水側のエア抜き栓を反時計回りに3回転させます。



- ⑩タンク排水配管より湯（水）が出なくなったら、B給水側、A熱源機行き側のエア抜き栓を閉め、Cタンク排水バルブを閉じます。
- ⑪11ページの「フロントR小パネルの取り付け方法」を参照し、発電ユニットのフロントR小パネルを取り付けてください。

※ 水抜き手順で下記画面が表示される場合



水抜きは、発電ユニットが停止状態のみ受け付けます。
発電ユニットが完全に停止後、再度操作してください。

基本操作の説明

4. 長期間使用しない場合の発電ユニットの水抜き方法

- 旅行等のため、10日以上使用しないときは、リモコンで「不在停止」にし、発電ユニットを停止させてください。（手順は17ページを参照ください。）
- 1か月以上不在にされる場合もしくは1か月未満でも電源が確保できないことに加えて凍結のおそれがある場合（気温が氷点下になる可能性がある場合）は、下記の発電ユニット水抜き方法に従い水抜きを実施してください。水抜きをしないと故障の原因となります。（お手数ですがお客さまで実施ください。）また、熱源機の水抜きも必ず実施してください。手順は熱源機の取扱説明書をご参照ください。
- 使用開始時には専門のサービスマンがお伺いしますので、東邦ガスにご連絡ください。
- 引越しをされる場合は、その2～3日前までに東邦ガスにご連絡ください。
- 水抜きを実施する場合は、前日までに発電禁止による停止操作を行ってください。

⚠ 注意

水抜き時タンク排水配管には触れない

場合によってはお湯が排出されることがあり、やけどの原因になることがあります。



水抜き時はエア抜き栓の正面に身体を置かない

場合によってはお湯が飛び出すことがあり、やけどの原因になることがあります。



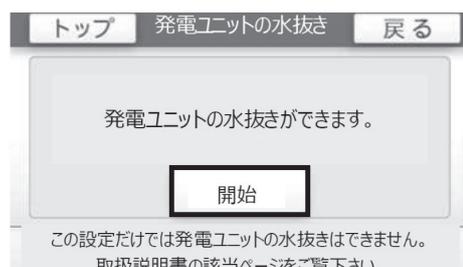
※ やけど予防のため、リモコン操作によるタンク内水温の冷却（手順①～⑦）を行ってから、バルブ操作による水抜き（手順⑧～⑨）を行ってください。

■ 発電ユニット水抜き手順

- ① リモコンの「ON/OFF」スイッチを「OFF」にし、（「ON/OFF」スイッチ部のLEDランプを消す。）液晶画面部をタッチする。
- ② メイン画面より[メニュー]を選択してください。
- ③ メニュー画面より[音・その他メニュー]を選択してください。



- ④ 音・その他メニュー画面より[発電ユニットの水抜き]を選択してください。
- ⑤ [開始]ボタンを押してください。

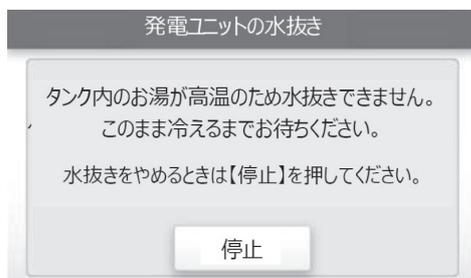


タンク内水温
高温時

※ タンク内温度が低い場合でも約10分間は冷却します。

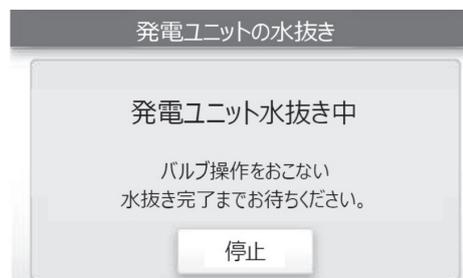
基本操作の説明

※ タンク内水温が下がると⑥に移行します。
[停止]を押すと⑥に移行します。



タンク内水温
冷却後

⑥ タンク内水温が下がりましたので、11ページの「フロントR小パネルの取り外し方法」を参照し、発電ユニットのフロントR小パネルを外した後、⑦のバルブ操作をしてください。(11ページ参照)



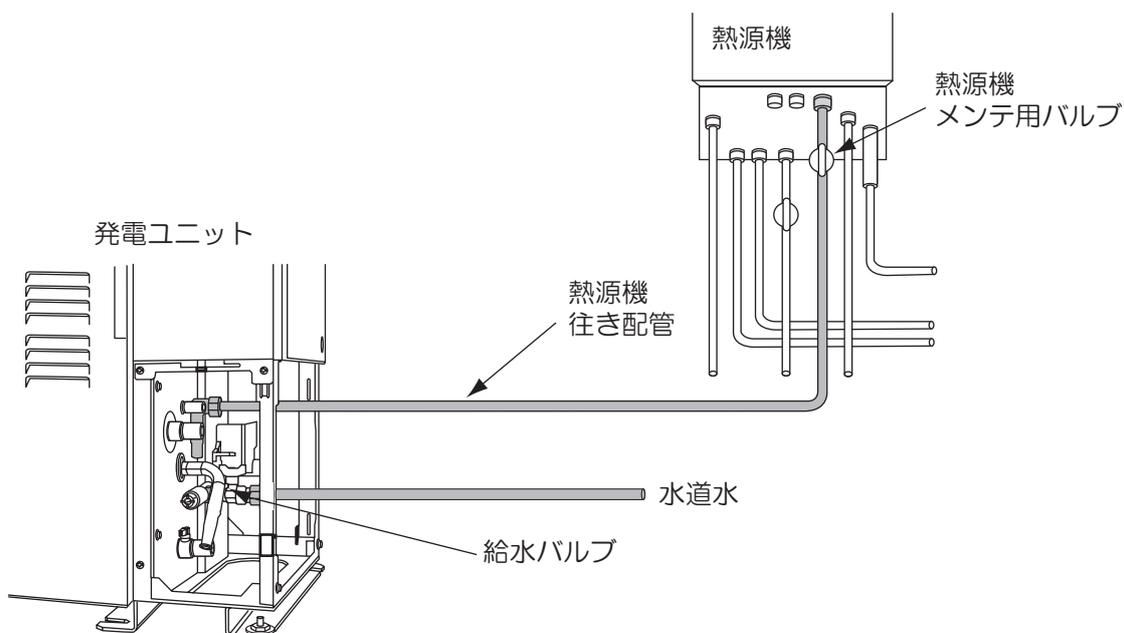
水抜きが完了すると、メイン画面に自動的に移行します。

※ 30分経過しても水抜きが終了しない場合は、[停止]ボタンを押して水抜きを停止し、A～F(23ページ参照)のバルブまたはプラグが開いていることを確認後、再度①より実施してください。

⑦ 下記バルブの操作をしてください。

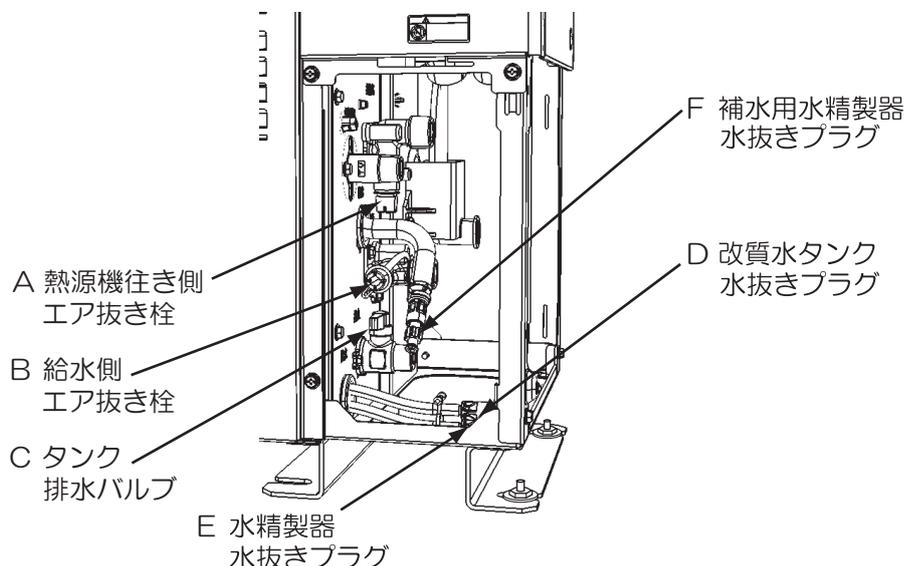
- ・ 給水バルブを閉じます。
※ 給水バルブを閉じずに以降の操作をすると、ユニット内部機器の寿命が著しく短くなりますのでご注意ください。
- ・ 熱源機メンテ用バルブを閉じます。

水抜きを停止したい場合は[停止]ボタンを押すと、次ページ※1に移行します。



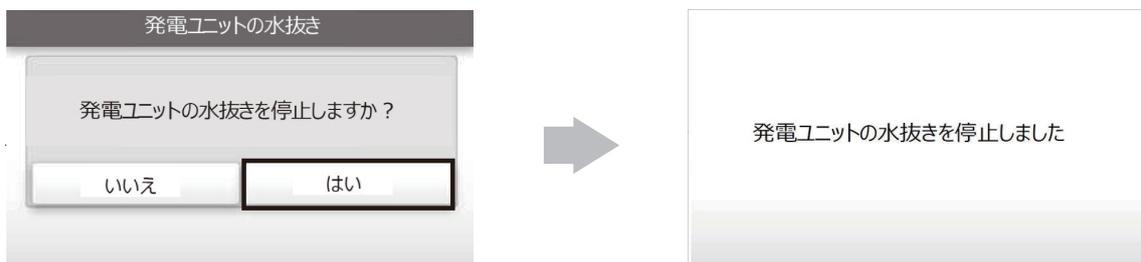
基本操作の説明

- ・Cタンク排水バルブをゆっくりと開けます。
- ・A熱源機行き側のエア抜き栓を反時計回りに3回転させます。
- ・B 給水側のエア抜き栓を反時計回りに3回転させます。



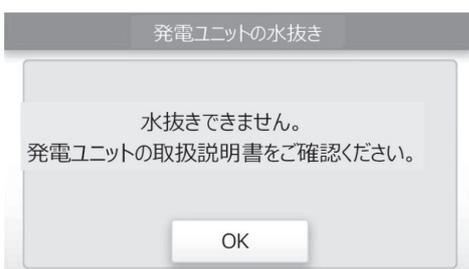
- ⑧D改質水タンク水抜きプラグとE水精製器水抜きプラグ、F補水用水精製器水抜きプラグ計3か所を反時計回りに1回転させ、改質水を抜きます。
(全て排水されるまで、約10分かかります。)
- ⑨リモコンの画面がメイン画面に移行し、タンク排水配管およびD、E、Fの水抜きプラグから水が出なくなったことを確認し、D、E、Fの水抜きプラグを時計回りに回して締めてください。
※ 30分経過してもトップ画面に移行しない場合は、水抜きを中止し、各バルブ確認後、再度手順①より実施してください。
- ⑩B給水側、A熱源機行きのエア抜き栓を閉め、Cタンク排水バルブを閉じます。
- ⑪発電ユニットと熱源機のガス栓を閉じ、屋内分電盤の専用ブレーカを「OFF」にします。
- ⑫11ページの「フロントR小パネルの取り付け方法」を参照し、発電ユニットのフロントR小パネルを取り付けてください。

※1 水抜き途中停止方法



[いいえ]を押すと前の画面に戻ります。

※ 水抜き手順で下記画面が表示される場合



水抜きは、発電ユニットが停止状態のみ受け付けます。発電ユニットが完全に停止後、再度操作してください。

- 使用開始時には専門のサービスマンがお伺いしますので、東邦ガスにご連絡ください。

基本操作の説明

5. 発電ユニットの水張り方法

次の場合に実施してください。

- 断水時に湯（水）を使用された場合
- エラー表示部に[81F01]、[82F01]が表示された場合
- 貯湯タンクを洗浄する場合

①リモコンの「ON/OFF」スイッチを「OFF」にし、（「ON/OFF」スイッチ部のLEDランプが消える）液晶画面部にタッチしてください。

②メイン画面より[メニュー]を選択してください。



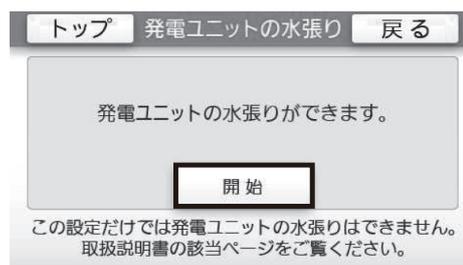
③メニュー画面より[音・その他メニュー]を選択してください。



④音・その他メニュー画面より[発電ユニットの水張り]を選択してください。

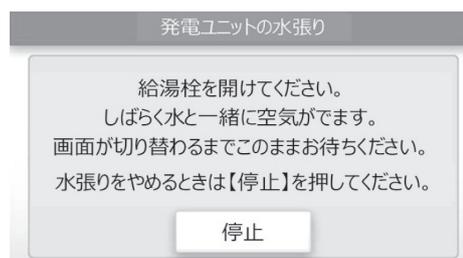


⑤[開始]ボタンを押してください。

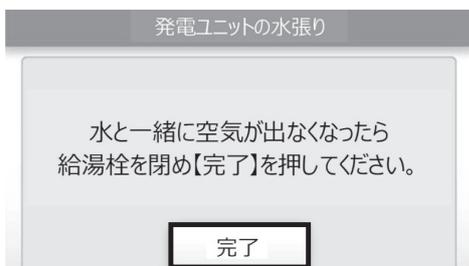


⑥11ページの「フロントR小パネルの取り外し方法」を参照し、発電ユニットのフロントR小パネルを外した後、発電ユニットの給水バルブ・熱源機メンテ用バルブを開けてください。（19ページ参照）

⑦屋内の給湯栓を開けてください。



⑧給湯栓から空気が出なくなったら給湯栓を閉めてから、[完了]ボタンを押してください。



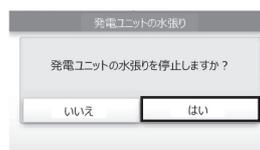
給湯栓 屋内の給湯蛇口です。

停止する場合（上記画面表示中のみ停止可能です）

①屋内の給湯栓を閉めてから、上記画面の[停止]ボタンを押してください。

②[はい]ボタンを押してください。

[いいえ]ボタンを押すと前の画面に戻ります。

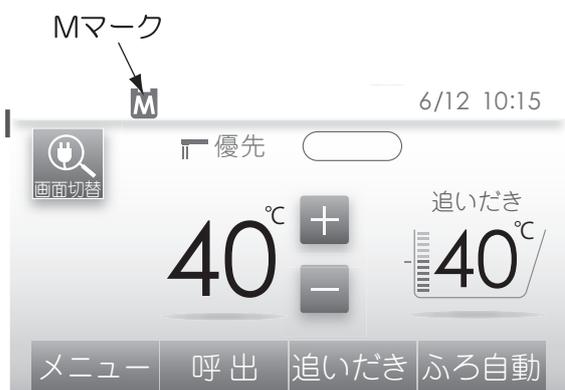


⑨11ページの「フロントR小パネルの取り付け方法」を参照し、発電ユニットのフロントR小パネルを取り付けてください。

運転・停止について

1. 以下の場合、発電ユニットは停止します。

- ガスマイコンメーターの安全機能確認のため、26日間連続して発電すると、27日目に約24時発電ユニットは停止します。（Mマークが表示されているとき）
停止後は全てのガス機器（暖房も含む）を最低70分以上使用しないでください。
（停止後は自動で運転を再開しますので、操作は必要ありません。）



- リモコン操作・お湯・暖房を10日以上使用しなかったとき
自動的に不在停止となります。
- 機器保護運転をしているとき
夏期に外気温度が高いときに、電気使用・お湯使用が少ないと機器保護のため停止することがあります。この場合、リモコンにエラーコード[03F00]、[03F03]、[03F05]、[03F07]、[08F00]、[08F03]を表示することもあります。故障ではありません。（停止後は自動で運転を再開しますので、操作は必要ありません。）
- 故障診断をしているとき
故障診断をしているとき、一定時間停止したままの場合があります。

2. 以下の場合、発電ユニットは発電出力を下げます。

- 機器保護運転をしているとき
夏期に外気温度が高いときに、電気使用・お湯使用が少ないと機器保護のため発電出力を自動的に下げる場合があります。
- ご使用による経年劣化により、ある程度の発電出力が低下します。
- 低出力から急に高出力に切り替わった場合は機器保護のために発電出力を自動的に下げる場合があります。
- ガスマイコンメーターの保安機能を正常に作動させるため、1日に2～3回約6分間発電出力を下げます。
- 発電ユニットの内部センサー補正動作のため、稀に発電出力を数分間OWIに下げる場合があります。

運転・停止について

3. 停電のときは

- 発電中に停電した場合（停電時発電継続仕様のお客さまの場合）
停電時発電継続機能により発電を継続します。
発電した電気は停電時専用コンセントより出力します。（停電してから約90秒後に出力開始します。）
（27～33ページ参照）
- 発電中に停電した場合（標準仕様のお客さまの場合）
停電中は、アイドル状態になり、復旧待機しています。（最長5時間）ガス、水は閉めないでください。
※ 復旧後約5分で発電が開始します。また、お客さまの発電ユニットの運転状態によっては停電中に停止する場合があります。
※ アイドル状態とは、運転をしていますが発電電力を出力していない（OW）状態のことです。
- 停電が復旧した場合（停電時発電継続仕様のお客さまの場合）
停電時発電継続運転を終了し、通常運転に約5分後自動的に切り替わります。
※ 停電時専用コンセントは停電しているときにだけお使いください。なお、停電が復旧するとすぐに電気の供給は止まりますので、ご注意ください。
- 待機中・起動中・停止中に停電した場合
停電中は起動しません。

4. 工事などで停電、断水、ガス停止が事前に分かっているときの対応

- 停電が事前に分かっているとき（停電時発電継続仕様のお客さまの場合）について
 - <事前準備>
事前準備は特にありません。
ただし、停電予定期間中に発電をさせたい場合は、28ページの事前準備を行ってください。
 - <停電復旧後>
必要な操作は特にありません。
- 停電が事前に分かっているとき（標準仕様のお客さまの場合）について
 - <事前準備>
停電する半日以上前に「発電禁止」操作（16ページ参照）により、発電ユニットを停止してください。
 - <停電復旧後>
「発電禁止からの再開」操作（15ページ参照）を行ってください。
- 断水が事前に分かっているときについて
 - <事前準備>
事前準備は特にありません。
※ 断水中は、発電が停止する場合がありますため、お湯、水の使用を控えてください。
 - <水道復旧後>
給水栓（レバー式の場合はレバーを水側に切り替えて）を開け、汚れた水を十分に流してから使用してください。
- ガス停止が事前に分かっているときについて
 - <事前準備>
ガスが停止する半日以上前に「発電禁止」操作（16ページ参照）により、発電ユニットを停止してください。
 - <ガス復旧後>
「発電禁止からの再開」操作（15ページ参照）を行ってください。

5. 緊急時などガス栓を閉にした場合、屋内分電盤の専用ブレーカをOFFした場合

再使用の前に、12ページの「ご使用前の確認」を行ってください。

停電時に電気とお湯を使う

(停電時発電継続仕様をお使いのお客さまへ)



注意 (停電時発電継続運転について)

停電時発電継続運転時は浴槽の排水栓を抜く

停電時発電継続運転中は運転を継続するために排湯機能により自動でお風呂にお湯を出すことがあります。浴槽の排水栓を抜かないと、思わぬ事故や、浴槽のお湯があふれるなどの原因となります。



確認

お願い

停電時専用コンセントが設けられていることを確認する

停電時にエネファームで発電した電気を使用するには、停電時専用コンセントが必要です。

「エネファーム type S 停電時自立発電専用」と表示のあるコンセントが、停電時専用コンセントです。

断水時は給水・給湯栓を使用しない

停電時発電継続運転時に断水状態*のまま水やお湯を使用し、貯湯タンク内のお湯(水)の残量が少なくなると、発電ユニットが異常停止します。

*断水状態：停電などの理由により、ご家庭への給水が停止している状態

- 発電ユニットが発電中に停電した場合は、停電時発電継続機能により発電を継続しますので、発電した電気と熱源機のお湯をご使用いただけます。
- 発電ユニットが発電を停止しているときに停電した場合は、発電することができません。また、ガスの供給が停止している場合にも発電できません。以下の場合、発電ユニットは停止しています。
 - ・ガスマイコンメーターの安全機能確認のため停止しているとき(発電停止時にMマークが表示されているとき)ガスマイコンメーターの安全機能確認のため、26日間連続して発電すると、27日目に約24時間発電ユニットは停止します。停止後は全てのガス機器(暖房を含む)を最低70分以上使用しないでください。(停止後は自動で運転を再開しますので、操作は必要ありません。)
 - ・お湯/暖房を10日以上使用しなかったとき自動的に不在停止となります。
 - ・機器保護運転をしているとき夏期に外気温度が高いときに、電気使用・お湯使用が少ないと機器保護のため停止することがあります。この場合、リモコンにエラーコード[03F00]、[03F03]、[03F05]、[03F07]、[08F00]、[08F03]を表示することもあります。故障ではありません。(停止後は自動で運転を再開しますので、操作は必要ありません。)
 - ・故障診断しているとき故障診断をしているとき、自動的に停止し一定時間停止したままの場合があります。
- 停電時発電継続機能で利用できる電気の量は最大約700Wです。
 - ※ 熱源機で使用する電気の量も含まれますので、実際にご利用できる電気の量は700Wよりも少なくなります。
- 停電時発電継続運転時は自動的に停電時専用コンセントに電気が供給されます。停電時専用コンセントには「エネファーム type S 停電時自立発電専用」と表示されています。事前に設置場所を確認してください。
 - ※ 停電時専用コンセントは停電しているときにだけお使いください。なお、停電が復旧するとすぐに停電時専用コンセントからの電気の供給は止まりますので、ご注意ください。
- 停電した場合でも熱源機からのお湯を使用することができます。

停電時に電気とお湯を使う

(停電時発電継続仕様をお使いのお客さまへ)

1. 停電前に

- あらかじめ計画停電など停電が予定されている場合は、以下の操作を行うことで停電時に発電させることができます。
 - 計画停電時にガスマイコンメーターの安全機能確認による発電停止を避けるため、停電予定日の2～3日前に、あらかじめ発電ユニットを連続24時間以上停止させてください。
 - ① リモコンで安全機能確認のための停止までの日数をご確認ください。
 - ② 停電予定期間中に次回停止がある場合：リモコン操作にて、あらかじめ発電ユニットを連続24時間以上停止させてください。(発電状況表示部の⚡が交互表示され、約10～12時間後⚡が消灯してから、連続24時間以上停止させてください。発電状況表示については14ページを参照してください。)遅くとも計画停電の4時間前までには発電再開操作を実施ください。
停電期間中に次回停止がない場合：特に操作は必要ありません。
 - ※ ①および②は、リモコンの取扱説明書をご参照ください。
-
- 停電時発電継続運転ができない場合でも、発電ユニットの貯湯タンク内のお湯(水)を、雑用水として利用することができます。

停電時に電気とお湯を使う

(停電時発電継続仕様をお使いのお客さまへ)

2. 停電時の対応

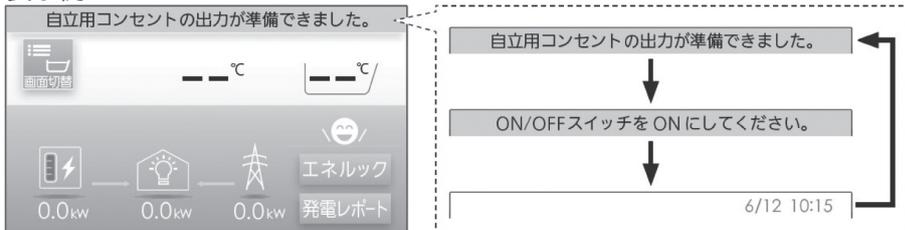
※ 災害時など、ガス漏れの危険性がある場合は使用を中止してください。事故の原因となることがあります。

■ 2-1 リモコン表示が下記画面になっていることを確認する

● 停電してから約90秒後*に、下記リモコン画面が表示します。

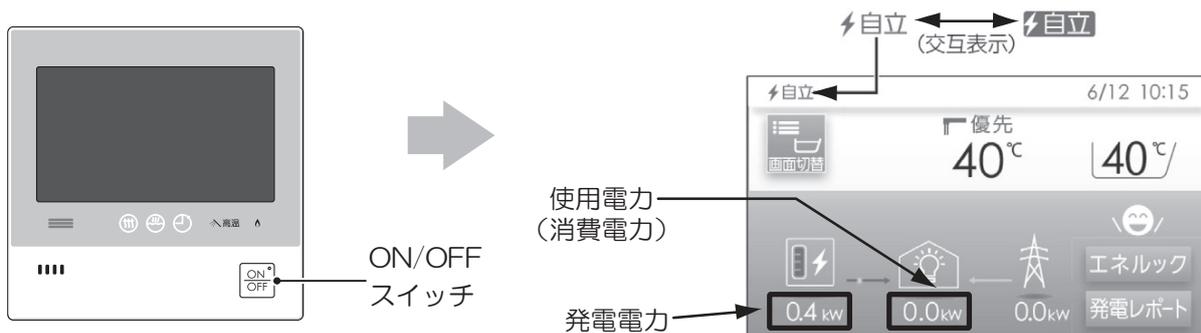
* お客さまの電気使用状況や、機器の経年劣化により出力開始までの時間は変化します。(最大約10分間)

表示例

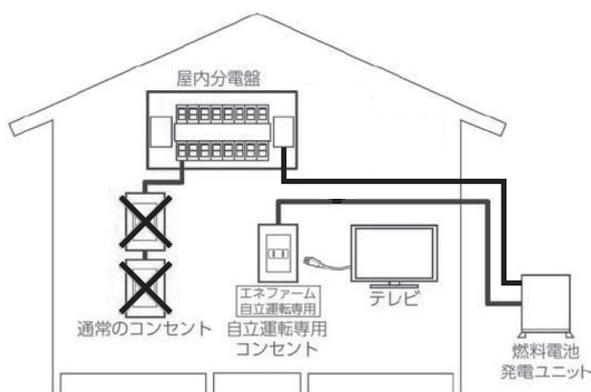


表示されるメッセージに従い対応してください。

■ 2-2 下記操作を実施し[自立]が交互表示していることを確認する「ON/OFF」スイッチを押す。

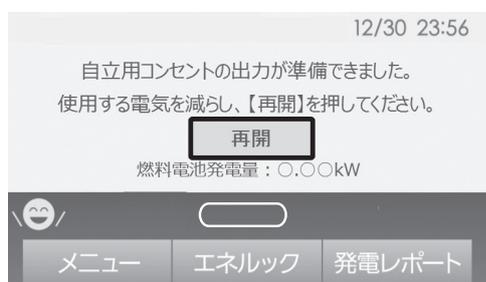


■ 2-3 電化製品の電源プラグを停電時専用コンセントに差し込む



- 停電時は停電時専用コンセントしか使うことができません。
- リモコン表示で発電電力表示と使用電力（消費電力）表示を確認しながら停電時専用コンセントに使用したい電化製品を一つずつ接続してください。
- 使用電力（消費電力）表示が発電電力表示を超えないよう、こまめに確認してください。
- 消費電力が発電電力を上回る場合（過負荷）は、停電時専用コンセントからの電気の供給が停止します。接続していた電化製品をコンセントから取り外し、リモコン画面のメッセージに従って操作をしてください。

■ 2-4 過負荷復帰操作 [再開]ボタンを押す。



停電時に電気とお湯を使う

(停電時発電継続仕様をお使いのお客さまへ)

3. 高出力発電の対応

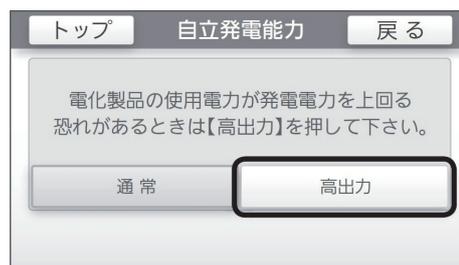
- 停電時発電継続運転中、電力消費が少ない状態がしばらく続くと自立出力を下げる場合があります。消費電力の大きい(ただし合計しても700Wをこえない)電化製品を使用されるときは以下の手順で高出力モードに切り替えてください。

※ 低出力から急に高出力に切り替わった場合は機器内部温度が限度より高くないように発電出力を自動的に下げる場合があります。

- ① トップ画面で発電量を確認し、発電出力が低い場合は[自立発電能力]ボタンを押す。
([自立発電能力]ボタンは、高出力発電が可能となるときのみ表示されます。)



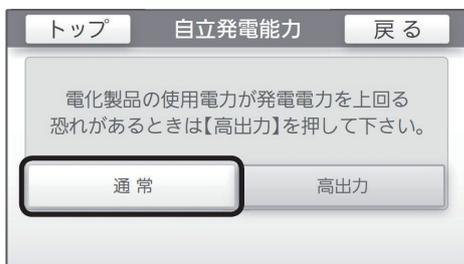
- ② [高出力]ボタンを押す。



- ③ 左上部の文字が、[自立・高]に変わります。



- 高出力設定を通常に戻す場合
②の画面で[通常]ボタンを押します。



※ 通常モードに戻し忘れた場合は消費電力低下から約5分後に機器保護のため自動的に通常モードに戻ります。

停電時に電気とお湯を使う

(停電時発電継続仕様をお使いのお客さまへ)

⚠ 注意

停電時発電継続運転時は浴槽の排水栓を抜く

停電時発電継続運転中は運転を継続するために排湯機能により自動でお風呂にお湯を出すことがあります。浴槽の排水栓を抜かないと、思わぬ事故や、浴槽のお湯があふれるなどの原因となります。



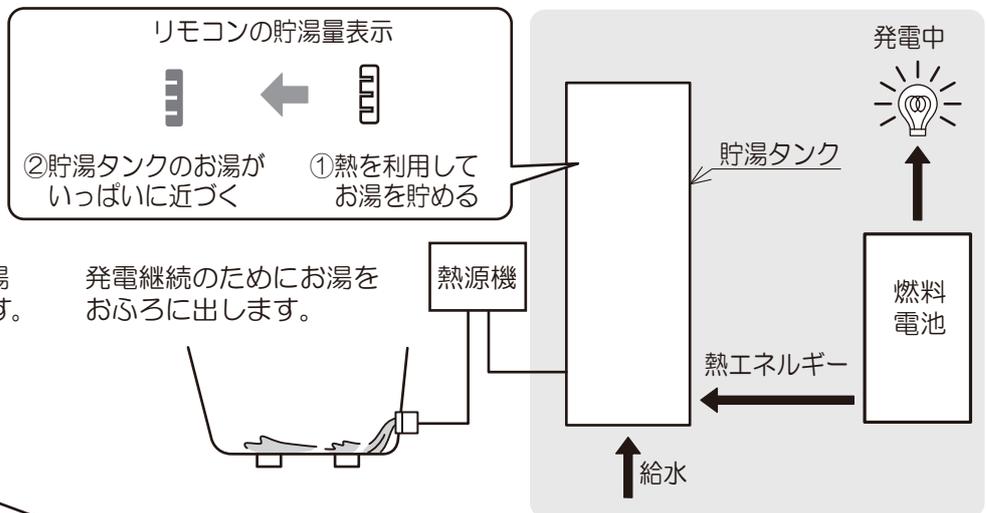
■ 排湯について

停電時発電継続運転中は運転を継続するために排湯機能*により自動でお風呂にお湯を出すことがあります。

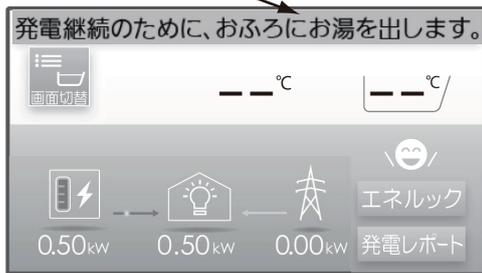
* 排湯機能とは…貯湯タンクがお湯でいっぱいになると、リモコンの表示と音でお知らせした後、自動でお風呂にお湯を出します。

貯湯量表示がいっぱいに近づくと、リモコンから[発電継続のためにお風呂にお湯を出します]と表示と音でお知らせし、お風呂にお湯を約20リットル出します。

※ 状況により複数回お湯を出す場合があります。



排湯メッセージ



排湯アナウンス

リモコンから表示と音でお知らせ

排湯機能に関するお知らせ事項

- お湯を使用するときはリモコンの給湯温度表示を確認し、手でお湯の温度を確認してから使用してください。
- 排湯を停止したい場合は、下記リモコン操作を行ってください。発電を続けるために繰り返し排湯を行うことがあります。

① 浴室リモコンの給湯トップ画面で[ふろ機能]をタッチする。



② [たし湯]をタッチする。



停電時に電気とお湯を使う

(停電時発電継続仕様をお使いのお客さまへ)

⚠ 警告

停電時専用コンセントには以下の機器を接続しない

停電時専用コンセントには停電時だけ電気が供給され、停電が復旧すると自動的に電気の供給が止まります。途中で電源が切れると生命、財産に損害を受けるおそれがある以下の機器には接続しないでください。

- ・ 全ての医療機器
- ・ 灯油を用いた暖房機器
- ・ 炊飯器、電子レンジなどの調理機器
- ・ バッテリーを搭載していないパソコンなどの情報機器および周辺機器
- ・ 冷蔵庫のような連続的に電力の供給が必要な機器
- ・ その他、電源が切れると生命、財産に損害を受けるおそれのある機器
- ・ 最大電力が700W以上になる機器

■ 主な電化製品の消費電力

- 数値は定格消費電力の一例です。実際の消費電力は、製品の種類や使用方法によって異なります。
- 電化製品の種類によっては、瞬間的に700Wを上回る電力負荷がかかるため、消費電力にかかわらず使用できないことがあります。(冷蔵庫、洗濯機、エアコンなどは使用できません。)

製品名	消費電力の目安 (W)	製品名	消費電力の目安 (W)
携帯の充電器	15	卓上LED照明	20
ラジカセ	20	ガスファンヒータ	30
扇風機	40	ノートPC	75
液晶テレビ32型	150		
熱源機の暖房運転	180	熱源機の凍結防止運転	250
電気炊飯器	1100	ヘアードライヤ	1200

⇒ご使用できません

⚠ 注意

ガスファンヒータの使用について

- ・ ガスファンヒータのご使用中は、部屋の換気にご注意ください。必ず1時間に1~2回(各1~2分)、窓を開けるなどして換気を行ってください。
- ・ 停電時専用コンセントで使用できる電力が少なく、ガスファンヒータを使用すると過負荷が発生するおそれがある場合は使用しないでください。
- ・ ガスファンヒータ運転中に停電が発生すると、ガスファンヒータの冷却が正常に行われず、温風の吹き出し口や機器背面(エアフィルタ部や取っ手部分)が高温になり、手で触れるとやけどのおそれがあります。
- ・ 停電時専用コンセントでガスファンヒータを使用しているときに異常を感じた場合は、ただちにガス栓を閉じてガスファンヒータの使用を中止し、東邦ガスに連絡してください。



確認



禁止



確認



確認

停電時に電気とお湯を使う

(停電時発電継続仕様をお使いのお客さまへ)

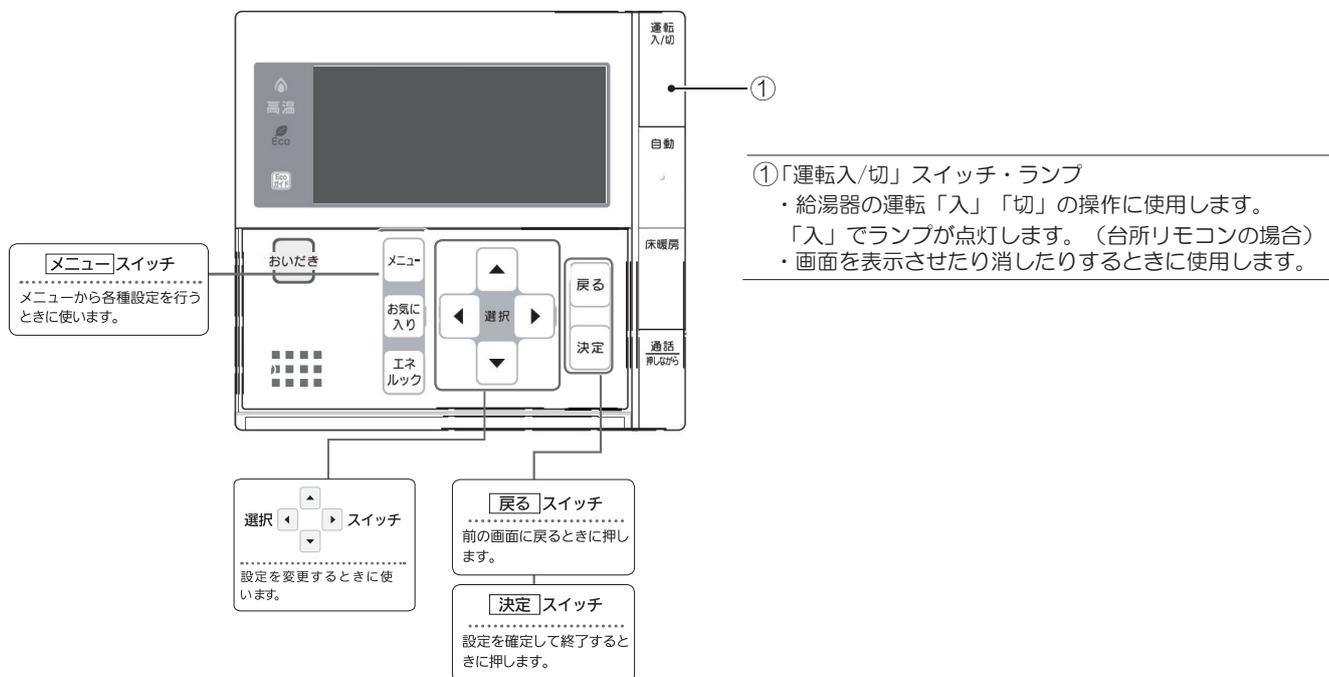
お知らせ

- 停電時に使用可能な電力は
熱源機の消費電力(数十W*1)と合わせて最大で約700Wです。消費電力の合計が発電量を超えないように注意してください。
*1 凍結予防など運転状態によって消費電力が変わりますので、リモコンの発電量と消費電力を確認しながらお使いください。
- 電化製品の電源を入れたとき
電化製品の種類によっては、一時的に使用できない場合があります。使用負荷によって過負荷を検知し、停電時専用コンセントからの電気の供給が停止することがあります。
これらの場合は最後につないだ電化製品のコードを抜いた状態で電気の供給停止後、約90秒(発電ユニットの状態によっては10分程度必要になる場合があります)ほど待ち、リモコンの[再開]ボタンを押した後、使用できるようになります。(29ページ参照)
- 停電時発電継続運転開始直後は
発電ユニットの状態によって、消費電力が700W以下の電化製品を使用した場合でも、一時的に使用できない場合がありますので、リモコン表示部の電力量を確認してから電化製品のコードをさしてください。
- 停電時発電継続運転中に発電を停止させたい場合は、
リモコン操作により[発電禁止]で停止させてください。ただし、停電が復旧するまで再使用(発電)できません。
操作方法は、16ページ「発電ユニットの停止方法」をご参照ください。
- 停電時発電継続運転中は、
発電ユニットの蓄熱量が多いと、排気口から多くの湯気が出たり、運転音が大きくなる場合がありますが、故障ではありません。
- 断水*2時は、使用できる電気量を抑制したり、出力が不安定になることがあります。
 - ・ 停電時専用コンセントで使用する負荷が小さい場合
 - ・ 貯湯タンクのお湯がいっぱい、またはいっぱいに近い場合*2 断水 ご家庭への給水が停止している状態
- 以下の場合は停電時発電継続運転を停止する場合があります。
 - ・ 外気温が高く発電ユニットのタンク内水温が高い場合には、停電時発電継続運転を停止する場合があります。※ 停止させないために貯湯タンクのお湯を利用ください。
- 停電時発電継続運転中は、自動でお風呂にお湯を出すことがあります。

リモコンの操作説明

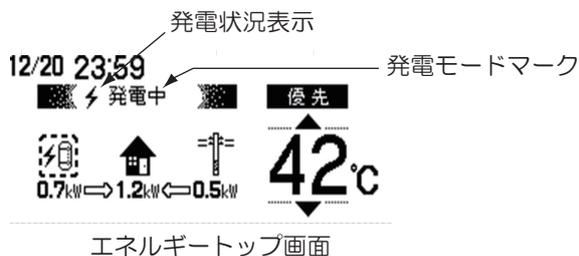
ここでは発電ユニットを運転・停止するためのリモコン操作について説明いたします。
リモコンのその他の詳細機能については、リモコンの取扱説明書（リモコン操作編）を参照してください。

1. 各部のなまえとはたらき（台所リモコン）



※ 説明中のリモコン表示画面は一例です。

リモコンの操作説明



2. 発電状況表示の見かた

そのときの発電状態や、発電の設定を表示します。

⚡ 発電中	
⚡ (点灯)	発電しています。
⚡ (点滅)	起動中(発電準備中)です。
⚡ ↔ (交互表示)	発電停止の動作中です。
(表示なし)	発電ユニットは停止しています。

表示	状態	
発電中	発電しています。	
起動中	起動中(発電準備中)です。	
停止中	発電停止の動作中です。	
(表示なし)	発電ユニットは停止しています。	
発電禁止	発電を強制的に禁止しています。	
発電×	発電ユニットが使用できない場合に表示します。	
逆潮流の場合	電圧抑制 ^{※1}	発電ユニットの出力を一時的に抑えています。
	売電中	発電した電力を売電しています。
停電時発電継続運転仕様の場合	⚡ 自立 ↔ 自立 (交互表示)	停電時発電継続運転しています。
	⚡ 自立・高 ↔ 自立・高 (交互表示)	高出力モード (50ページ)で停電時発電継続運転しています。

※1 自宅につながれている送電線の系統の電圧が高くなりすぎたとき、発電ユニット側の電圧が上限を超えないよう、発電ユニットの出力を抑えます。電圧が正常範囲に戻ると、この機能は自動的に解除されます。

3. 発電モードマークの見かた

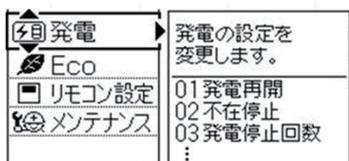
	タンクリフレッシュ 運転マーク	長時間お湯の使用がなかったときなどに、貯湯タンク内の水質を維持するための運転をしています。	
	ガスマイコン メーター 確認マーク (Mマーク)	発電中	1日に数回約6分間、発電能力を制限しています。
		自立	1日に数回約6分間、発電能力を制限しています。
		のみ	<ul style="list-style-type: none"> ●お客さま宅のガスマイコンメーターの誤警報防止のため、発電ユニットは26日間連続して発電すると、27日目に約24時間停止します。この機能により停止している間は、この表示がでます。 ●この表示が出たら、全てのガス機器（暖房も含む）を最低70分以上使用しないでください。70分あけずにガス機器を使用すると、ガスマイコンメーターがガス漏れと誤警報します。誤警報を防ぐために、リモコン上に[01900]を表示し、1日以上発電ユニットが停止する場合があります。この場合は、ガス機器を70分以上停止する時間を設けてください。
	凍結予防マーク	機器は凍結予防のために自動的に凍結予防運転をします。その動作中に表示されます。	

基本操作の説明

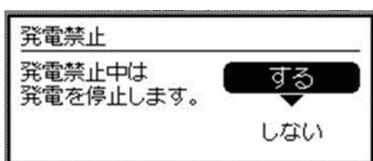
1. 発電ユニットの起動方法

■ 1-1. 発電禁止からの再開（37ページ「■ 2-1」（発電禁止）で停止させた場合）

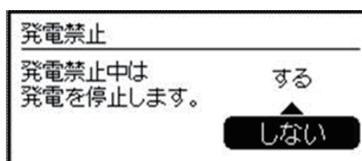
- ① 「メニュー」ボタンを押してください。
- ② ▲または▼で[発電]を選択し▶または「決定」を押してください。
- ③ ▲または▼で[発電禁止]を選択し▶または「決定」を押してください。



- ④ ▼を押してください。



- ⑤ 「決定」を押してください。



発電ユニットが起動をはじめます。

■ 1-2. 不在停止からの再開（38ページ「■ 2-2」（不在停止）で停止させた場合）

下記方法で再開します。

<不在停止設定後いつでも>

- ・リモコンの「入/切」スイッチの「入」操作をする。
- ・発電ユニットと接続された熱源機による給湯・暖房(ガス式床暖房、ガス式浴室暖房等)・追い焚きをする。

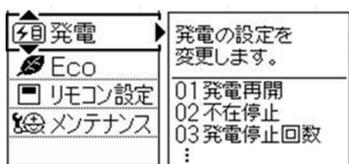
<不在停止設定後5時間以上経過している場合>

- ・リモコンの操作ボタン（全てのボタンが対象）を押す。（3分後に発電ユニットが起動をはじめます。）

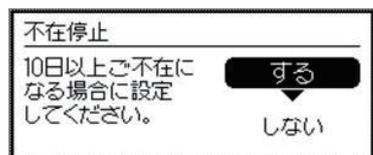
<不在停止設定後5時間未満の場合>

- ・メニュー画面から再開操作をする。

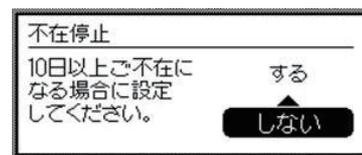
- ① 「メニュー」ボタンを押してください。
- ② ▲または▼で[発電]を選択し▶または「決定」を押してください。
- ③ ▲または▼で[不在停止]を選択し▶または「決定」を押してください。



- ④ ▼を押してください。



- ⑤ 「決定」を押してください。



発電ユニットが起動をはじめます。

基本操作の説明

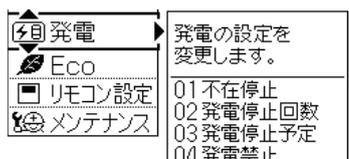
2. 発電ユニットの停止方法

※ お客さま操作により、頻繁に起動・停止(不在停止等)を繰り返すと故障の原因になるおそれがあり、保証の対象外になる場合があります。機器の耐久性維持のため、不在停止機能のご使用は10回/年までを目安とし、10日以上不在にされる場合にご使用ください。

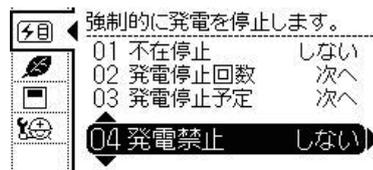
■ 2-1 機器の水抜きをするときなど、強制的に発電を停止させたいときの停止方法(発電禁止)

① 「メニュー」ボタンを押してください。

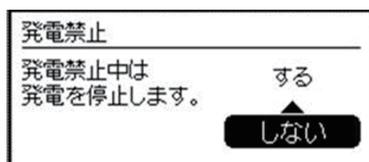
② ▲または▼で[発電]を選択し▶または「決定」を押してください。



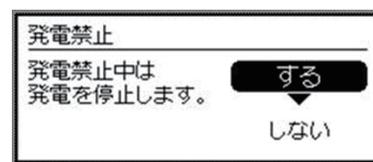
③ ▲または▼で[発電禁止]を選択し▶または「決定」を押してください。



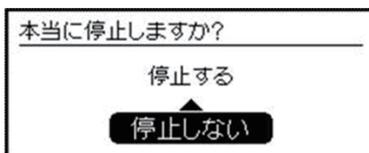
④ ▲を押してください。



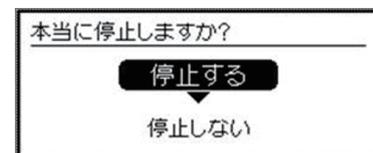
⑤ 「決定」を押してください。



⑥ ▲を押してください。



⑦ 「決定」を押してください。



※ 約10~12時間後に発電停止表示は消灯し、リモコントップ画面の左上に[発電禁止]と表示されます。

リモコン(リムナイ) 運転について

基本操作の説明

■ 2-2 10日以上家をあけるなど、全ての運転（発電・給湯・暖房など）をしばらく停止したいときの停止方法（不在停止）

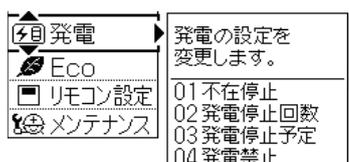
※1か月以上の長期不在時には、この方法に加えて水抜きが必要です。41ページを参考に水抜き操作を行ってください。

※ 10日以上リモコン操作・お湯・熱源機による暖房を使用しない状態が続くと、自動的に不在停止が[する]になります。

※ お湯・暖房などの停止方法は、それぞれの取扱説明書を参照ください。

① 「メニュー」ボタンを押してください。

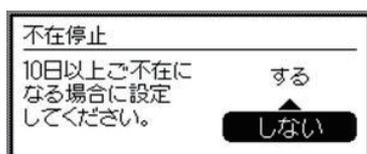
② ▲または▼で[発電]を選択し▶または「決定」を押してください。



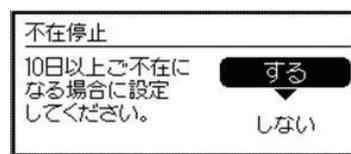
③ ▲または▼で[不在停止]を選択し▶または「決定」を押してください。



④ ▲を押してください。



⑤ 「決定」を押してください。



⑥ ▲を押してください。



⑦ 「決定」を押してください。



⑧ 液晶画面が消え、「運転入/切」スイッチのランプが消灯します。

※ 不在停止設定を[する]にした後は、以下の操作を行わないでください。

不在停止が解除されます。

<不在停止設定後いつでも>

- ・リモコンの「入/切」ボタンの「入」操作をする。
- ・熱源機による暖房を使用する。

<不在停止設定後5時間以上経過している場合>

- ・リモコンの操作ボタン（全てのボタンに対応）を押す。

基本操作の説明

3. 発電ユニットの貯湯タンク洗浄のための水抜き方法

- ※ 貯湯タンク洗浄には水抜きが必要となります。
- ※ 1か月以上使用しない場合の水抜き方法は、41ページ参照を参照してください。
- ※ この操作開始後水張り（44ページ参照）完了までは、発電を開始することはできません。また熱源機もご使用になれません。

⚠ 注意

水抜き時タンク排水配管には触れない

場合によってはお湯が排出されることがあり、やけどの原因になることがあります。



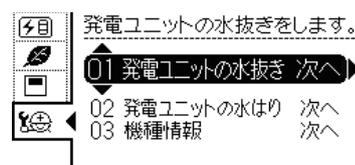
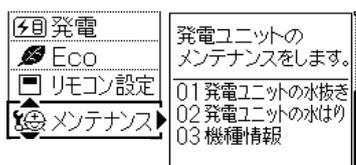
水抜き時はエア抜き栓の正面に身体を置かない

場合によってはお湯が飛び出すことがあり、やけどの原因になることがあります。

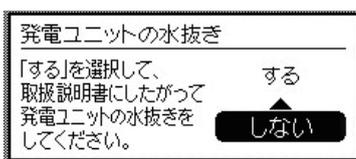


※ やけど予防のため、リモコン操作によるタンク内水温の冷却（手順①～⑦）を行ってから、バルブ操作による水抜き（手順⑧～⑨）を行ってください。

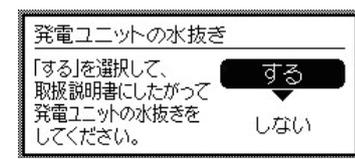
- ① 「メニュー」ボタンを押してください。
- ② ▲または▼で[メンテナンス]を選択し▶または「決定」を押してください。
- ③ ▲または▼で[発電ユニットの水抜き]を選択し▶または「決定」を押してください。



- ④ ▲を押してください。



- ⑤ 「決定」を押してください。

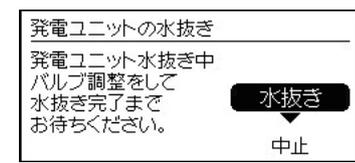
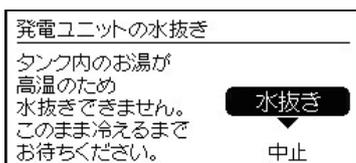


タンク内
高温時

※ タンク内水温が下がると⑥に移行します。
[中止]を選択して「決定」を押すと、水抜きは中止されメンテナンス画面に切り替ります。

※ タンク内温度が低い場合でも約10分間は冷却します。

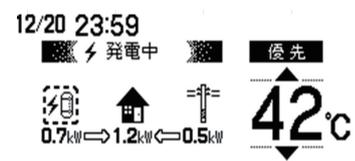
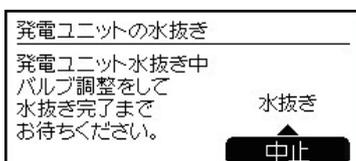
- ⑥ タンク内水温が水抜き可能温度です。▼を押してください。



タンク内部
温度冷却後

- ⑦ 「決定」を押してリモコンによる水抜きを停止してください。

- ⑧ メンテナンス画面に切り替わった後、「メニュー」を押してください。

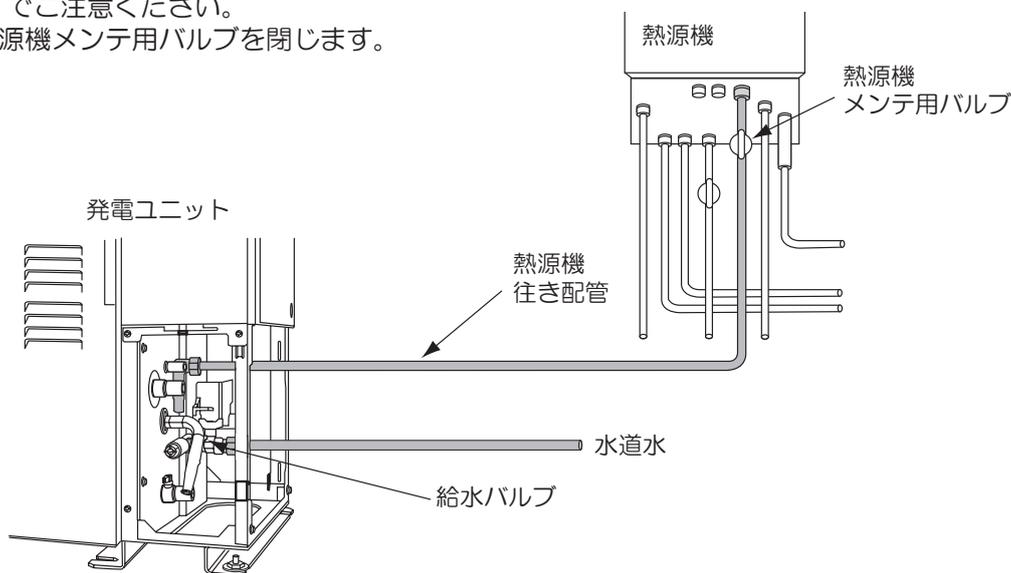


運転に
リモコン(リモナイ)

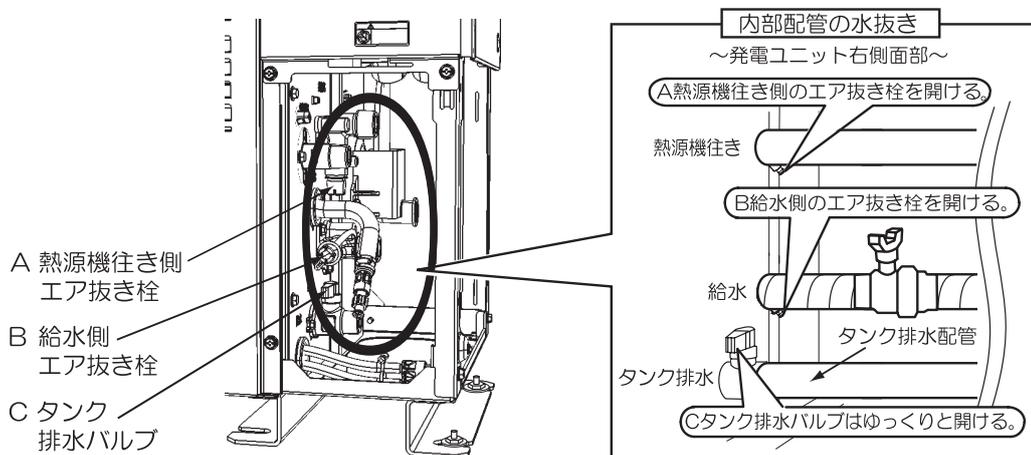
基本操作の説明

⑨ トップ画面移行後次の操作をしてください。

- ・ 11ページの「フロントR小パネルの取り外し方法」を参照し、発電ユニットのフロントR小パネルを外します。
- ・ 給水バルブを閉じます。
※ 給水バルブを閉じずに以降の操作をすると、ユニット内部機器の寿命が著しく短くなりますのでご注意ください。
- ・ 熱源機メンテ用バルブを閉じます。



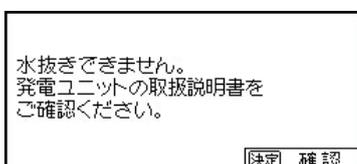
- ・ Cタンク排水バルブをゆっくりと開けます。
- ・ A熱源機往き側のエア抜き栓を反時計回りに3回転させます。
- ・ B 給水側のエア抜き栓を反時計回りに3回転させます。



⑩ タンク排水配管より湯（水）が出なくなったら、B給水側、A熱源機往き側のエア抜き栓を閉め、Cタンク排水バルブを閉じます。

⑪ 11ページの「フロントR小パネルの取り付け方法」を参照し、発電ユニットのフロントR小パネルを取り付けてください。

※ 水抜き手順で下記画面が表示される場合
(2秒程度表示しトップ画面に移行します。)



水抜きは、発電ユニットが停止状態のみ受け付けます。
発電ユニットが完全に停止後、再度操作してください。

基本操作の説明

4. 長期間使用しない場合の発電ユニットの水抜き方法

- 旅行等のため、10日以上使用しないときは、リモコンで「不在停止」にし、発電ユニットを停止させてください。（手順は38ページを参照ください。）
- 1か月以上不在にされる場合もしくは1か月未満でも電源が確保できないことに加えて凍結のおそれがある場合（気温が氷点下になる可能性がある場合）は、下記の発電ユニット水抜き方法に従い水抜きを実施してください。水抜きをしないと故障の原因となります。（お手数ですがお客さまで実施ください。）また、熱源機の水抜きも必ず実施してください。手順は熱源機の取扱説明書をご参照ください。
- 使用開始時には専門のサービスマンがお伺いしますので、東邦ガスにご連絡ください。
- 引越しをされる場合は、その2～3日前までに前もって東邦ガスにご連絡ください。
- 水抜きを実施する場合は、前日までに発電禁止による停止操作を行ってください。

⚠ 注意

水抜き時タンク排水配管には触れない

場合によってはお湯が排出されることがあり、やけどの原因になることがあります。



水抜き時はエア抜き栓の正面に身体を置かない

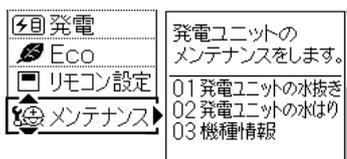
場合によってはお湯が飛び出すことがあり、やけどの原因になることがあります。



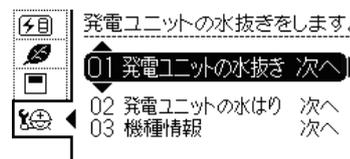
※ やけど予防のため、リモコン操作によるタンク内水温の冷却（手順①～⑨）を行ってから、バルブ操作による水抜き（手順⑩～⑪）を行ってください。

■ 発電ユニット水抜き手順

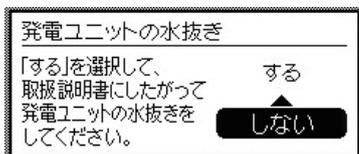
- ① 「メニュー」ボタンを押してください。
- ② ▲または▼で[メンテナンス]を選択し▶または「決定」を押してください。



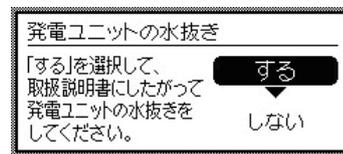
- ③ ▲または▼で[発電ユニットの水抜き]を選択し▶または「決定」を押してください。



- ④ ▲を押してください。



- ⑤ 「決定」を押してください。

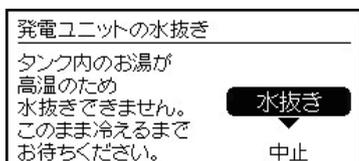


タンク内
高温時

※ タンク内温
度が低い場
合でも約10
分間は冷却
します。

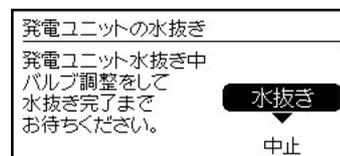
基本操作の説明

※ タンク内水温が下がると⑥に移行します。
[中止]を選択し「決定」を押すと停止画面に移行します。



タンク内部
温度冷却後

⑥タンク内水温が下がりましたので、11ページの「フロントR小パネルの取り外し方法」を参照し、発電ユニットのフロントR小パネルを外した後、⑦のバルブ操作をしてください。(11ページ参照)

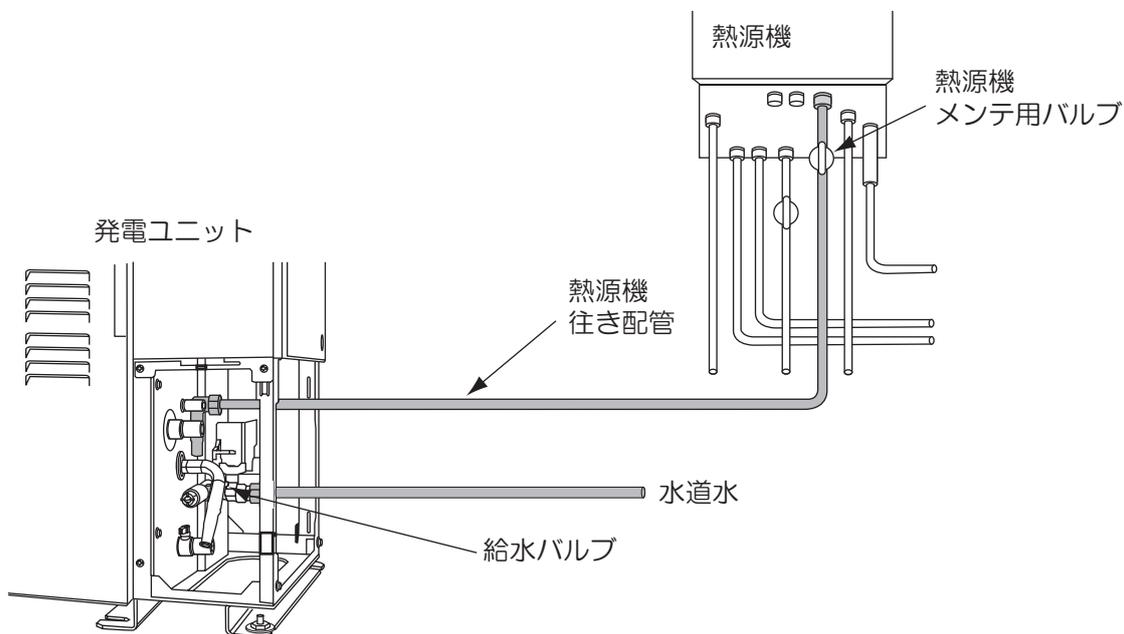


水抜きが完了すると、メイン画面に自動的に移行します。

※ 30分経過しても水抜きが終了しない場合は、[中止]を選択し「決定」を押して水抜きを停止してください。A～F(43ページ参照)のバルブまたはプラグが開いていることを確認後、再度①より実施してください。

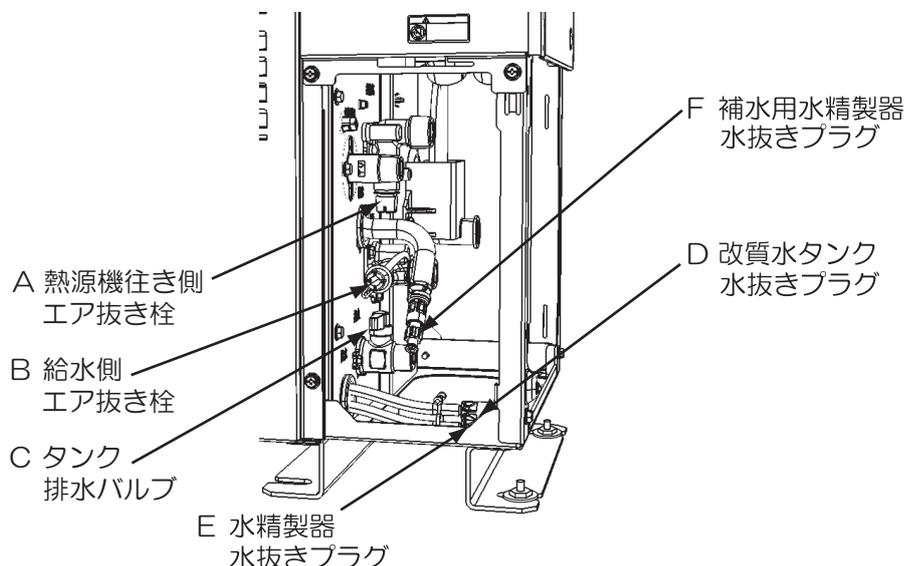
⑦下記バルブの操作をしてください。

- ・ 給水バルブを閉じます。
※ 給水バルブを閉じずに以降の操作をすると、ユニット内部機器の寿命が著しく短くなりますのでご注意ください。
- ・ 熱源機メンテ用バルブを閉じます。



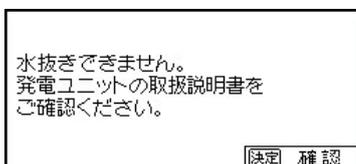
基本操作の説明

- ・ Cタンク排水バルブをゆっくりと開けます。
- ・ A熱源機行き側のエア抜き栓を反時計回りに3回転させます。
- ・ B 給水側のエア抜き栓を反時計回りに3回転させます。



- ⑧D改質水タンク水抜きプラグとE水精製器水抜きプラグ、F補水用水精製器水抜きプラグ計3か所を反時計回りに1回転させ、改質水を抜きます。
(全て排水されるまで、約10分かかります。)
- ⑨リモコンの画面がメイン画面に移行し、タンク排水配管およびD、E、Fの水抜きプラグから水が出なくなったことを確認し、D、E、Fの水抜きプラグを時計回りに回して締めてください。
※ 30分経過してもトップ画面に移行しない場合は、水抜きを中止し、各バルブ確認後、再度手順①より実施してください。
- ⑩B給水側、A熱源機行き側のエア抜き栓を閉め、Cタンク排水バルブを閉じます。
- ⑪発電ユニットと熱源機のガス栓を閉じ、屋内分電盤の専用ブレーカを「OFF」にします。
- ⑫11ページの「フロントR小パネルの取り付け方法」を参照し、発電ユニットのフロントR小パネルを取り付けてください。

※ 水抜き手順で下記画面が表示される場合
(2秒程度表示しトップ画面に移行する)



水抜きは、発電ユニットが停止状態のみ受け付けます。
発電ユニットが完全に停止後、再度操作してください。

- 使用開始時には専門のサービスマンがお伺いしますので、東邦ガスにご連絡ください。

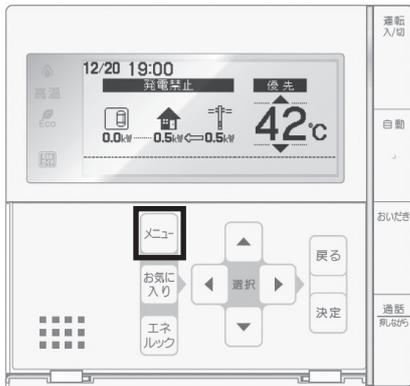
基本操作の説明

5. 発電ユニットの水張り方法

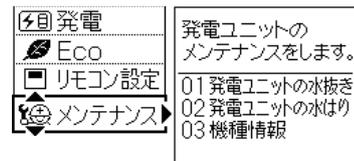
次の場合に実施してください。

- 断水時に湯（水）を使用された場合
- エラー表示部に[81F01]、[82F01]が表示された場合
- 貯湯タンクを洗浄する場合

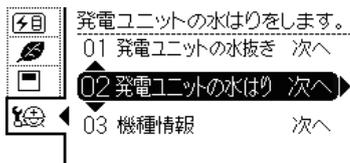
① 「メニュー」ボタンを押してください。



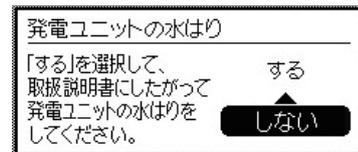
② ▲または▼で[メンテナンス]を選択し
▶ または「決定」を押してください。



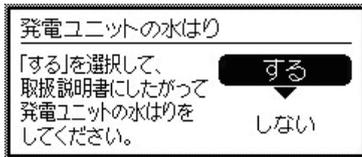
③ ▲または▼で[発電ユニットの水はり]を選択し
▶ または「決定」を押してください。



④ ▲を押してください。

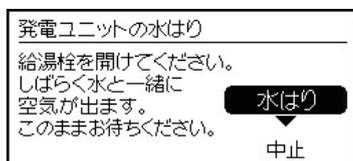


⑤ 「決定」を押してください

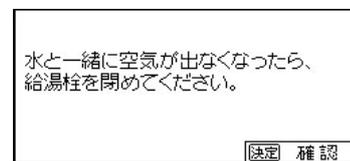


⑥ 11ページの「フロントR小パネルの取り外し方法」を参照し、発電ユニットのフロントR小パネルを外した後、発電ユニットの給水バルブ・熱源機メンテ用バルブを開けてください。（42ページ参照）

⑦ 屋内の給湯栓を開けてください



⑧ 給湯栓から空気が出なくなったら給湯栓を閉めてから、「決定」を押してください。



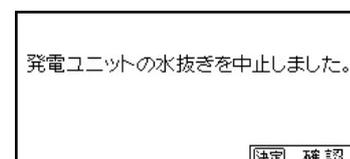
給湯栓 屋内の給湯蛇口です。

⑨ 11ページの「フロントR小パネルの取り付け方法」を参照し、発電ユニットのフロントR小パネルを取り付けてください。

停止する場合

① 屋内の給湯栓を閉めてから、上記画面の▼で[中止]を選択し「決定」を押してください。

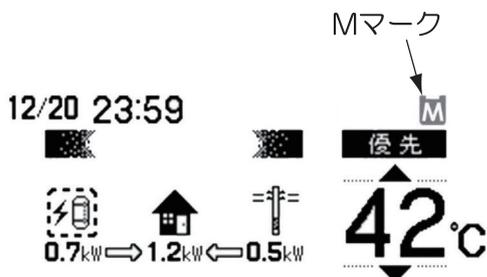
② 「決定」を押してください。



運転・停止について

1. 以下の場合、発電ユニットは停止します。

- ガスマイコンメーターの安全機能確認のため、26日間連続して発電すると、27日目に約24時発電ユニットは停止します。（Mマークが表示されているとき）
停止後は全てのガス機器（暖房も含む）を最低70分以上使用しないでください。
（停止後は自動で運転を再開しますので、操作は必要ありません。）



- リモコン操作・お湯・暖房を10日以上使用しなかったとき
自動的に不在停止となります。
- 機器保護運転をしているとき
夏期に外気温度が高いときに、電気使用・お湯使用が少ないと機器保護のため停止することがあります。この場合、リモコンにエラーコード[03F00]、[03F03]、[03F05]、[03F07]、[08F00]、[08F03]を表示することもあります。故障ではありません。（停止後は自動で運転を再開しますので、操作は必要ありません。）
- 故障診断をしているとき
故障診断をしているとき一定時間停止したままの場合があります。

2. 以下の場合、発電ユニットは発電出力を下げます。

- 機器保護運転をしているとき
夏期に外気温度が高いときに、電気使用・お湯使用が少ないと機器保護のため発電出力を自動的に下げる場合があります。
- ご使用による経年劣化により、ある程度の発電出力が低下します。
- 低出力から急に高出力に切り替わった場合は機器保護のために発電出力を自動的に下げる場合があります。
- ガスマイコンメーターの保安機能を正常に作動させるため、1日に2～3回約6分間発電出力を下げます。
- 発電ユニットの内部センサの補正動作のため、稀に発電出力を数分間0Wに下げる場合があります。

運転・停止について

3. 停電のときは

- 発電中に停電した場合（停電時発電継続仕様のお客さまの場合）
停電時発電継続機能により発電を継続します。
発電した電気は停電時専用コンセントより出力します。（停電してから約90秒後に出力開始します。）
（47～53ページ参照）
- 発電中に停電した場合（標準仕様のお客さまの場合）
停電中は、アイドル状態になり、復旧待機しています。（最長5時間）ガス、水は閉めないでください。
※ 復旧後約5分で発電が開始します。また、お客さまの発電ユニットの運転状態によっては停電中に停止する場合があります。
※ アイドル状態とは、運転をしていますが発電電力を出力していない（OW）状態のことです。
- 停電が復旧した場合（停電時発電継続仕様のお客さまの場合）
停電時発電継続運転を終了し、通常運転に約5分後自動的に切り替わります。
※ 停電時専用コンセントは停電しているときにだけお使いください。なお、停電が復旧するとすぐに電気の供給は止まりますので、ご注意ください。
- 待機中・起動中・停止中に停電した場合
停電中は起動しません。

4. 工事などで停電、断水、ガス停止が事前に分かっているときの対応

- 停電が事前に分かっているとき（停電時発電継続仕様のお客さまの場合）について
 - <事前準備>
事前準備は特にありません。
ただし、停電予定期間中に発電をさせたい場合は、48ページの事前準備を行ってください。
 - <停電復旧後>
必要な操作は特にありません。
- 停電が事前に分かっているとき（標準仕様のお客さまの場合）について
 - <事前準備>
停電する半日以上前に「発電禁止」操作（37ページ参照）により、発電ユニットを停止してください。
 - <停電復旧後>
「発電禁止からの再開」操作（36ページ参照）を行ってください。
- 断水が事前に分かっているときについて
 - <事前準備>
事前準備は特にありません。
※ 断水中は、発電が停止する場合がありますため、お湯、水の使用を控えてください。
 - <水道復旧後>
給水栓（レバー式の場合はレバーを水側に切り替えて）を開け、汚れた水を十分に流してから使用してください。
- ガス停止が事前に分かっているときについて
 - <事前準備>
ガスが停止する半日以上前に「発電禁止」操作（37ページ参照）により、発電ユニットを停止してください。
 - <ガス復旧後>
「発電禁止からの再開」操作（36ページ参照）を行ってください。

5. 緊急時などガス栓を閉にした場合、屋内分電盤の専用ブレーカをOFFした場合

再使用の前に、12ページの「ご使用前の確認」を行ってください。

停電時に電気とお湯を使う

(停電時発電継続仕様をお使いのお客さまへ)

注意 (停電時発電継続運転について)

停電時発電継続運転時は浴槽の排水栓を抜く

停電時発電継続運転中は運転を継続するために排湯機能により自動でお風呂にお湯を出すことがあります。浴槽の排水栓を抜かないと、思わぬ事故や、浴槽のお湯があふれるなどの原因となります。



確認

お願い

停電時専用コンセントが設けられていることを確認する

停電時にエネファームで発電した電気を使用するには、停電時専用コンセントが必要です。

「エネファーム type S 停電時自立発電専用」と表示のあるコンセントが、停電時専用コンセントです。

断水時は給水・給湯栓を使用しない

停電時発電継続運転時に断水状態*のまま水やお湯を使用し、貯湯タンク内のお湯(水)の残量が少なくなると、発電ユニットが異常停止します。

*断水状態：停電などの理由により、ご家庭への給水が停止している状態

- 発電ユニットが発電中に停電した場合は、停電時発電継続機能により発電を継続しますので、発電した電気と熱源機のお湯をご使用いただけます。
- 発電ユニットが発電を停止しているときに停電した場合は、発電することができません。また、ガスの供給が停止している場合にも発電できません。以下の場合、発電ユニットは停止しています。
 - ・ガスマイコンメーターの安全機能確認のため停止しているとき(発電停止時にMマークが表示されているとき)ガスマイコンメーターの安全機能確認のため、26日間連続して発電すると、27日目に約24時間発電ユニットは停止します。停止後は全てのガス機器(暖房を含む)を最低70分以上使用しないでください。(停止後は自動で運転を再開しますので、操作は必要ありません。)
 - ・お湯/暖房を10日以上使用しなかったとき自動的に不在停止となります。
 - ・機器保護運転をしているとき夏期に外気温度が高いときに、電気使用・お湯使用が少ないと機器保護のため停止することがあります。この場合、リモコンにエラーコード[03F00]、[03F03]、[03F05]、[03F07]、[08F00]、[08F03]を表示することもあります。故障ではありません。(停止後は自動で運転を再開しますので、操作は必要ありません。)
 - ・故障診断しているとき故障診断をしているとき、自動的に停止し一定時間停止したままの場合があります。
- 停電時発電継続機能で利用できる電気の量は最大約700Wです。
 - ※ 熱源機で使用する電気の量も含まれますので、実際にご利用できる電気の量は700Wよりも少なくなります。
- 停電時発電継続運転時は自動的に停電時専用コンセントに電気が供給されます。停電時専用コンセントには「エネファーム type S 停電時自立発電専用」と表示されています。事前に設置場所を確認してください。
 - ※ 停電時専用コンセントは停電しているときにだけお使いください。なお、停電が復旧するとすぐに停電時専用コンセントからの電気の供給は止まりますので、ご注意ください。
- 停電した場合でも熱源機からのお湯を使用することができます。

停電時に電気とお湯を使う

(停電時発電継続仕様をお使いのお客さまへ)

1. 停電前に

- あらかじめ計画停電など停電が予定されている場合は、以下の操作を行うことで停電時に発電させることができます。
 - 計画停電時にガスマイコンメーターの安全機能確認による発電停止を避けるため、停電予定日の2～3日前に、あらかじめ発電ユニットを連続24時間以上停止させてください。
 - ① リモコンで安全機能確認のための停止までの日数をご確認ください。
 - ② 停電予定期間中に次回停止がある場合：リモコン操作にて、あらかじめ発電ユニットを連続24時間以上停止させてください。(発電状況表示部の⚡が交互表示され、約10～12時間後⚡が消灯してから、連続24時間以上停止させてください。発電状況表示については35ページを参照してください。)遅くとも計画停電の4時間前までには発電再開操作を実施ください。
停電期間中に次回停止がない場合：特に操作は必要ありません。
※ ①および②は、リモコンの取扱説明書をご参照ください。
- 停電時発電継続運転ができない場合でも、発電ユニットの貯湯タンク内のお湯(水)を、雑用水として利用することができます。

停電時に電気とお湯を使う

(停電時発電継続仕様をお使いのお客さまへ)

2. 停電時の対応

※ 災害時など、ガス漏れの危険性がある場合は使用を中止してください。事故の原因となることがあります。

■ 2-1 リモコン表示が下記画面になっていることを確認する

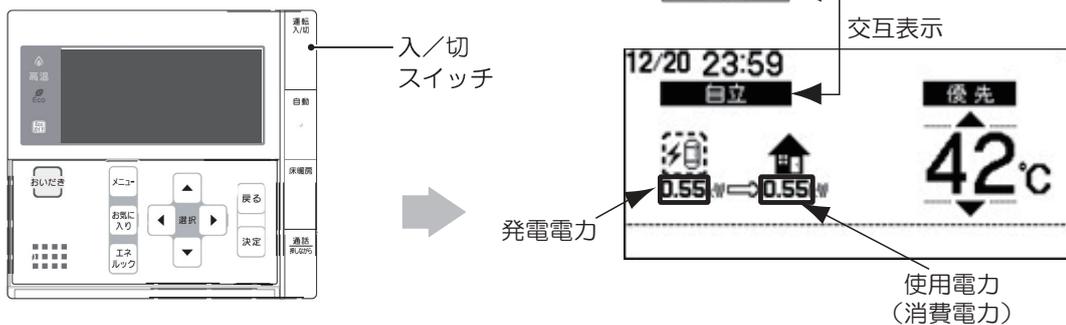
● 停電してから約90秒後*に、下記リモコン画面が表示します。

* お客さまの電気使用状況や、機器の経年劣化により出力開始までの時間は変化します。(最大約10分間)

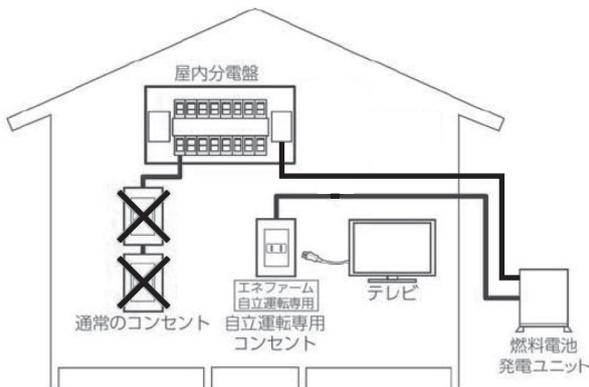


■ 2-2 下記操作を実施し[自立]が交互表示していることを確認する

「入/切」スイッチを押す。



■ 2-3 電化製品の電源プラグを自立運転専用コンセントに差し込む



● 停電時は停電時専用コンセントしか使うことができません。

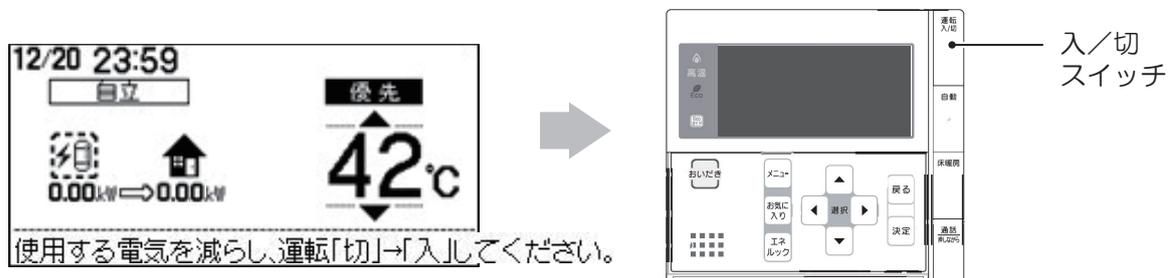
● リモコン表示で発電電力表示と使用電力(消費電力)表示を確認しながら停電時専用コンセントに使用したい電化製品を一つずつ接続してください。

● 使用電力(消費電力)表示が発電電力表示を超えないよう、こまめに確認してください。消費電力が発電電力を上回る場合(過負荷)は、停電時専用コンセントからの電気の供給が停止します。

接続していた電化製品をコンセントから取り外し、リモコン画面のメッセージに従って操作をしてください。

■ 2-4 過負荷復帰操作

「入/切」スイッチで入一切する。



停電時に電気とお湯を使う

(停電時発電継続仕様をお使いのお客さまへ)

3. 高出力発電の対応

● 停電時発電継続運転中、電力消費が少ない状態がしばらく続くと自立出力を下げる場合があります。消費電力の大きい(ただし合計しても700Wをこえない)電化製品を使用されるときは以下の手順で高出力モードに切り替えてください。

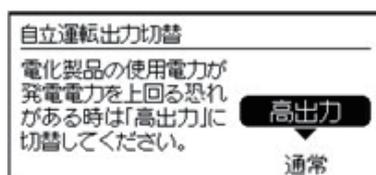
※ 低出力から急に高出力に切り替わった場合は機器内部温度が限度より高くないように発電出力を自動的に下げる場合があります。

① トップ画面で発電量を確認し、発電出力が低い場合は▶を押してください。

([出力切替]は、高出力発電が可能なお客さまのみ表示されます。)



③ 「決定」を押してください。



④ 左上部の文字が、[自立・高]に変わります。

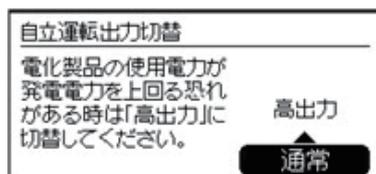


● 高出力設定を通常に戻す場合

① ▶を押してください。

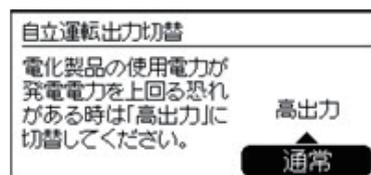


③ 「決定」を押してください。



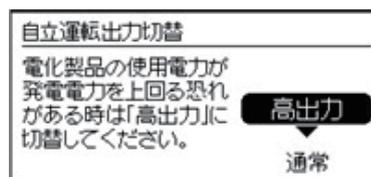
※ 通常モードに戻し忘れた場合は消費電力低下から約5分後に機器保護のため自動的に通常モードに戻ります。その場合は右画面が表示されます。

② ▲を押してください。



設定しました。

② ▼を押してください



設定しました。

高出力モードが解除されました。
通常出力モードに切り替わります。

停電時に電気とお湯を使う

(停電時発電継続仕様をお使いのお客さまへ)

⚠ 注意

停電時発電継続運転時は浴槽の排水栓を抜く

停電時発電継続運転中は運転を継続するために排湯機能により自動でお風呂にお湯を出すことがあります。浴槽の排水栓を抜かないと、思わぬ事故や、浴槽のお湯があふれるなどの原因となります。



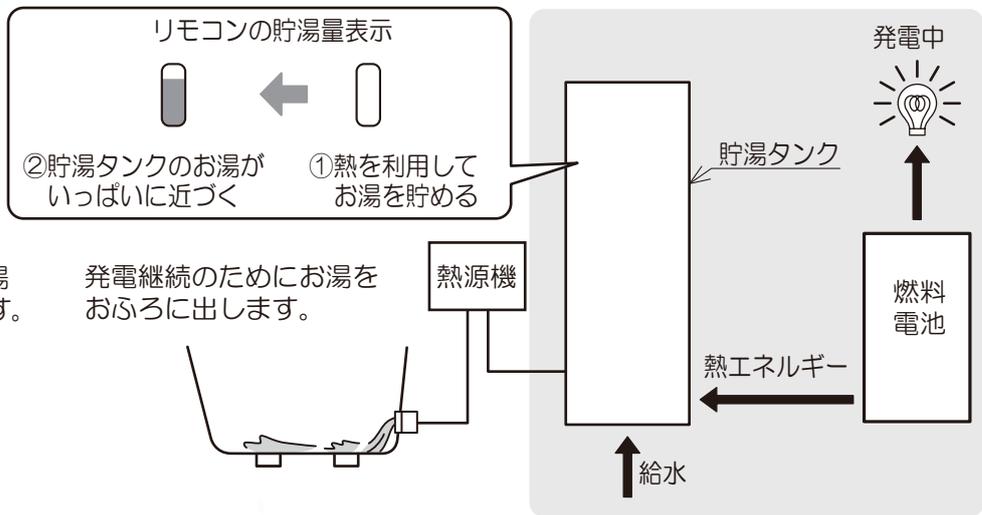
■ 排湯について

停電時発電継続運転中は運転を継続するために排湯機能*により自動でお風呂にお湯を出すことがあります。

* 排湯機能とは…貯湯タンクがお湯でいっぱいになると、リモコンの表示と音声でお知らせした後、自動でお風呂にお湯を出します。

貯湯量表示がいっぱいに近づく、リモコンから「発電継続のためにお湯をふろに出します」と表示と音でお知らせし、お風呂にお湯を約20リットル出します。

※ 状況により複数回お湯を出す場合があります。



12/20 23:59

自立 → 出力切替

優先

0.55kW ↔ 0.55kW

42°C

排湯アナウンス

リモコンから表示と音声でお知らせ

発電継続のためにお湯をふろに出します。 ← 排湯メッセージ

排湯機能に関するお知らせ事項

- お湯を使用するときはリモコンの給湯温度表示を確認し、手でお湯の温度を確認してから使用してください。
- 排湯を停止したい場合は、下記リモコン操作を行ってください。発電を続けるために繰り返し排湯を行うことがあります。
 - ①浴室リモコンの「たし湯」ボタンを押す。



リモコン(リッチタイ) 運転中(15分)

停電時に電気とお湯を使う

(停電時発電継続仕様をお使いのお客さまへ)

⚠ 警告

停電時専用コンセントには以下の機器を接続しない

停電時専用コンセントには停電時だけ電気が供給され、停電が復旧すると自動的に電気の供給が止まります。途中で電源が切れると生命、財産に損害を受けるおそれがある以下の機器には接続しないでください。

- ・ 全ての医療機器
- ・ 灯油を用いた暖房機器
- ・ 炊飯器、電子レンジなどの調理機器
- ・ バッテリーを搭載していないパソコンなどの情報機器および周辺機器
- ・ 冷蔵庫のような連続的に電力の供給が必要な機器
- ・ その他、電源が切れると生命、財産に損害を受けるおそれのある機器
- ・ 最大電力が700W以上になる機器

■ 主な電化製品の消費電力

- 数値は定格消費電力の一例です。実際の消費電力は、製品の種類や使用方法によって異なります。
- 電化製品の種類によっては、瞬間的に700Wを上回る電力負荷がかかるため、消費電力にかかわらず使用できないことがあります。(冷蔵庫、洗濯機、エアコンなどは使用できません。)

製品名	消費電力の目安 (W)	製品名	消費電力の目安 (W)
携帯の充電器	15	卓上LED照明	20
ラジカセ	20	ガスファンヒータ	30
扇風機	40	ノートPC	75
液晶テレビ32型	150		
熱源機の暖房運転	180	熱源機の凍結防止運転	250
電気炊飯器	1100	ヘアードライヤ	1200

⇒ご使用できません

⚠ 注意

ガスファンヒータの使用について

- ・ ガスファンヒータのご使用中は、部屋の換気にご注意ください。
必ず1時間に1~2回(各1~2分)、窓を開けるなどして換気を行ってください。
- ・ 停電時専用コンセントで使用できる電力が少なく、ガスファンヒータを使用すると過負荷が発生するおそれがある場合は使用しないでください。
- ・ ガスファンヒータ運転中に停電が発生すると、ガスファンヒータの冷却が正常に行われず、温風の吹き出し口や機器背面(エアフィルタ部や取っ手部分)が高温になり、手で触れるとやけどのおそれがあります。
- ・ 停電時専用コンセントでガスファンヒータを使用しているときに異常を感じた場合は、ただちにガス栓を閉じてガスファンヒータの使用を中止し、東邦ガスに連絡してください。



確認



禁止



確認



確認

停電時に電気とお湯を使う

(停電時発電継続仕様をお使いのお客さまへ)

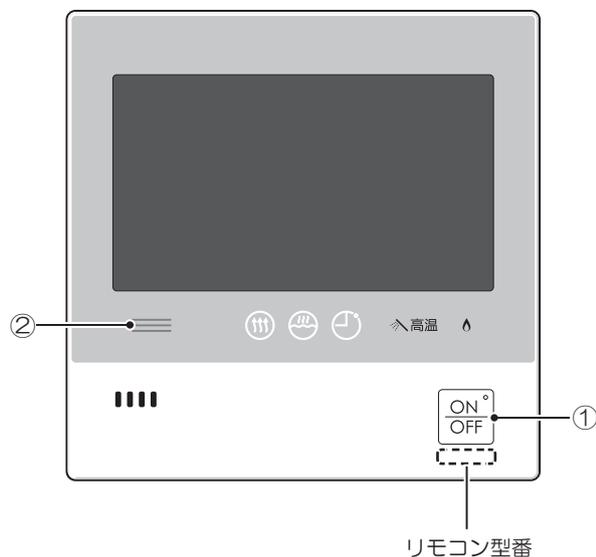
お知らせ

- 停電時に使用可能な電力は
熱源機の消費電力(数十W*1)と合わせて最大で約700Wです。消費電力の合計が発電量を超えないように注意してください。
*1 凍結予防など運転状態によって消費電力が変わりますので、リモコンの発電量と消費電力を確認しながらお使いください。
- 電化製品の電源を入れたとき
電化製品の種類によっては、一時的に使用できない場合があります。使用負荷によって過負荷を検知し、停電時専用コンセントからの電気の供給が停止することがあります。
これらの場合は最後につないだ電化製品のコードを抜いた状態で電気の供給停止後、約90秒(発電ユニットの状態によっては10分程度必要になる場合があります)ほど待ち、リモコン「入/切」スイッチを「切」から「入」後、使用できるようになります。(49ページ参照)
- 停電時発電継続運転開始直後は
発電ユニットの状態によって、消費電力が700W以下の電化製品を使用した場合でも、一時的に使用できない場合がありますので、リモコン表示部の電力量を確認してから電化製品のコードをさしてください。
- 停電時発電継続運転中に発電を停止させたい場合は、
リモコン操作により[発電禁止]で停止させてください。ただし、停電が復旧するまで再使用(発電)できません。
操作方法は、37ページ「発電ユニットの停止方法」をご参照ください。
- 停電時発電継続運転中は、
発電ユニットの蓄熱量が多いと、排気口から多くの湯気が出たり、運転音が大きくなる場合がありますが、故障ではありません。
- 断水*2時は、使用できる電気量を抑制したり、出力が不安定になることがあります。
 - ・ 停電時専用コンセントで使用する負荷が小さい場合
 - ・ 貯湯タンクのお湯がいっぱい、またはいっぱいに近い場合*2 断水 ご家庭への給水が停止している状態
- 以下の場合には停電時発電継続運転を停止する場合があります。
 - ・ 外気温が高く発電ユニットのタンク内水温が高い場合には、停電時発電継続運転を停止する場合があります。※ 停止させないために貯湯タンクのお湯を利用ください。
- 停電時発電継続運転中は、自動でお風呂にお湯を出すことがあります。

リモコンの操作説明

ここでは発電ユニットを運転・停止するためのリモコン操作について説明いたします。
リモコンのその他の詳細機能については、リモコンの取扱説明書（リモコン操作編）を参照してください。

1. 各部のなまえとはたらき（台所リモコン）



- ①「ON/OFF」スイッチ・ランプ
- ・画面を表示させたり消したりするときに使用します。
 - ・画面を表示するとランプ点灯します。
 - ・不在停止中はランプ点滅します。

- ②発電ランプ
- ・発電ユニットで発電中に点灯します。
 - ・現在の使用電力の状態を、色で表します。

使用電力が多い

1.2kW	オレンジ色 (節電お知らせ)	購入電力が増えています 節電してください。
0.7kW	青色	購入電力が少し増えて います。
少ない	緑色	購入電力を少なくできて います。

- ・逆潮流の場合は、買電中か売電中かを表示します。

オレンジ色 (節電お知らせ)	使用電力が発電電力より多いので 買電しています。
青色	使用電力が発電電力より少ないので 売電しています。

2. 表示画面（タッチパネル）の操作の基本

- このリモコンの表示画面は、指でタッチするとスイッチ操作ができます。
- 圧力を感知するタイプのタッチパネルです。ある程度の力で確実にタッチしてください。
- 「ON/OFF」スイッチを押したり画面をタッチしたりしないまま約10分（初期設定時間）たつと、表示が消えます。

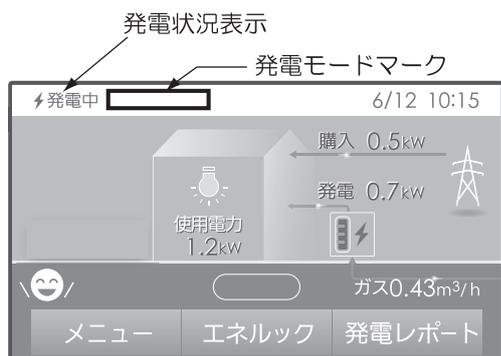
表示がグレーになっている部分は、タッチしてもスイッチ操作できません。



※ 説明中のリモコン表示画面は一例です。

実際の表示画面は、設置状態や使用状況によって異なります。

リモコンの操作説明



3. 発電状況表示の見かた

そのときの発電状態や、発電の設定を表示します。

⚡ 発電中	
⚡ (点灯)	発電しています。
⚡ (点滅)	起動中(発電準備中)です。
⚡ ↔ ⚡ (交互表示)	発電停止の動作中です。
(表示なし)	発電ユニットは停止しています。

表示	状態	
発電中	発電しています。	
起動中	起動中(発電準備中)です。	
停止中	発電停止の動作中です。	
(表示なし)	発電ユニットは停止しています。	
発電禁止	発電を強制的に禁止しています。	
発電×	発電ユニットが使用できない場合に表示します。	
逆潮流の場合	電圧抑制 ^{※1}	発電ユニットの出力を一時的に抑えています。
	売電中	発電した電力を売電しています。
停電時様子の発電継続	⚡ 自立 ↔ 自立 (交互表示)	停電時発電継続運転しています。
	⚡ 自立・高 ↔ 自立・高 (交互表示)	高出力モード (71ページ)で停電時発電継続運転しています。

※1 自宅につながれている送電線の系統の電圧が高くなりすぎたとき、発電ユニット側の電圧が上限を超えないよう、発電ユニットの出力を抑えます。電圧が正常範囲に戻ると、この機能は自動的に解除されます。

運転について
発電リモコン

4. 発電モードマークの見かた

🔄	タンクリフレッシュ 運転マーク	長時間お湯の使用がなかったときなどに、貯湯タンク内の水質を維持するための運転をしています。	
M	ガスマイコン メーター 確認マーク (Mマーク)	M 発電中	1日に数回約6分間、発電能力を制限しています。
		M 自立	1日に数回約6分間、発電能力を制限しています。
	Mのみ	<ul style="list-style-type: none"> ● お客さま宅のガスマイコンメーターの誤警報防止のため、発電ユニットは26日間連続して発電すると、27日目に約24時間停止します。この機能により停止している間は、この表示がでます。 ● この表示が出たら、全てのガス機器（暖房も含む）を最低70分以上使用しないでください。70分あけずにガス機器を使用すると、ガスマイコンメーターがガス漏れと誤警報（ガスマイコンメーター本体のランプ点滅）します。 	
凍結予防	凍結予防マーク	機器は凍結予防のために自動的に凍結予防運転をします。その動作中に表示されます。	

基本操作の説明

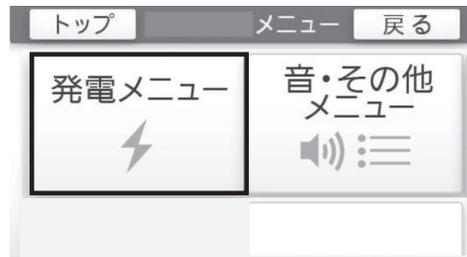
1. 発電ユニットの起動方法

■ 1-1. 発電禁止からの再開（57ページ「■ 2-1」（発電禁止）で停止させた場合）

① トップ画面より[メニュー]を選択してください。



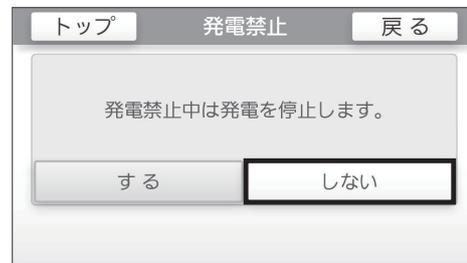
② メニュー画面より[発電メニュー]を選択してください。



③ 発電メニュー画面より[発電禁止]を選択してください。



④ 発電禁止画面より[しない]ボタンを押してください。



発電ユニットが起動をはじめます。

■ 1-2. 不在停止からの再開（58ページ「■ 2-2」（不在停止）で停止させた場合）

下記方法で再開します。

<不在停止設定後5時間以上経過している場合>

- ・リモコンの「ON/OFF」スイッチの「ON」操作をする。
- ・リモコンの液晶画面をタッチする。
- ・リモコンOFFの状態です給湯栓から出水する。

<不在停止設定後5時間未満の場合>

- ・メニュー画面から再開操作をする。

① トップ画面より[メニュー]を選択してください。



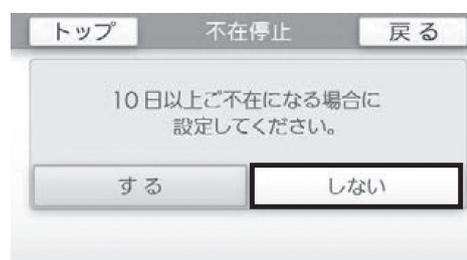
② メニュー画面より[発電メニュー]を選択してください。



③ 発電メニュー画面より[不在停止]を選択してください。



④ 不在停止画面より[しない]ボタンを押してください。



発電ユニットが起動をはじめます。

基本操作の説明

2. 発電ユニットの停止方法

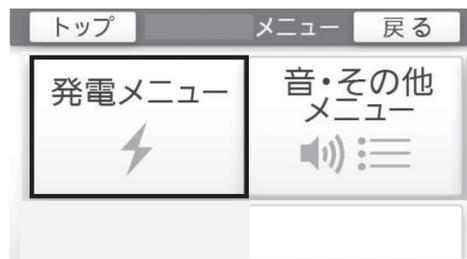
※ お客さま操作により、頻繁に起動・停止(不在停止等)を繰り返すと故障の原因になるおそれがあり、保証の対象外になる場合があります。機器の耐久性維持のため、不在停止機能のご使用は10回/年までを目安とし、10日以上不在にされる場合にご使用ください。

■ 2-1 機器の水抜きをするときなど、強制的に発電を停止させたいときの停止方法(発電禁止)

① トップ画面より[メニュー]を選択してください。



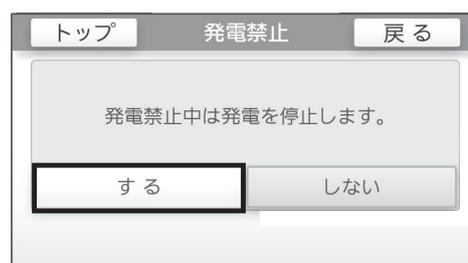
② メニュー画面より[発電メニュー]を選択してください。



③ 発電メニュー画面より[発電禁止]を選択してください。



④ [する]ボタンを押してください。



※ 約10~12時間後に発電停止表示は消灯し、リモコントップ画面の左上に[発電禁止]と表示されます。

基本操作の説明

■ 2-2 10日以上家をあけるなど、全ての運転（発電・給湯・暖房など）をしばらく停止したいときの停止方法（不在停止）

※ 1か月以上の長期不在時には、この方法に加えて水抜きが必要です。62ページを参考に水抜き操作を行ってください。

※ 10日以上リモコンの操作・お湯（水）を使用しない場合、自動的に不在停止が「する」になります。

※ お湯・暖房などの停止方法は、それぞれの取扱説明書を参照ください。

① トップ画面より[メニュー]を選択してください。



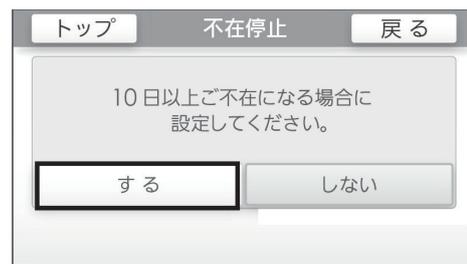
② メニュー画面より[発電メニュー]を選択してください。



③ 発電メニュー画面より[不在停止]を選択してください。



④ [する]ボタンを押してください。



⑤ 液晶画面が消え、「ON/OFF」スイッチのランプが消灯します。

※ 不在停止設定を[する]にした後は、以下の操作を行わないでください。

不在停止が解除されます。

<不在停止設定後5時間以上経過している場合>

- ・リモコンの「ON/OFF」スイッチの「ON」操作をする。
- ・リモコンの液晶画面をタッチする。
- ・リモコンOFFの状態でも給湯栓から出水する。

<不在停止設定後5時間未満の場合>

- ・メニュー画面から再開操作をする。

基本操作の説明

3. 発電ユニットの貯湯タンクの洗浄のための水抜き方法

※ 貯湯タンク洗浄には水抜きが必要となります。

※ 1か月以上使用しない場合の水抜き方法は、62ページ参照を参照してください。

※ この操作開始後水張り（65ページ参照）完了までは、発電を開始することはできません。
また熱源機もご使用になれません。

⚠ 注意

水抜き時タンク排水配管には触れない

場合によってはお湯が排出されることがあり、やけどの原因になることがあります。



水抜き時はエア抜き栓の正面に身体を置かない

場合によってはお湯が飛び出すことがあり、やけどの原因になることがあります。



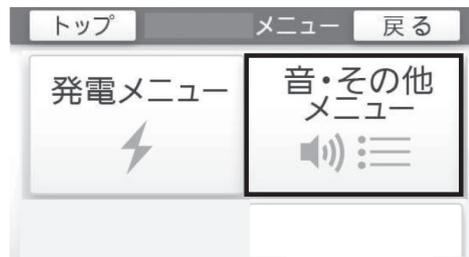
※ やけど予防のため、リモコン操作によるタンク内水温の冷却（手順①～⑦）を行ってから、バルブ操作による水抜き（手順⑧～⑨）を行ってください。

① リモコンの「ON/OFF」スイッチを「OFF」にし、（「ON/OFF」スイッチ部のLEDランプを消す。）液晶画面部をタッチする。

② トップ画面より[メニュー]を選択してください。



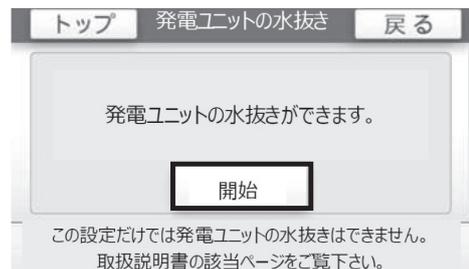
③ メニュー画面より[音・その他メニュー]を選択してください。



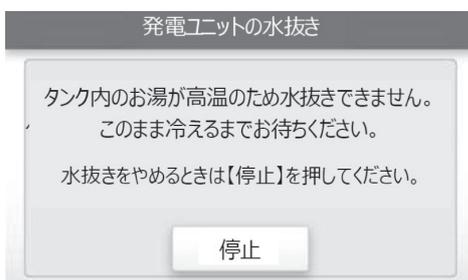
④ 音・その他メニュー画面より[発電ユニットの水抜き]を選択してください。



⑤ [開始]ボタンを押してください。



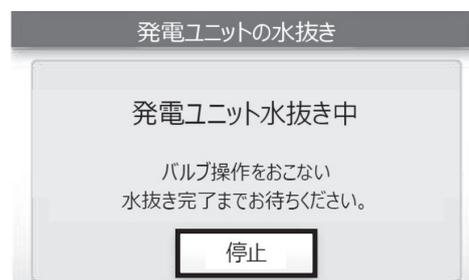
※ タンク内水温が下がると⑥に移行します。
[停止]ボタンを押すと⑤に移行します。



※ タンク内温度が低い場合でも約10分間は冷却します。

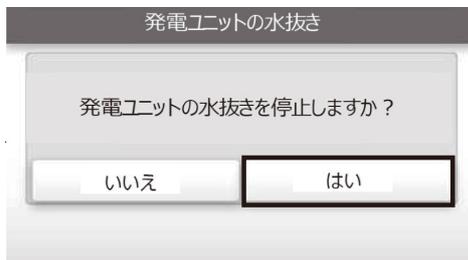
タンク内部温度冷却後

⑥ タンク内水温が水抜き可能温度です。[停止]ボタンを押してリモコンによる水抜きを停止してください。

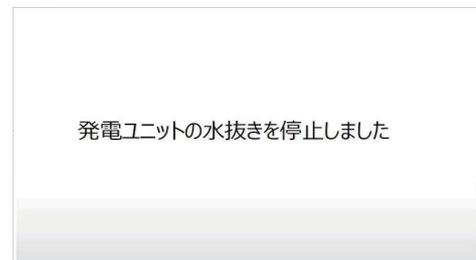


基本操作の説明

⑦ [はい] ボタンを押してください。

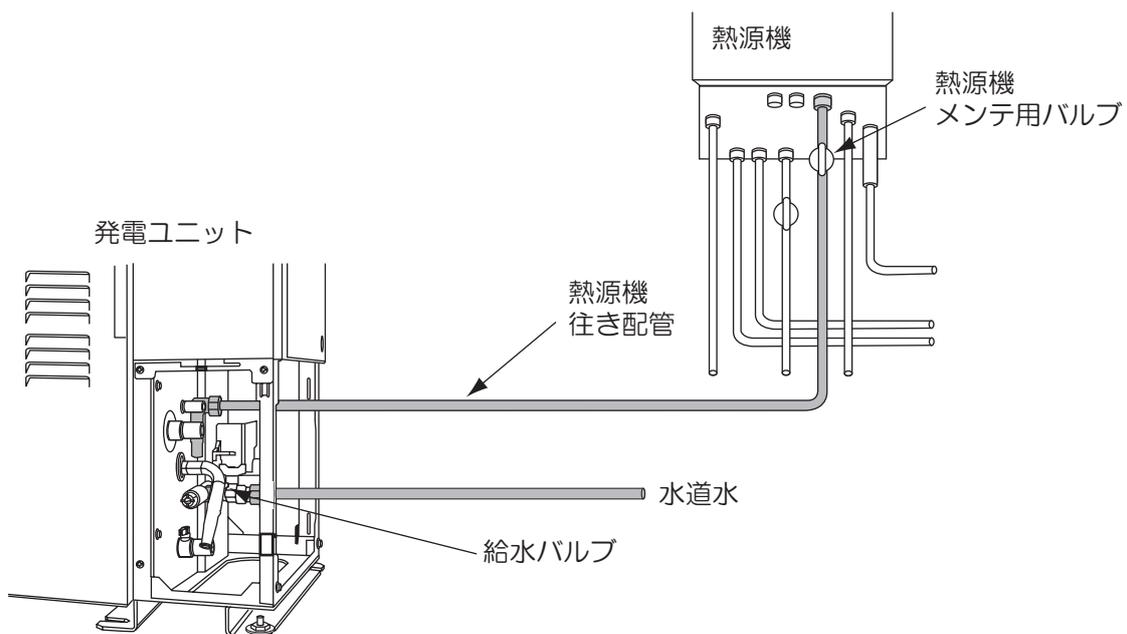


⑧ 下記画面を表示後自動的にトップ画面に切り替わります。



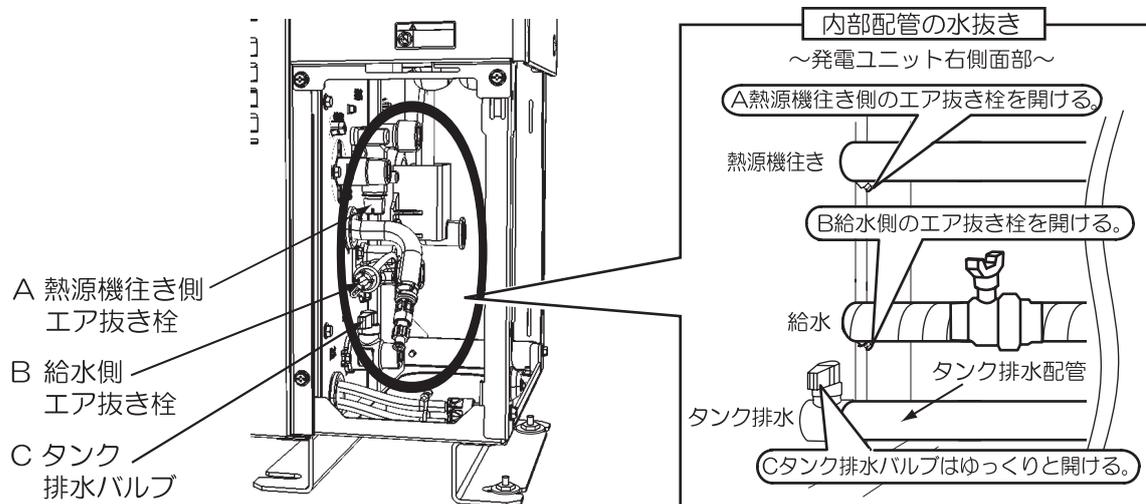
⑨ トップ画面移行後次の操作をしてください。

- ・ 11ページの「フロントR小パネルの取り外し方法」を参照し、発電ユニットのフロントR小パネルを外します。
- ・ 給水バルブを閉じます。
※ 給水バルブを閉じずに以降の操作をすると、ユニット内部機器の寿命が著しく短くなりますのでご注意ください。
- ・ 熱源機メンテ用バルブを閉じます。



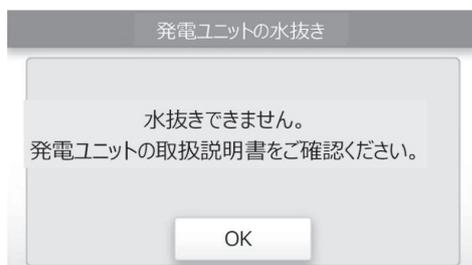
基本操作の説明

- ・ Cタンク排水バルブをゆっくりと開けます。
- ・ A熱源機行き側のエア抜き栓を反時計回りに3回転させます。
- ・ B 給水側のエア抜き栓を反時計回りに3回転させます。



- ⑩タンク排水配管より湯（水）が出なくなったら、B給水側、A熱源機行き側のエア抜き栓を閉め、Cタンク排水バルブを閉じます。
- ⑪11ページの「フロントR小パネルの取り付け方法」を参照し、発電ユニットのフロントR小パネルを取り付けてください。

※ 水抜き手順で下記画面が表示される場合



水抜きは、発電ユニットが停止状態のみ受け付けます。発電ユニットが完全に停止後、再度操作してください。

基本操作の説明

4. 長期間使用しない場合の発電ユニットの水抜き方法

- 旅行等のため、10日以上使用しないときは、リモコンで「不在停止」にし、発電ユニットを停止させてください。（手順は58ページを参照ください。）
- 1か月以上不在にされる場合もしくは1か月未満でも電源が確保できないことに加えて凍結のおそれがある場合（気温が氷点下になる可能性がある場合）は、下記の発電ユニット水抜き方法に従い水抜きを実施してください。水抜きをしないと故障の原因となります。（お手数ですがお客さまで実施ください。）また、熱源機の水抜きも必ず実施してください。手順は熱源機の取扱説明書をご参照ください。
- 使用開始時には専門のサービスマンがお伺いしますので、東邦ガスにご連絡ください。
- 引越しをされる場合は、その2～3日前までに前もって東邦ガスにご連絡ください。
- 水抜きを実施する場合は、前日までに発電禁止による停止操作を行ってください。

⚠ 注意

水抜き時タンク排水配管には触れない

場合によってはお湯が排出されることがあり、やけどの原因になることがあります。



水抜き時はエア抜き栓の正面に身体を置かない

場合によってはお湯が飛び出すことがあり、やけどの原因になることがあります。

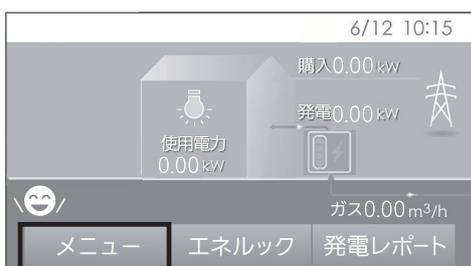


※ やけど予防のため、リモコン操作によるタンク内水温の冷却（手順①～⑦）を行ってから、バルブ操作による水抜き（手順⑧～⑨）を行ってください。

■ 発電ユニット水抜き手順

① リモコンの「ON/OFF」スイッチを「OFF」にし、（「ON/OFF」スイッチ部のLEDランプを消す。）液晶画面部をタッチする。

② トップ画面より[メニュー]を選択してください。



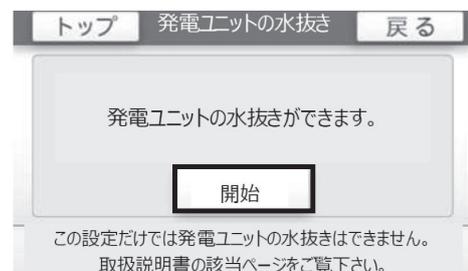
③ メニュー画面より[音・その他メニュー]を選択してください。



④ 音・その他メニュー画面より[発電ユニットの水抜き]を選択してください。



⑤ [開始]ボタンを押してください。

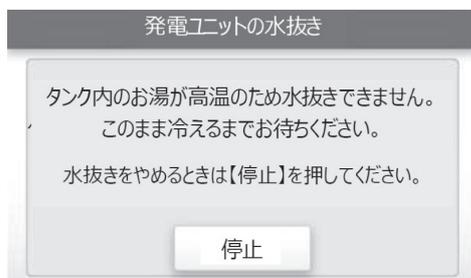


タンク内
高温時

※ タンク内温度が低い場合でも約10分間は冷却します。

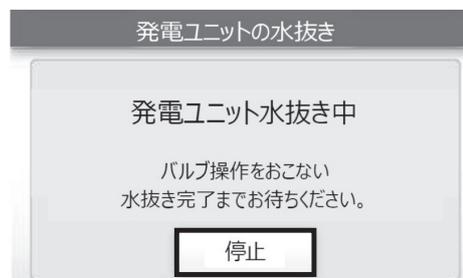
基本操作の説明

※ タンク内水温が下がると⑥に移行します。
[停止]を押すと⑥に移行します。



タンク内部
温度冷却後

⑥ タンク内水温が下がりましたので、11ページの「フロントR小パネルの取り外し方法」を参照し、発電ユニットのフロントR小パネルを外した後、⑦のバルブ操作をしてください。(11ページ参照)



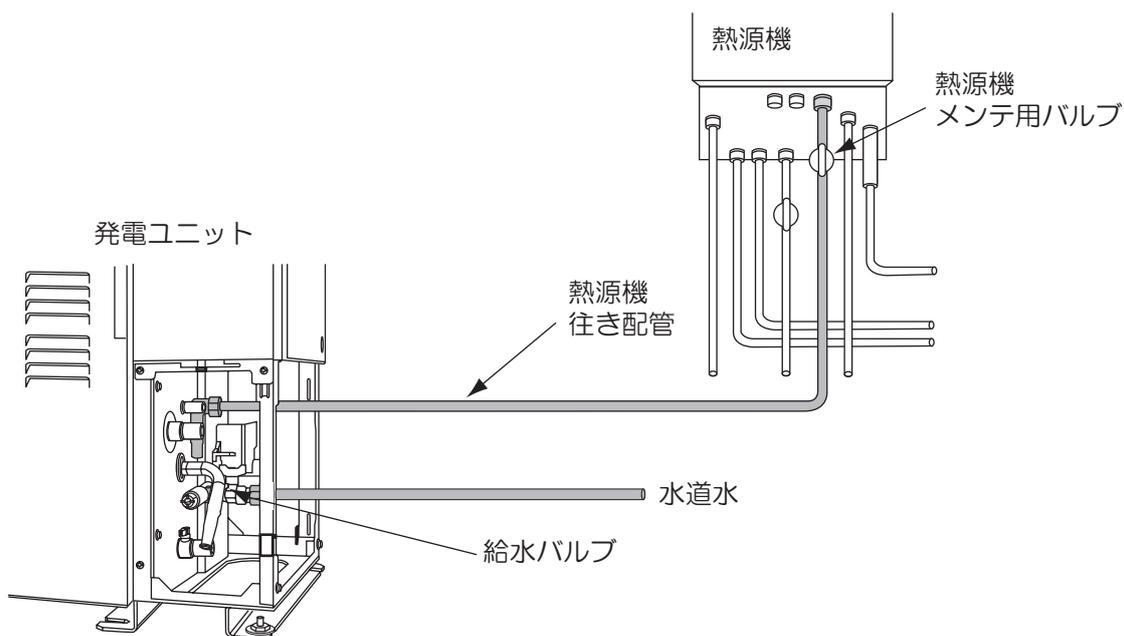
水抜きが完了すると、メイン画面に自動的に移行します。

※ 30分経過しても水抜きが終了しない場合は、[停止]ボタンを押して水抜きを停止し、A~F(64ページ参照)のバルブまたはプラグが開いていることを確認後、再度①より実施してください。

水抜きを停止したい場合は[停止]ボタンを押すと、次ページ※1に移行します。

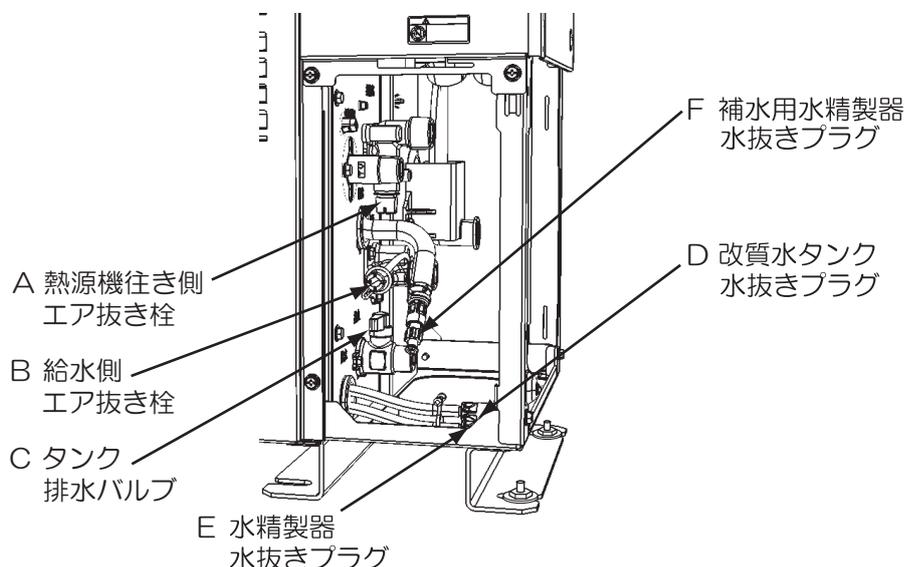
⑦ 下記バルブの操作をしてください。

- ・ 給水バルブを閉じます。
- ※ 給水バルブを閉じずに以降の操作をすると、ユニット内部機器の寿命が著しく短くなりますのでご注意ください。
- ・ 熱源機メンテ用バルブを閉じます。



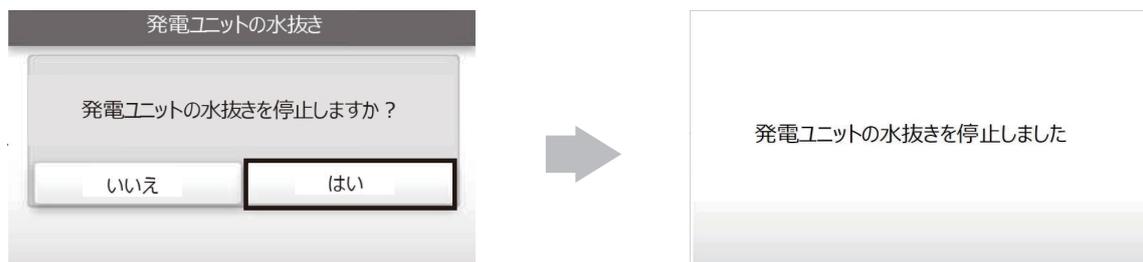
基本操作の説明

- ・ Cタンク排水バルブをゆっくりと開けます。
- ・ A熱源機行き側のエア抜き栓を反時計回りに3回転させます。
- ・ B 給水側のエア抜き栓を反時計回りに3回転させます。



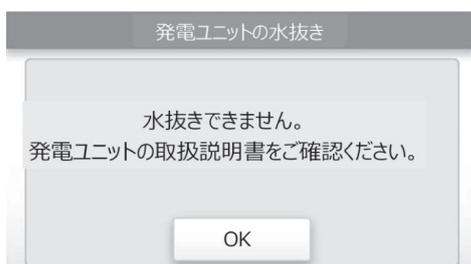
- ⑧D改質水タンク水抜きプラグとE水精製器水抜きプラグ、F補水用水精製器水抜きプラグ計3か所を反時計回りに1回転させ、改質水を抜きます。
(全て排水されるまで、約10分かかります。)
- ⑨リモコンの画面がメイン画面に移行し、タンク排水配管およびD、E、Fの水抜きプラグから水が出なくなったことを確認し、D、E、Fの水抜きプラグを時計回りに回して締めてください。
※ 30分経過してもトップ画面に移行しない場合は、水抜きを中止し、各バルブ確認後、再度手順①より実施してください。
- ⑩B給水側、A熱源機行き側のエア抜き栓を閉め、Cタンク排水バルブを閉じます。
- ⑪発電ユニットと熱源機のガス栓を閉じ、屋内分電盤の専用ブレーカを「OFF」にします。
- ⑫11ページの「フロントR小パネルの取り付け方法」を参照し、発電ユニットのフロントR小パネルを取り付けてください。

※1 水抜き途中停止方法



[いいえ]を押すと前の画面に戻ります。

※ 水抜き手順で下記画面が表示される場合



水抜きは、発電ユニットが停止状態のみ受け付けます。発電ユニットが完全に停止後、再度操作してください。

- 使用開始時には専門のサービスマンがお伺いしますので、東邦ガスにご連絡ください。

基本操作の説明

5. 発電ユニットの水張り方法

次の場合に実施してください。

- 断水時に湯（水）を使用された場合
- エラー表示部に[81F01]、[82F01]が表示された場合
- 貯湯タンクを洗浄する場合

①リモコンの「ON/OFF」スイッチを「OFF」にし、（「ON/OFF」スイッチ部のLEDランプが消える）液晶画面部にタッチしてください。

②トップ画面より[メニュー]を選択してください。

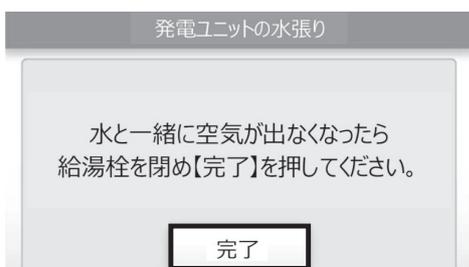


④音・その他メニュー画面より[発電ユニットの水張り]を選択してください。



⑥11ページの「フロントR小パネルの取り外し方法」を参照し、発電ユニットのフロントR小パネルを外した後、発電ユニットの給水バルブ・熱源機メンテ用バルブを開けてください。（60ページ参照）

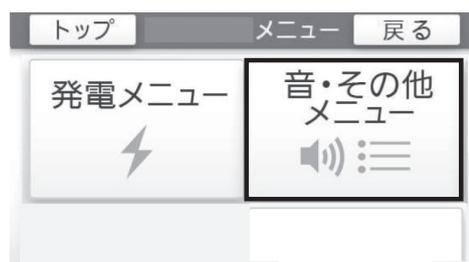
⑧給湯栓から空気が出なくなったら給湯栓を閉めてから、[完了]ボタンを押してください。



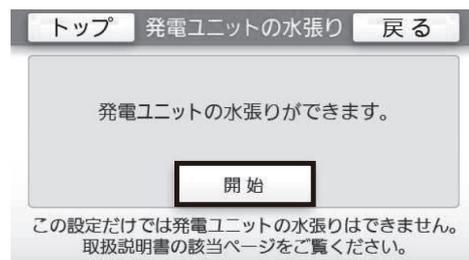
給湯栓 屋内の給湯蛇口です。

⑨11ページの「フロントR小パネルの取り付け方法」を参照し、発電ユニットのフロントR小パネルを取り付けてください。

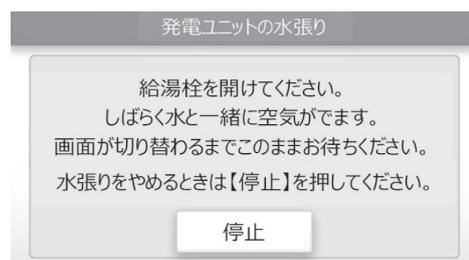
③メニュー画面より[音・その他メニュー]を選択してください。



⑤[開始]ボタンを押してください。

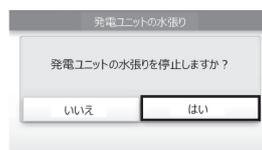


⑦屋内の給湯栓を開けてください。



停止する場合

- ①屋内の給湯栓を閉めてから、上記画面の[停止]ボタンを押してください。
- ②[はい]ボタンを押してください。
[いいえ]ボタンを押すと前の画面に戻ります。

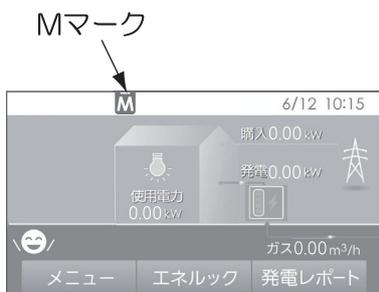


発電ユニットの水張りを停止しました

運転・停止について

1. 以下の場合、発電ユニットは停止します。

- ガスマイコンメーターの安全機能確認のため、26日間連続して発電すると、27日目に約24時発電ユニットは停止します。（Mマークが表示されているとき）
停止後は全てのガス機器（暖房も含む）を最低70分以上使用しないでください。
（停止後は自動で運転を再開しますので、操作は必要ありません。）



- リモコン操作または、給湯栓からお湯（水）を10日以上使用しなかったとき自動的に不在停止となります。
- 機器保護運転をしているとき
夏期に外気温度が高いときに、電気使用・お湯使用が少ないと機器保護のため停止することがあります。この場合、リモコンにエラーコード[03F00]、[03F03]、[03F05]、[03F07]、[08F00]、[08F03]を表示することもあります。故障ではありません。（停止後は自動で運転を再開しますので、操作は必要ありません。）
- 故障診断をしているとき
故障診断をしているとき、一定時間停止したままの場合があります。

2. 以下の場合、発電ユニットは発電出力を下げます。

- 機器保護運転をしているとき
夏期に外気温度が高いときに、電気使用・お湯使用が少ないと機器保護のため発電出力を自動的に下げる場合があります。
- ご使用による経年劣化により、ある程度の発電出力が低下します。
- 低出力から急に高出力に切り替わった場合は機器保護のために発電出力を自動的に下げる場合があります。
- ガスマイコンメーターの保安機能を正常に作動させるため、1日に2～3回約6分間発電出力を下げます。
- 発電ユニットの内部センサ補正動作のため、稀に発電出力を数分間0Wに下げる場合があります。

運転・停止について

3. 停電のときは

- 発電中に停電した場合（停電時発電継続仕様のお客さまの場合）
停電時発電継続機能により発電を継続します。
発電した電気は停電時専用コンセントより出力します。（停電してから約90秒後に出力開始します。）
（68～73ページ参照）
- 発電中に停電した場合（標準仕様のお客さまの場合）
停電中は、アイドル状態になり、復旧待機しています。（最長5時間）ガス、水は閉めないでください。
※ 復旧後約5分で発電が開始します。また、お客さまの発電ユニットの運転状態によっては停電中に停止する場合があります。
※ アイドル状態とは、運転をしていますが発電電力を出力していない（OW）状態のことです。
- 停電が復旧した場合（停電時発電継続仕様のお客さまの場合）
停電時発電継続運転を終了し、通常運転に約5分後自動的に切り替わります。
※ 停電時専用コンセントは停電しているときにだけお使いください。なお、停電が復旧するとすぐに電気の供給は止まりますので、ご注意ください。
- 待機中・起動中・停止中に停電した場合
停電中は起動しません。

4. 工事などで停電、断水、ガス停止が事前に分かっているときの対応

- 停電が事前に分かっているとき（停電時発電継続仕様のお客さまの場合）について
 - <事前準備>
事前準備は特にありません。
ただし、停電予定期間中に発電をさせたい場合は、69ページの事前準備を行ってください。
 - <停電復旧後>
必要な操作は特にありません。
- 停電が事前に分かっているとき（標準仕様のお客さまの場合）について
 - <事前準備>
停電する半日以上前に「発電禁止」操作（57ページ参照）により、発電ユニットを停止してください。
 - <停電復旧後>
「発電禁止からの再開」操作（56ページ参照）を行ってください。
- 断水が事前に分かっているときについて
 - <事前準備>
事前準備は特にありません。
※ 断水中は、発電が停止する場合があるため、お湯、水の使用を控えてください。
 - <水道復旧後>
給水栓（レバー式の場合はレバーを水側に切り替えて）を開け、汚れた水を十分に流してから使用してください。
- ガス停止が事前に分かっているときについて
 - <事前準備>
ガスが停止する半日以上前に「発電禁止」操作（57ページ参照）により、発電ユニットを停止してください。
 - <ガス復旧後>
「発電禁止からの再開」操作（56ページ参照）を行ってください。

5. 緊急時などガス栓を閉にした場合、屋内分電盤の専用ブレーカをOFFした場合

再使用の前に、12ページの「ご使用前の確認」を行ってください。

停電時に電気とお湯を使う

(停電時発電継続仕様をお使いのお客さまへ)

お願い

停電時専用コンセントが設けられていることを確認する

停電時にエネファームで発電した電気を使用するには、停電時専用コンセントが必要です。

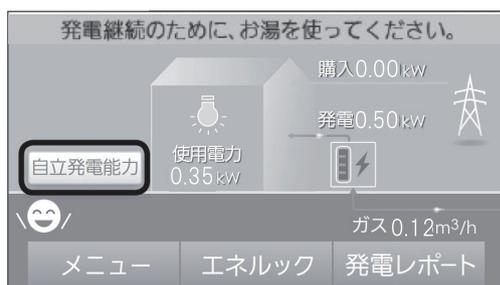
「エネファーム type S 停電時自立発電専用」と表示のあるコンセントが、停電時専用コンセントです。

断水時は給水・給湯栓を使用しない

停電時発電継続運転時に断水状態*のまま水やお湯を使用し、貯湯タンク内のお湯(水)の残量が少なくなると、発電ユニットが異常停止します。

*断水状態：停電などの理由により、ご家庭への給水が停止している状態

- 発電ユニットが発電中に停電した場合は、停電時発電継続機能により発電を継続しますので、発電した電気をご使用いただけます。
- 発電ユニットが発電を停止しているときに停電した場合は、発電することができません。また、ガスの供給が停止している場合にも発電できません。以下の場合、発電ユニットは停止しています。
 - ・ガスマイコンメーターの安全機能確認のため停止しているとき(発電停止時にMマークが表示されているとき)ガスマイコンメーターの安全機能確認のため、26日間連続して発電すると、27日目に約24時間発電ユニットは停止します。停止後は全てのガス機器(暖房を含む)を最低70分以上使用しないでください。(停止後は自動で運転を再開しますので、操作は必要ありません。)
 - ・給湯栓からお湯(水)が10日以上使用しなかったとき自動的に不在停止となります。
 - ・機器保護運転をしているとき夏期に外気温が高いときに、電気使用・お湯使用が少ないと機器保護のため停止することがあります。この場合、リモコンにエラーコード[03F00]、[03F03]、[03F05]、[03F07]、[08F00]、[08F03]を表示することもあります。故障ではありません。(停止後は自動で運転を再開しますので、操作は必要ありません。)
 - ・故障診断しているとき故障診断をしているとき、自動的に停止し一定時間停止したままの場合があります。
- 停電時発電継続機能で使用できる電気の量は最大約700Wです。
- 停電時発電継続運転時は自動的に停電時専用コンセントに電気が供給されます。停電時専用コンセントには「エネファーム type S 停電時自立発電専用」と表示されています。事前に設置場所を確認してください。
 - ※ 停電時専用コンセントは停電しているときにだけお使いください。なお、停電が復旧するとすぐに停電時専用コンセントからの電気の供給は止まりますので、ご注意ください。
- 停電した場合、熱源機の電源は入りませんが、給湯栓を開ければ、約20~30℃の温水が出る場合があります。
- リモコンに[発電継続のために、お湯を使ってください。]のメッセージが表示された場合は、自立運転を継続させるために、貯湯タンクがお湯で満タンにならないよう給湯栓を開けてお湯を使用してください。



停電時に電気とお湯を使う

(停電時発電継続仕様をお使いのお客さまへ)

1. 停電前に

- あらかじめ計画停電など停電が予定されている場合は、以下の操作を行うことで停電時に発電させることができます。
 - 計画停電時にガスマイコンメーターの安全機能確認による発電停止を避けるため、停電予定日の2～3日前に、あらかじめ発電ユニットを連続24時間以上停止させてください。
 - ① リモコンで安全機能確認のための停止までの日数をご確認ください。
 - ② 停電予定期間中に次回停止がある場合：リモコン操作にて、あらかじめ発電ユニットを連続24時間以上停止させてください。(発電状況表示部の⚡が交互表示され、約10～12時間後⚡が消灯してから、連続24時間以上停止させてください。発電状況表示については55ページを参照してください。)遅くとも計画停電の4時間前までには発電再開操作を実施ください。
停電期間中に次回停止がない場合：特に操作は必要ありません。
- ※ ①および②は、リモコンの取扱説明書をご参照ください。
- 停電時発電継続運転ができない場合でも、発電ユニットの貯湯タンク内のお湯(水)を、雑用水として利用することができます。

停電時に電気とお湯を使う

(停電時発電継続仕様をお使いのお客さまへ)

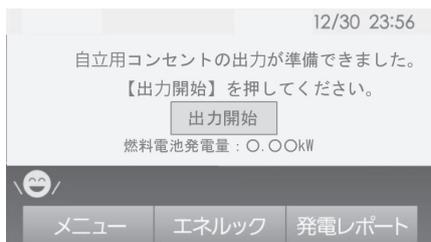
2. 停電時の対応

※ 災害時など、ガス漏れの危険性がある場合は使用を中止してください。事故の原因となることがあります。

■ 2-1 リモコン表示が下記画面になっていることを確認する

● 停電してから約90秒後*に、下記リモコン画面が表示します。

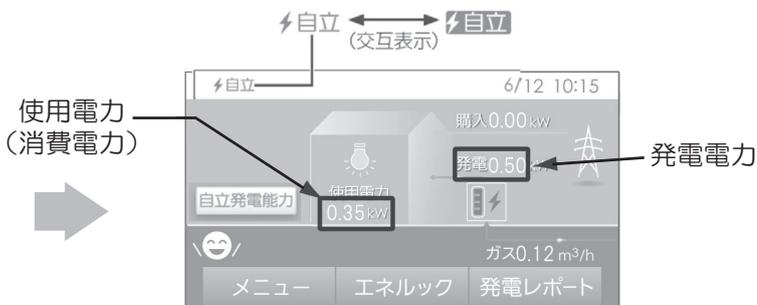
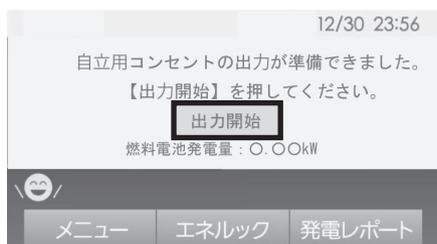
* お客さまの電気使用状況や、機器の経年劣化により出力開始までの時間は変化します。(最大約10分間)



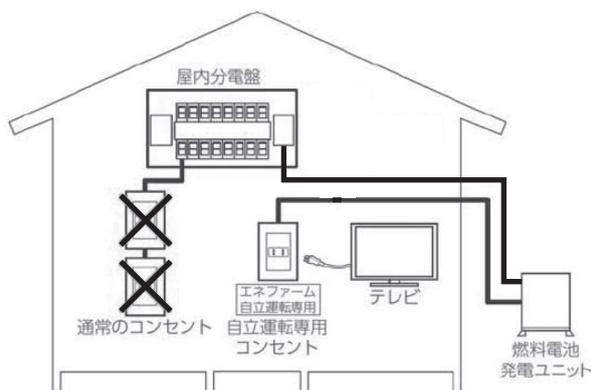
表示されるメッセージに従い対応してください。

■ 2-2 下記操作を実施し[自立]が交互表示していることを確認する

[出力開始]ボタンを押す。

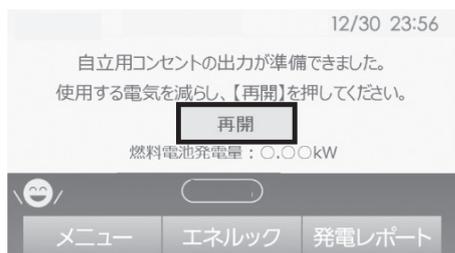


■ 2-3 電化製品の電源プラグを停電時専用コンセントに差し込む



- 停電時は停電時専用コンセントしか使うことができません。
- リモコン表示で発電電力表示と使用電力（消費電力）表示を確認しながら停電時専用コンセントに使用したい電化製品を一つずつ接続してください。
- 使用電力（消費電力）表示が発電電力表示を超えないよう、こまめに確認してください。
- 消費電力が発電電力を上回る場合（過負荷）は、停電時専用コンセントからの電気の供給が停止します。接続していた電化製品をコンセントから取り外し、リモコン画面のメッセージに従って操作をしてください。

■ 2-4 過負荷復帰操
[再開]ボタンを押す。



停電時に電気とお湯を使う

(停電時発電継続仕様をお使いのお客さまへ)

3. 高出力発電の対応

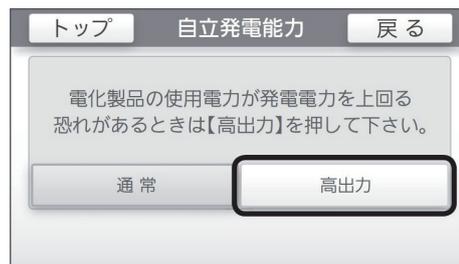
● 停電時発電継続運転中、電力消費が少ない状態がしばらく続くと自立出力を下げる場合があります。消費電力の大きい(ただし合計しても700Wをこえない)電化製品を使用されるときは以下の手順で高出力モードに切り替えてください。

※ 低出力から急に高出力に切り替わった場合は機器内部温度が限度より高くないように発電出力を自動的に下げる場合があります。

① トップ画面で発電量を確認し、発電出力が低い場合は[自立発電能力]ボタンを押す。
([自立発電能力]ボタンは、高出力発電が可能なお客さまのみ表示されます。)



② [高出力]ボタンを押す。



③ 左上部の文字が、[自立・高]に変わります。



● 高出力設定を通常に戻す場合
②の画面で[通常]ボタンを押します。



※ 通常モードに戻し忘れた場合は消費電力低下から約5分後に機器保護のため自動的に通常モードに戻ります。

停電時に電気とお湯を使う

(停電時発電継続仕様をお使いのお客さまへ)

⚠ 警告

停電時専用コンセントには以下の機器を接続しない

停電時専用コンセントには停電時だけ電気が供給され、停電が復旧すると自動的に電気の供給が止まります。途中で電源が切れると生命、財産に損害を受けるおそれがある以下の機器には接続しないでください。

- ・ 全ての医療機器
- ・ 灯油を用いた暖房機器
- ・ 炊飯器、電子レンジなどの調理機器
- ・ バッテリーを搭載していないパソコンなどの情報機器および周辺機器
- ・ 冷蔵庫のような連続的に電力の供給が必要な機器
- ・ その他、電源が切れると生命、財産に損害を受けるおそれのある機器
- ・ 最大電力が700W以上になる機器

■ 主な電化製品の消費電力

- 数値は定格消費電力の一例です。実際の消費電力は、製品の種類や使用方法によって異なります。
- 電化製品の種類によっては、瞬間的に700Wを上回る電力負荷がかかるため、消費電力に関わらず使用できないことがあります。(冷蔵庫、洗濯機、エアコンなどは使用できません。)

製品名	消費電力の目安 (W)	製品名	消費電力の目安 (W)
携帯の充電器	15	卓上LED照明	20
ラジカセ	20	ガスファンヒータ	30
扇風機	40	ノートPC	75
液晶テレビ32型	150		
熱源機の暖房運転	180	熱源機の凍結防止運転	250
電気炊飯器	1100	ヘアードライヤ	1200

⇒ご使用できません

⚠ 注意

ガスファンヒータの使用について

- ・ ガスファンヒータのご使用中は、部屋の換気にご注意ください。必ず1時間に1~2回(各1~2分)、窓を開けるなどして換気を行ってください。
- ・ 停電時専用コンセントで使用できる電力が少なく、ガスファンヒータを使用すると過負荷が発生するおそれがある場合は使用しないでください。
- ・ ガスファンヒータ運転中に停電が発生すると、ガスファンヒータの冷却が正常に行われず、温風の吹き出し口や機器背面(エアフィルタ部や取っ手部分)が高温になり、手で触れるとやけどのおそれがあります。
- ・ 停電時専用コンセントでガスファンヒータを使用しているときに異常を感じた場合は、ただちにガス栓を閉じてガスファンヒータの使用を中止し、東邦ガスに連絡してください。



停電時に電気とお湯を使う

(停電時発電継続仕様をお使いのお客さまへ)

お知らせ

- 停電時に使用可能な電力は
最大で約700W*1です。消費電力の合計が発電量を超えないように注意してください。
*1 凍結予防など運転状態によって消費電力が変わりますので、リモコンの発電量と消費電力を確認しながらお使いください。
- 熱源機をご使用になるには、熱源機のコンセントの差し替えが必要です。屋外にある熱源機のコンセントを、停電時専用コンセントに差し替えてください。
※ 凍結予防など運転状態によって消費電力が変わりますので、リモコンの発電量と消費電力を確認しながらお使いください。
- 電化製品の電源を入れたとき
電化製品の種類によっては、一時的に使用できない場合があります。使用負荷によって過負荷を検知し、停電時専用コンセントからの電気の供給が停止することがあります。
これらの場合は最後につないだ電化製品のコードを抜いた状態で電気の供給停止後、約90秒（発電ユニットの状態によっては10分程度必要になる場合があります）ほど待ち、リモコンの[再開]ボタンを押した後、使用できるようになります。（70ページ参照）
- 停電時発電継続運転開始直後は
発電ユニットの状態によって、消費電力が700W以下の電化製品を使用した場合でも、一時的に使用できない場合がありますので、リモコン表示部の電力量を確認してから電化製品のコードをさしてください。
- 停電時発電継続運転中に発電を停止させたい場合は、
リモコン操作により「発電禁止」で停止させてください。ただし、停電が復旧するまで再使用（発電）できません。
操作方法は、57ページ「発電ユニットの停止方法」をご参照ください。
- 停電時発電継続運転中は、
発電ユニットの蓄熱量が多いと、排気口から多くの湯気が出たり、運転音が大きくなる場合がありますが、故障ではありません。
- 断水*2時は、使用できる電気量を抑制したり、出力が不安定になることがあります。
 - ・ 停電時専用コンセントで使用する負荷が小さい場合
 - ・ 貯湯タンクのお湯がいっぱい、またはいっぱいに近い場合*2 断水 ご家庭への給水が停止している状態
- 以下の場合は停電時発電継続運転を停止する場合があります。
 - ・ 外気温が高く発電ユニットのタンク内水温が高い場合には、停電時発電継続運転を停止する場合があります。※ 停止させないために貯湯タンクのお湯を利用ください。

故障・異常かな？と思ったら

次の場合は、故障ではありません。

症状	原因
排気出口から湯気が出ている。 排気出口周辺が濡れている	排気ガス中の水蒸気が凝縮し湯気が立つことがあります。 排気出口付近に結露が発生することがあります。
前面パネルの排気出口周囲に白い付着物がつく。	排気出口付近の結露水に含まれる成分が付着する場合があります。 付着した場合は布等によりふき取ることができます。
お湯を使っていないのに運転している。 お湯を使っているのに運転しない。	発電ユニットの発電・停止は、お湯を使う時間帯と必ずしも一致しません。
停止後も運転音がする。	機器を保護するために、停止後約10～12時間程度は運転しています。
排水配管から水がポタポタ出る。	排気ガス中の水蒸気が凝縮して水となり、排出されます。
発電出力が上昇するのに時間がかかる。	モジュール内部の温度が急上昇しないようゆっくりと出力を上昇させています。

故障・異常かな？と思ったらときは、まずリモコンの表示をご確認ください。

※ 熱源機およびリモコンの取扱説明書も合わせてご確認ください。

症状	原因	処置方法
リモコンが表示しない。	発電ユニットに接続された専用ブレーカがOFFになっている。	発電ユニットに接続された専用ブレーカをONにしてください。 ※ リモコンが表示したら、リモコンの時計合わせを行ってください。
	発電ユニットがエラー停止している。	停電時、発電ユニットがエラーで発電を継続できなくなった可能性があります。停電が復旧した後、リモコンにエラーが表示された場合は、78～80ページに記載の処置方法に従って処置を行ってください。
リモコンが表示しない。 (停電時発電継続仕様の場合)	停電時に停電時専用コンセントに接続している電化製品の消費電力が発電量を超えている。	すみやかに接続した電化製品を取り外してください。
発電表示が消え、発電停止時にMマークを表示して停止している。	故障診断のための一時的な停止。	Mマークの表示開始から24時間経過しても発電表示が点滅(起動状態)しない場合は、ガス会社または販売店に連絡してください。 Mマーク、発電表示は、リモコン画面上部に表示されます。詳細は各リモコン説明部(14、35、55ページ※)を参照ください。 
[01900]を表示して停止している。	ガスマイコンメーターの安全確認中に熱源機の燃焼が連続で70分以上の停止がなかった。	全てのガス機器を最低70分以上使用しないでください。

※ 参照ページの記載順は前からリモコンA(ノーリツ)、リモコンC(リンナイ)、発電リモコンとなります。

故障・異常かな？と思ったら

症状	原因	処置方法
発電出力が家庭の電力需要量を大幅に下回る。	発電出力抑制モード 中外気温が高いときなどに、運転継続させるための一時的な発電出力抑制。	しばらくお待ちください。 24時間経過しても発電出力に変化がない場合は東邦ガスに連絡してください。
発電エラーと[*F*]が交互に表示されている。	エラーが発生している。	<p>停止完了までお待ちください。（[発電×]表示中は再起動できません。）リモコン左上隅にある、発電マークと状態表示が消えたら停止完了です。78～80ページを参照し、エラーの処置を行ってください。</p>  <p>エラー表示位置 A：Aリモコン（ノーリツ） C：Cリモコン（リンナイ） 発：発電リモコン</p>
発電ユニットのセルフチェック実施中を知らせる表示がされている。	故障診断のための一時的な停止。	しばらくお待ちください。 24時間経過しても[発電ユニットセルフチェック実施中]の表示が消えない場合は、東邦ガスに連絡してください。
発電中にリモコン左上の[発電中]の表示が[電圧抑制中]と表示される。	商用電源の電圧が設定値（電力会社による指定値）を超えないように、発電ユニットが電圧を自動検出し、発電量を自動で抑制します。	商用電源の電圧が正常に戻れば[電圧抑制中]の表示は消え[発電中]に戻ります。頻繁に発生する場合は、東邦ガスにご相談ください。
<p>リモコン設定よりも熱いお湯が出る。</p> <p>お湯を出しても温度が上がらない。</p> <p>お湯を出しても、熱くなったりぬるくなったりして、お湯の温度が安定しない。</p>	熱源機に供給する水を発電ユニットの回収熱により予熱しています。このため、少ない流量でお湯をお使いの場合、設定温度よりも高めのお湯が出る場合があります。お湯の流量を絞りすぎると、熱源機の燃焼を停止する場合があります。	<p>お湯の量を増やしてご使用ください。</p> <p>※ 混合水栓でお湯と水を混ぜてお使いの場合は、水栓から流れるお湯の量よりも熱源機を流れるお湯の量が少なくなります。リモコンで設定したお湯の温度に注意して混合水栓のレバーをお湯側にしてお使いください。</p>
発電ユニットの起動時に数分程度音が大きくなる場合があります。	点火時に発生する燃焼音です。	音が継続して止まらない場合は、東邦ガスにご連絡ください。

エラー表示について

発電ユニットに不具合が生じたとき、熱源機のリモコンにエラーコード[* * F * *]が表示されます。

発電ユニットのエラーコード一覧 (1/2)

60_01

表示	故障内容	表示	故障内容
01F00	通常停止回数警告	43F01	燃焼排ガス温度高温異常
01F01	シャットダウン回数警告	43F02	燃焼排ガス温度低温異常
02F00	通常停止回数警告 (起動禁止)	47F00	還流ガス温度センサ故障
02F01	シャットダウン回数警告 (起動禁止)	47F01	還流ガス漏れ異常
03F00	ホットモジュール起動許可条件成立待ち	47F02	還流ガス温度低温異常
03F01	スタック保護待機状態	52F01	停止時エア流量異常
03F03	シャットダウン後起動許可時間タイムアウト	52F02	エア流量異常
03F05	改質水タンク補給回数警告	53F00	給湯混合弁原点復帰異常
03F06	水抜き状態時起動警告	55F00	可燃ガスセンサ1異常
03F07	改質水水量保護動作中	55F01	可燃ガスセンサ2異常
05F00	メンテナンス時間超過1	55F10	可燃ガスセンサ1異常
05F03	可燃ガスセンサ時間超過	55F11	可燃ガスセンサ2異常
05F04	可燃ガスセンサ時間超過	57F01	伝導度上限異常または水位センサ短絡故障
08F00	自立運転保護動作	59F00	燃焼触媒故障
08F02	水不足による保護停止	60F00	原燃料流量偏差異常
08F03	自立時過負荷検出	60F01	原燃料ガスブロードDUTY上限異常
10F00	可燃ガスセンサ1 ガス漏れ異常	61F00	エア流量偏差異常
10F01	可燃ガスセンサ2 ガス漏れ異常	61F01	エアブロード故障
10F10	可燃ガスセンサ1 ガス漏れ異常	62F00	改質水ポンプ故障
10F11	可燃ガスセンサ2 ガス漏れ異常	63F00	フロートスイッチ断線故障
11F00	着火異常	63F01	フロートスイッチ短絡故障
12F00	燃焼部#1失火異常	64F00	排熱回収水ポンプ故障
12F01	燃焼部#2失火異常	66F00	改質水補給異常
12F04	失火による出力異常	67F00	水位異常または水位センサ短絡故障
12F05	失火継続異常	67F01	水位センサ断線故障
15F00	起動異常	67F04	改質水ライン水張り異常
19F00	漏電・過電流ブレーカ保護作動	68F00	原燃料入口電磁弁駆動回路異常
20F00	冷却ファン故障	68F01	原燃料入口電磁弁異常
30F00	改質入口温度センサ故障	70F00	インバータ通信異常
30F01	改質入口温度高温異常	70F01	インバータ連系パラメータ受信異常
30F02	改質入口温度低温異常	72F01	給湯器ラインまたはインバータ異常
30F03	改質入口温度センサ不定故障	72F03	自立出カリレー固着警告
40F00	燃焼部#1温度センサ故障	72F04	自立出カリレー固着異常
40F01	燃焼部#1温度高温異常	72F05	給湯器電源リレー系統側固着警告
40F02	燃焼部#1温度低温異常	72F06	給湯器電源リレー系統側固着異常
40F03	燃焼部#1温度センサ不定故障	76F00	セット構成給湯器通信異常
42F00	モジュール温度センサ故障	76F01	後付構成用発電連係リモコン通信異常
42F01	モジュール温度高温異常	76F02	リモコンアンマッチ
42F02	モジュール温度低温異常	76F03	リモコン電源電圧低下異常
42F04	モジュール温度センサ不定故障	77F00	改質水ポンプ駆動回路異常
43F00	燃焼排ガス温度センサ故障	77F02	制御装置可燃ガスセンサ増幅回路異常
		77F03	制御装置LPガスセンサ増幅回路異常

エラー表示について

発電ユニットのエラーコード一覧 (2/2)

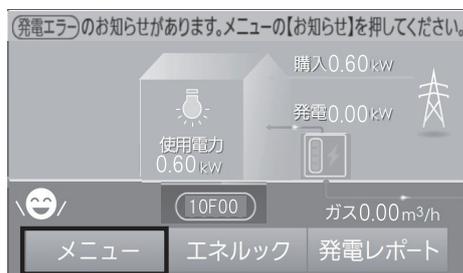
表示	故障内容	表示	故障内容
77F04	制御装置パラメータ破損異常	C5F01	インバータDC/DC部温度高温異常
77F05	FCメンテデータ差異異常	C5F02	インバータDC/AC部温度高温異常
77F06	FCパラメータ差異異常	C5F03	インバータ低温警告
77F08	原燃料流量計通信異常	C5F04	インバータ高温異常
77F09	カソード エア流量計通信異常	C6F01	EEPROM異常
77F10	原燃料流量計測値フリーズ異常	C7F00	ハードウェア故障
77F11	カソード エア流量計測値フリーズ異常	C7F01	インバータ温度センサ故障
78F15	直流ヒータ過電流警告	C7F02	連系リレー故障
79F00	コントローラスイッチ部短絡故障	C7F04	24V補機電源電圧上限異常
80F00	排熱回収水入口温度センサ故障	C7F05	24V補機電源電圧下限異常
80F01	排熱回収水入口温度高温異常	C7F06	24V補機電源通電警告
81F00	排気熱交換器内温度センサ故障	C7F07	2.5V補機電源電圧上限異常
81F01	排気熱交換器内温度高温異常	C7F08	2.5V補機電源電圧下限異常
81F02	排気熱交換器内温度低温異常	C7F12	5V補機電源電圧上限異常
82F00	排熱回収水出口温度センサ故障	C7F13	5V補機電源電圧下限異常
82F01	排熱回収水出口温度高温異常	C7F14	スタック電流通信異常
82F02	排熱回収水出口温度低温異常	C7F15	商用電流回路異常
83F00	補機室上部温度センサ故障	C7F17	インバータソフトウェアバージョン異常
83F01	補機室上部温度高温異常	C7F23	自立周波数不確定異常
85F00	水道水温度センサ故障	C7F25	自立構成異常
86F00	混合湯温度センサ故障	C7F26	自立発電電圧不安定異常
86F01	混合湯温度高温異常	C7F27	自立発電電圧不安定警告
86F02	水道水温度センサ/混合湯温度センサ精度異常	C7F28	自立出力準備中シーケンス異常
88F00	自立ヒータ温度センサ故障	C9F00	インバータ入力過電流
88F01	自立ヒータ上部温度高温異常	E0F00	商用電流検出異常 (誤配線)
89F00	自立トランス温度センサ故障	E1F00	CT自動補正不能
89F01	自立トランス高温異常	E1F01	CT誤取り付け警告
93F00	停止時間タイムアウト	E4F00	商用電流検出異常
95F00	改質水タンク水量不足またはフロートスイッチ故障	E7F00	N相過電流異常
A0F00	原燃料供給圧低または圧力センサ故障	F0F00	系統過電圧警告
A1F00	原燃料供給圧高または圧力センサ故障	F1F00	系統不足電圧警告
B0F00	ホットモジュール高温状態検出	F2F00	系統周波数上昇警告
B0F02	改質触媒高温状態	F3F00	系統周波数下降警告
B1F02	水張り時エア抜き警告	F4F00	単独運転受動方式検出
B4F01	点火ヒータ連続通電時間オーバー	F5F00	単独運転能動方式検出
B6F00	パソコン通信異常	F6F00	系統瞬時過電圧
B8F00	改質水タンク水なし状態検出	F7F00	直流過電圧検出
C0F00	スタックトータル電圧低下	F7F01	リンク不足電圧検出
C0F02	コンバータ過電流警告	F7F02	リンク過電圧検出
C0F03	直流リンク過電圧警告	F7F03	出力電流直流分流出検出
C2F00	スタックトータル電圧未確立	F7F05	インバータ側通信異常
C4F00	直流不足電圧検出	F7F06	瞬時過電流
		F9F00	逆潮流検出
		O1900	マイコンメータ内管漏洩警報防止

エラー発生時の処置方法について

エラー発生時の処置方法について

- リモコンにエラーコード[** F **]を表示します。
エラーコードの表示が[** F **]ではない場合は熱源機側の不具合です。熱源機の取扱説明書を参照ください。
- リモコンに79、80ページのエラーコードが表示された場合、処置方法に従い処置を行ってください。
- 79、80ページ以外のエラーコードについては、東邦ガスにご連絡ください。
- エラーリセット（異常解除）の方法
 - セット構成の場合は、リモコンの給湯スイッチを一度押して「OFF」にしてから、再度押して「ON」にします。（13（リモコンA（ノーリツ））、34（リモコンC（リンナイ））ページ参照）
 - 後付構成（発電リモコン）の場合は、下記手順でリセットします。

①メイン画面より[メニュー]を選択してください。



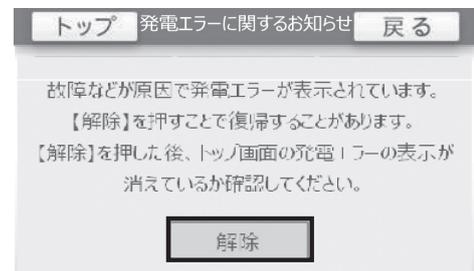
②メニュー画面より[お知らせ]を選択してください。



③お知らせ画面より[発電エラーに関するお知らせ]を選択してください。



④[解除]ボタンを押してください。



- 停止工程に10～12時間かかります。
エラーをリセットしても、停止工程が終了するまで再起動しません。

エラー発生時の処置方法について

⚠ 警告

- **お客さま自身で部品の点検・調整はしないでください。**
感電・火災・水漏れの原因となります。



禁止

- **機器の異常に気付いたときは、東邦ガスに連絡してください。**
異常のまま運転を続けると感電・火災・故障などの原因となります。



確認

表示	故障内容	原因	処置方法
01F00	・通常停止回数警告	起動停止の回数が多すぎます。	このまま使用を継続されますと、故障の原因になるおそれがあり、保証の対象外となる場合がありますので、東邦ガスにご連絡ください。
01F01	・シャットダウン回数警告		
03F00	・ホットモジュール起動許可条件成立待ち	発電ユニットが高温であるため起動できません。	冷却されるまでお待ちください。
03F03	・シャットダウン後起動許可時間タイムアウト	起動時にアラームが発生したが、モジュール内部が高温のため、自動再起動ができない。	冷却されるまでお待ちください。
03F05	・改質水タンク補給回数警告	改質水補給回数が設定回数を超えた。	東邦ガスにご連絡ください。
03F06	・水抜き状態時起動警告	水抜き、水張りが中止された状態で発電ユニットの起動操作が実施された。	発電禁止操作（16、37、57ページ参照）を行いエラーをリセットし、水張り（24、44、65ページ参照）を実施後発電ユニットを起動（15、36、56ページ参照）してください。※
05F00	・メンテナンス時間超過	定期交換部品の交換が必要です。	東邦ガスにご連絡ください。
05F03	・可燃ガスセンサ時間超過		
05F04			
08F00	・停電時発電継続運転保護動作	電力使用量が少ないため、保護停止しています。	給湯および電力使用量が350W以上必要です。
08F03	・自立時過負荷検出	電力使用量が700Wを超えています。	29、49、70、ページ※を参照してリセットしてください。 1時間経過しても起動しない場合は、東邦ガスにご連絡ください。

※ 参照ページの記載順は前からリモコンA（ノーリツ）、リモコンC（リンナイ）、発電リモコンとなります。

エラー発生時の処置方法について

表示	故障内容	原因	処置方法
10F00	・可燃ガスセンサ1 ガス漏れ異常	発電ユニット内部でガス漏れが発生した場合、もしくは発電ユニット外部から自動車の排気ガスなどの可燃性ガスが流入した場合に、ガスを検知して停止しています。	ガス供給を遮断していますが念のため発電ユニット専用ガス栓を閉じて、東邦ガスにご連絡ください。
10F10			
10F01	・可燃ガスセンサ2 ガス漏れ異常		
10F11			
81F01	・排気熱交換器内温度 高温異常	断水している可能性があります。	発電禁止操作を実施後に、エラーをリセット（78ページ参照）してください。給水されていることを確認後、発電ユニットの水張り操作を実施してください。水張り完了後、「発電禁止からの再開」を実施してください。再発する場合は、東邦ガスにご連絡ください。
82F01	・排熱回収水出口温度 高温異常		
A0F00	・原燃料供給圧低または 圧力センサ故障	ガス栓が閉まっているか、ガスマイコンメーターが遮断されています。	ガス栓が閉まっている場合は、ガス栓を開けてください。 ガスマイコンメーターが遮断している場合は、ガスマイコンメーターを復帰させてから、リモコンでエラーをリセットしてください。 （78ページ参照） 操作方法がわからない場合は東邦ガスまでご連絡ください。
E0F00	・商用電流検出異常	購入電力の検出に異常がある可能性があります。	東邦ガスにご連絡ください。
E4F00	・商用電流検出異常		
F9F00	・逆潮流検出		
01900	ガスマイコンメーター内 管漏洩警報防止（後付構成では発生しないエラーです。）	機器の異常ではありません。ガスマイコンメーターの安全機能確認のために運転を停止しているとき（Mマークが表示されているとき）に、ガスマイコンメーター安全機能の確認ができない場合に表示します。	<ul style="list-style-type: none"> ・70分以上給湯しないで、床暖房や浴室暖房乾燥機などの暖房端末機を停止してください。 ・床暖房の長時間使用により頻繁に[01900]が表示される場合は、給湯や浴室暖房乾燥機などガス機器を使用しない時間帯に、床暖房リモコン等のタイマー設定により床暖房を70分以上停止する時間帯を設定ください。

災害時にお湯を使う

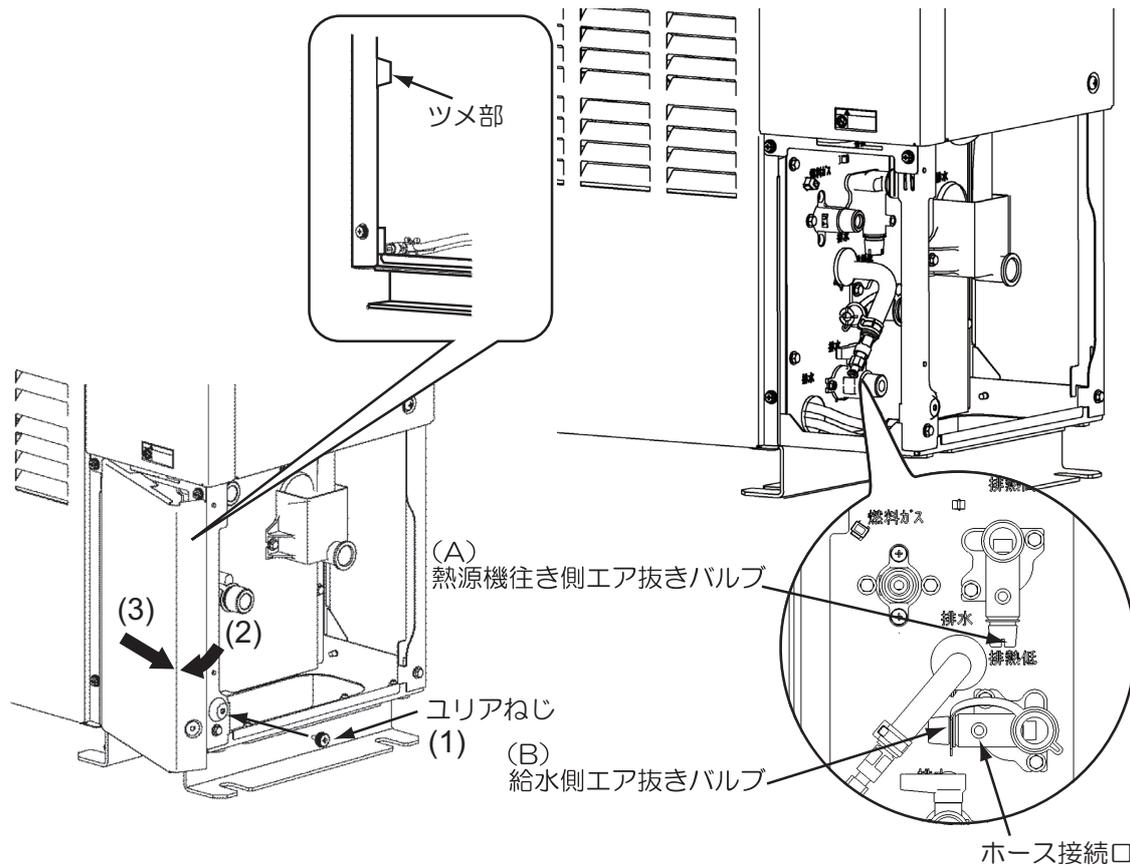
災害時などに貯湯タンクからお湯を取り出す

⚠ 警告

エア抜きバルブから熱湯が出る場合がありますのでやけどに注意してください。



- 断水時に、貯湯タンクのお湯（水）を雑用水として利用できます。
- 一旦貯湯タンクのお湯（水）を利用した場合は、水道が復旧し、水張り操作（24、44、65ページ参照※）を完了いただくまで、発電を開始することができません。



- ① リモコンの発電状況表示、発電モードマーク（14、35、55ページ参照※）の表示が消えて、発電ユニットが停止していることを確認してください。
 - ② 分電盤の専用ブレーカーを「切」にします。
 - ③ フロントR小パネルを外します。
 - (1) ユリアねじを外します。
 - (2) フロントR小パネル裏のツメを外しながら手前に寄せます。
 - (3) フロントR小パネルを右にスライドさせて取り外します。
 - ④ ホース接続口に内径約9mmのホースを取り付け、バケツなどで出てくるお湯（水）を受けられるようにしてください。
 - ⑤ 給水バルブと熱源機メンテ用バルブを閉じます。
 - ⑥ (A) 熱源機行き側エア抜きバルブを回します。
 - ⑦ (B) 給水側エア抜きバルブを回します。

出てきたお湯（水）は、雑用水として使用してください。
 - ⑧ 取水が終わったら、(B) 給水側エア抜きバルブ、(A) 熱源機行き側エア抜きバルブの順で閉じます。
 - ⑨ 11ページの「フロントR小パネルの取り付け方法」を参照し、発電ユニットのフロントR小パネルを取り付けてください。
- 再使用するときは、発電ユニットの水張り（24、44、65ページ参照※）を実施してください。
 - 停電時に、リモコンの日時がリセットされていることがあります。その場合は復電時にリモコンの時刻設定を入力してください。手順詳細はリモコンの取扱説明書を参照してください。
- ※ 参照ページの記載順は前からリモコンA（ノーリツ）、リモコンC（リンナイ）、発電リモコンとなります。

お手入れと周囲の確認

1. お手入れ

- 機器の外観が汚れている場合、水に濡らした柔らかい布をかたく絞って、軽く拭きとってください。
 - 機器を水洗いしないでください。
 - 外観のお手入れに、ガソリン・シンナー・ベンジン・みがき粉・スプレーなどを使わないでください。
- 1年に1回程度、発電ユニット内の貯湯タンクの洗浄をしてください。
 1. 発電ユニットを停止させてください。（16、37、57ページ、■ 2-1 機器の水抜きをするときなど、強制的に発電を停止させたいときの停止方法（発電禁止）を参照ください。※1）
 2. 発電停止完了後、水抜きをしてください。（18、39、59ページ、3. 発電ユニットの水抜き方法を参照ください。※1）
 3. 水抜き終了後、水張りをしてください。（24、44、65ページ、5. 発電ユニットの水張り方法を参照ください。※1）
 4. 発電ユニットを起動してください。（15、36、56ページ、■ 1-1 発電禁止からの再開を参照ください。※1）

※ 上記2.の開始から3.の終了までは熱源機は使用できなくなります。
※1 参照ページの記載順は前からリモコンA（ノーリツ）、リモコンC（リンナイ）、発電リモコンとなります。

2. 周囲の確認

12ページを参照し、「ご使用前の確認」を月に1回程度行ってください。

⚠ 注意

発電ユニットと熱源機間の配管の上に

乗らない、物を載せない

けが・やけど・水漏れのおそれがあります。



禁止

熱源機行き配管に触れない

熱源機行き配管は高温になることがあります。
やけどのおそれがあります。



禁止

排気出口・換気出口・換気入口に指や棒など異物を入れない

けが・やけどのおそれがあります。



禁止

パネルを開けて、発電ユニット内部に触れない

けが・やけど・感電のおそれがあります。



禁止

点検に関して

■ 逆流防止装置の点検

- この機器は給水用具（逆流防止装置）を内蔵しています。機器を安全・快適にお使いいただくために、（社）日本水道協会発行の「給水用の維持管理指針」に示されている定期点検の実施をおすすめします。時期は4～6年に1回程度をおすすめします。（有償）

■ 発電ユニットの点検

機器への通電開始から10.5年経過後に停止します。引き続き安全にご使用になるためには、点検および定期交換部品、その他の部品の交換が必要になります。（有償）

- リモコンの液晶画面上部に下記のお知らせが表示されたときは、東邦ガスに連絡してください。
 - ・ [発電ユニットの点検時期が近づいています。]
 - ・ [発電ユニットの点検が必要です。]
 - ・ [発電ユニットの点検時期を過ぎています。]（エラーコード[05F00]も点滅）

※ [発電ユニットの点検時期を過ぎています。]の表示になると、発電ユニットは自動的に停止します。

- 点検は、専門のサービスマンが実施いたします。

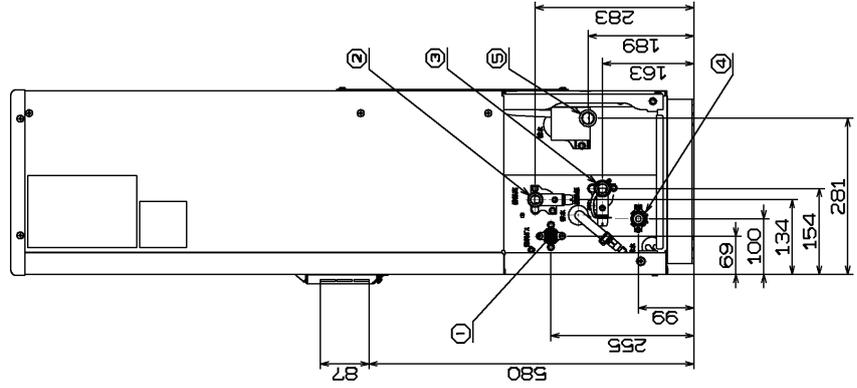
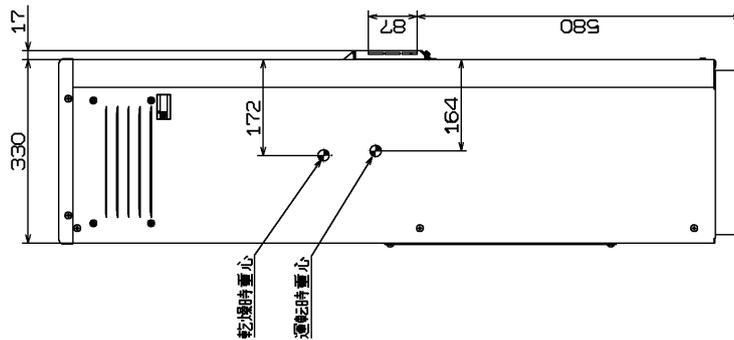
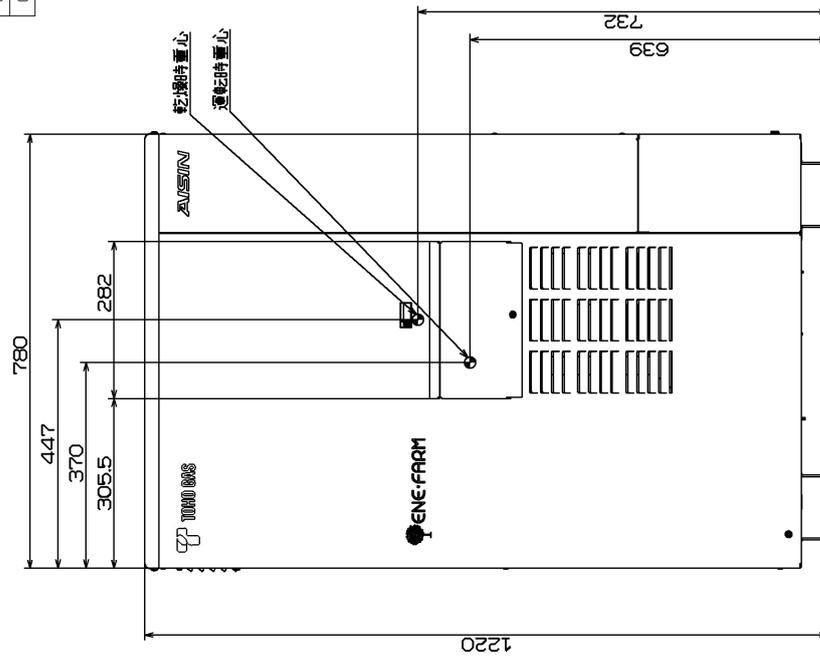
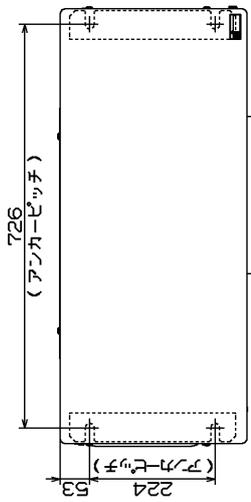
仕様について

東邦ガス型式	NT-0718ARS-KBC	NT-0718ARS-KC
製品名	エネファーム 燃料電池ユニット 停電時発電継続仕様	エネファーム 燃料電池ユニット 標準仕様
燃料電池の種類	SOFC (固体酸化物形燃料電池)	
メーカー型式	FCCS07B2NJ	FCCS07B2N
設置方式	屋外設置据置型	
タンク貯湯温度	最高 約75℃	
タンク容量	28L	
外形寸法 mm	高1220×幅780×奥行330	
重量 kg	106 (乾燥重量)	100 (乾燥重量)
接続	ガス	TU (R1/2おねじ)
	給水・給湯	R3/4 (おねじ)
	タンク排水	R1/2 (おねじ)
	排水	CCHジョイント1/2
	電気	単相3線式 100/200V
発電	定格出力 W	700 (停電時発電継続運転時 最大約700)
	電圧 V	200
	周波数 Hz	50/60
効率	発電効率 (LHV) %	52.0
	総合効率 (LHV) %	87.0
インバータ	インバータ方式	自励式電圧型電流制御方式
	電圧調整方式	PWM方式
	絶縁方式	高周波絶縁方式
	接続電気方式	単相3線式
	出力電気方式	単相2線式 202V
ガスの種類	都市ガス13A	
運転環境温度 ℃	-10~43	
停電時発電継続運転設計耐用時間 (のべ) h	500	—
起動時間 (発電準備)	約3~4時間※ (機器の状態によって異なります)	
停止動作時間	約10~12時間 (機器の状態によって異なります)	

※ 発電の停止動作中に起動操作を行った場合でも、停止動作の完了後に再起動となります。

外形図

記号	名称	接続
①	ガス接続口	TU(R1/2おねじ)
②	熱源機行き接続口	R3/4(おねじ)
③	給水接続口	R3/4(おねじ)
④	タンク排水接続口	R1/2(おねじ)
⑤	トイレ排水接続口	CCHジョイント1/2



アフターサービスと保証について

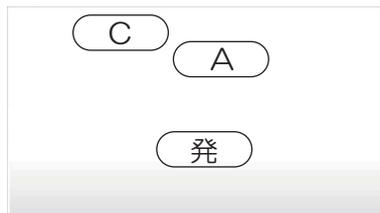
修理を依頼するとき

修理を依頼される前に、74～75ページの「故障・異常かな?と思ったら」の項目を見て、今一度ご確認ください。不具合があるときはご自分で修理せず、下記へご連絡ください。

東邦ガス株式会社
エネファーム・エコウィルサポート センター専用ダイヤル
Tel フリーダイヤル **0120-677-977**

● アフターサービスをお申し付けいただくときは、次のことをお知らせください。

1. 商品コード・・・NT-0718ARS-KBC
NT-0718ARS-KC
2. 品名・・・エネファーム（燃料電池ユニット）
3. お買い上げ年月日
4. 故障の状況・・・できるだけ詳しく（故障表示など）
5. ご住所、お名前、電話番号
6. 訪問ご希望日



故障表示位置

- A：Aリモコン（ノーリツ）
- C：Cリモコン（リンナイ）
- 発：発電リモコン

保証について

- この燃料電池ユニットには製品保証書がついています。必ず「販売店名・お買い上げ日等」が記入されていることを確認してください。
- 製品保証書の内容をよくお読みになった後は大切に保管してください。
- 無料修理期間経過後の故障修理については、修理によって機能が維持できる場合、有料で修理いたします。

引越しまたは機器を移設する場合

発電ユニットを安全で快適にご使用いただくため次のことをご確認ください。

移設工事はお買い上げの販売店に依頼し、お客さまご自身では行わないでください。

- 引越しなどで発電ユニットを移動・再設置する場合は専門の技術が必要ですので、前もって東邦ガスにご相談ください。
- 発電ユニットを廃棄する場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

アフターサービスと保証について

補修用性能部品について

燃料電池ユニットの補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後10年です。

- 性能部品とは製品の性能を維持するために必要な部品です。

熱源機を買い替える場合

- 熱源機との組合せによっては安全・性能が担保できず、やけど等の事故が発生する可能性があります。
- 熱源機を買い替える場合は必ず東邦ガスにご相談ください。

製品保証書

品名	燃料電池ユニット
型式	NT-0718ARS-KC (停電時発電継続仕様は NT-0718ARS-KBC)

家庭用燃料電池コージェネレーションシステム (以下、当製品) をお買い上げいただきましてありがとうございます。この保証書は、当製品を都市ガスにてご使用になる場合に、本保証書記載内容での無償修理をお約束するものです。お買い上げの日から下記保証期間中に故障が発生した場合は、本保証書をご提示の上、お買い上げの販売店または当社窓口にて修理をご依頼ください。

記

<保証対象機器・保証期間>

1. 保証対象機器：燃料電池ユニット本体、台所・浴室リモコンセットまたは発電専用リモコン、電流センサー
2. 保証期間：お買い上げ日より2年間。但し、次の部品については別途以下の年数を保証いたします。
燃料電池ユニットを構成する部品のうち、ホットモジュール、ポンプ・ファンモーター類、熱交換器およびリモコン (電装基板に起因するもの) は3年、電装基板は5年

<無償修理規定>

1. 保証の内容

取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った正常な使用状態で、保証期間中に故障した場合には、当社または当社が指定する業務代行店が無償修理いたします。なお、保証対象外となる場合を3. および4. に、免責事項を5. に記載しておりますのでご確認ください。

※保証期間内に故障して無償修理を受ける場合は、当社窓口にご依頼の上、技術員がお伺いした時に、本保証書をご提示ください。

なお、ご使用場所が当社のガス供給区域外の場合は、出張料等を別途申し受けます。

2. 補修用部品の保有期間と有償修理について

当社は、当製品製造中止後であっても、10年を基準に補修用部品を調達し、保有いたします。保証期間経過後に当製品に発生した故障についても、補修用部品の在庫があり、補修用部品を使用した修理によって性能が維持できる場合は、当社または当社が指定する業務代行店が有償で修理いたします。

3. 保証対象外となる場合

保証期間内においても、次に該当する場合は、保証の対象外とさせていただきます。

①直接、間接を問わず、次に掲げる事由によって生じた故障、不具合および損傷の場合

- 1)戦争、外国の武力行使、革命、政権奪取、内乱、武力反乱その他これらに類似の事変または暴動 (群衆または多数の者の集団の行動によって、全国または一部の地区において著しく平穏が害され、治安維持上重大な事態と認められる状態をいいます。)
- 2)大規模で著しく被害の大きな火災、地震 (震度5強以上)、噴火、洪水、津波、風水害等の天変地異

4. 保証対象外となる場合 (有償修理)

保証期間内においても、次に該当する場合は、保証の対象外とさせていただきます。ただし、当社または当社が指定する業務代行店が保証対象機器の劣化状況等を確認し修理が不可能または著しく困難な場合と判断した場合を除き、使用者のお申し出があれば有償にて修理を実施いたします。

①使用者の保証対象機器のみに影響を与える天変地異、公害、外部要因等の不可抗力による故障、不具合および損傷

- 1)火災・落雷・風水害の天変地異、煤煙・降灰・酸性雨・腐食性等の有害ガス・ほこり等の公害、異常気象、異常電流・電圧・周波数・電磁波、犬・猫・ねずみ・鳥・蜘蛛・昆虫類等の侵入等の外部要因による故障、不具合および損傷

②自然損耗や機器仕様による故障、不具合および損傷、または当社の責めによらない事由によるもの

- 1)音、振動、塗装の退色、メッキの軽微な傷、錆、摩擦等設計仕様の範囲内の現象または自然損耗であって、故障、不具合および損傷に該当しない当社または当社が指定する業務代行店の技術者が判断したもの
- 2)エネファーム typeS の燃料電池ユニットの最大発電出力の低下範囲が、日本ガス機器検査協会の検査規定 JIA F 035-15 に定める下限値 (定格出力の90%) の90% (定格出力の81%) を下回らないもの
- 3)家庭用以外の用途 (喫茶店、理美容院、飲食店、事務所等の業務用途等) で使用された場合の故障、不具合および損傷
- 4)規定規格以外の電気、ガス、水道を使用した場合の故障、不具合および損傷
- 5)給水・給湯配管の錆等の異物流入による故障、不具合および損傷
- 6)温泉水、井戸水、地下水、人口炭酸泉装置等の給水による故障、不具合および損傷
- 7)商品に同梱の工事説明書に指示する方法以外の工事設計が原因で生じた故障、不具合および損傷
- 8)当社指定の工事店等以外の業者の施工およびその施工部分に起因した故障、不具合および損傷
- 9)建築躯体の変形等、保証対象機器以外の不良に起因する故障、不具合および損傷
- 10)その他当社の責に帰すことのできない事由により生じた故障、不具合および損傷

③保証対象機器の管理や使用方法の不備による故障、不具合および損傷

- 1)取扱説明書の記載に反する使用等、保証対象機器の不適な使用または修理による故障、不具合および損傷
- 2)使用者が保証対象機器に生じた故障、不具合および損傷をすみやかに当社に通知せず、当該故障、不具合および損傷を放置した場合
- 3)系統連系開始後の設置場所の移動等による故障、不具合および損傷
- 4)当社または当社が指定する業務代行店以外の業者が修理や点検を実施したことによる故障、不具合および損傷
- 5)当社が採用していない端末機や関連部材を保証対象機器に接続したことにより生じた故障、不具合および損傷
- 6)当社に事前の連絡なく、必要な長期保管の措置をとらずに1か月以上不使用状態が継続したことにより発生した故障、不具合および損傷

- 7) 1年以上の長期不在状態が継続し、その後使用を再開したとき以降に発生した故障、不具合および損傷
- 8) 停電時以外で、保証対象機器の停電時運転継続仕様に係る機能を頻繁に使用したことにより生じた故障、不具合および損傷
- 9) 手動にて起動操作および停止操作を頻繁に繰り返すことにより生じた当社が認める故障、不具合および損傷
- 10) 使用者が、当社および当社が指定する業務代行店に協力していただけない場合、およびそれにより発生した保証対象機器の故障、不具合および損傷

5. 免責事項

使用者は、次の各号のいずれかに該当する場合は、当社は修理の実施等、本保証書上の当社の義務を、当該事由が解消されるまでの間、免除することに同意していただくものといたします。

- 1) 使用者が不在等で連絡が取れない場合、メンテナンススペースの確保ができない場合等のやむを得ない事情により、本保証書に係る修理を実施することができないと当社が判断する場合
- 2) 当社の責に帰すことのできない事由により、修理を行うことができない場合（当社の責に帰すことのできない事由により修理業務の履行に必要な部品が調達できない場合を含みます。）
- ② 当社は、前項 1) または 2) に該当し当社が修理等を実施できないことにより、使用者または第三者に発生した身体や財産、電気、ガス、水道料金その他の費用等のいかなる損害についても何ら責任を負わないものといたします。ただし、当社の責に帰すべき事由に起因する場合は、この限りではありません。

■ お客さまへ

- 1) 本保証書をお受け取りになるときに、お買い上げ年月日、お買い上げの販売店、扱者印が記入してあることを確認してください。
- 2) 本保証書は再発行いたしませんので、紛失されないよう大切に保存してください。
- 3) 保証期間経過後の故障修理等につきましては、取扱説明書の「アフターサービス」の頁をご覧ください。
- 4) ご転居の場合は、事前に当社窓口にご相談ください。
- 5) 無償修理やアフターサービスなどについてご不明な場合は、当社窓口へお問合せください。
- 6) 本保証書は日本国内においてのみ有効です。This warranty is valid only in Japan.
- 7) 本保証書によって本保証書を発行している者、およびそれ以外の事業者に対するお客さまの法律上の権利を制限するものではありません。
- 8) 性能維持のため、点検時期をリモコンに表示します。期日までに点検が行われなかった場合、燃料電池ユニットの動作を一時停止します。

お買い上げ日	年 月 日	扱者印
お買い上げの販売店名・住所		
電話 ()		

東邦ガス株式会社 〒456-8511 名古屋市熱田区桜田町19-18

《お問合せ先》0120-677-977（エネファーム・エコウィルサポートセンター専用ダイヤル）